

公立 | 静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE

文化政策学部・デザイン学部 / 大学院 文化政策研究科・デザイン研究科

SUAC
2027
大学案内

出 会 う
感 じ る
創 造 す る

期待を胸に全国から集う学生。

背中を押し、導いてくれる先生。

出会うたび、自分の中に新しい何かが生まれる。

そしてそれは波紋のように広がり、共鳴し、

静岡文化芸術大学にしかない

“学び” に変わっていく。

そうだ。きっとこの胸の高鳴りは、

世界が広がっていく音だ。

ほら、世界がひろがる、音がする—



目次

001	出会う 感じる 創造する
003	学長メッセージ
005	巻頭特集「知と実践の共鳴」
014	学びのフィールド
019	文化政策学部
021	国際文化学科
027	文化政策学科
033	芸術文化学科
039	文明観光学コース
040	オプション・スタディーズ
041	文化政策学部教員紹介
043	デザイン学部
045	デザイン学科
049	横断的な学び：匠・プロダクト系
051	横断的な学び：メディア系
053	横断的な学び：建築・環境系
057	工房紹介
061	デザイン学部教員紹介
063	大学院
065	文化政策研究科
067	デザイン研究科
069	キャンパスガイド
071	教育・研究を支えるセンター
073	国際交流
076	キャリアサポート
081	キャンパスライフ
092	カリキュラム一覧
100	入試情報

※学生、卒業生の情報は取材時（2025年度）のものです。
※学部教員は2026年度の在籍者を掲載しています。

文化とデザインの時代を拓く

21世紀は「文化とデザインの時代」と言われます。20世紀において科学と技術は飛躍的に発展しましたが、その力は社会全体の調和を生み出し、人間と自然が共に輝く世界を実現してきたでしょうか。むしろ私たちはいま、分断や環境危機、価値の空洞化といった課題に直面しています。科学技術の成果を、人間と自然が共創する未来へと結び直す営みこそ、21世紀の核心的課題です。

この課題は、地域社会においても、地球規模においても切実です。文化は人々の意味世界を形成し、社会の方向性を指し示す力です。デザインは異なる知や価値を統合し、持続可能な仕組みへと構想する創造的行為です。したがって求められるのは、文化の力とデザインの力を洞察する感性と知性を備え、それらを通じて市民、企業、行政、大学、そして自然を結びつける「共創」の担い手です。

本学は、このような人材を育成することを理念として、21世紀の幕開け目前の2000年に開学しました。国内外から優れた才能が年々本学に集うことは、大きな喜びであり、責任でもあります。数々の創造者を生み出してきた遠州の風土に抱かれたこのキャンパスは、自然と歴史と産業文化が交差する「創造の場」です。この地に学ぶ若者たちが、文化とデザインの力をもって地域と世界をつなぎ、人間と自然が共に生きる未来を構想し実践していくことを、私たちは深い感謝とともに願い、身の引き締まる思いでその使命を担っています。

静岡文化芸術大学 学長

佐々木 雅幸



私たち

〔公立〕静岡文化芸術大学は、
こんな大学です。

大学名から「文化と芸術」に特化した「芸大」をイメージされたとしたら、実際は違います。いわゆる音楽家や画家を育てる大学ではありません。文化や芸術の学びを活かして、社会やビジネス領域での課題解決のための企画ができ、それを実現できる人を育てる大学です。この考えのもと、芸術と文化を社会に活かすマネジメントに比重を置くのが「文化政策学部」、デザインに比重を置くのが「デザイン学部」です。静岡文化芸術大学が教育を進める上で、重きを置いているのが「知」と「実践」です。課題と向き合い、問いを立てる「知」の力と、リアルな現場の中で課題解決していく「実践」の力。これらを学びの両輪とし、自らを鍛えた多くの卒業生がここから巣立ち、国内外に活躍の場を広げています。

私たちはこのような大学を目指します

| 実務型の人材を養成する大学

豊かな人間性と的確な時代認識や社会認識を持ち、
国際社会の様々な分野で活躍できる人材を養成する。

| 社会に貢献する大学

地域、国際、世代が教育研究の場で幅広く融合する
「開かれた大学」として地域社会や国際社会の発展に
貢献する。

知と実践の 共鳴

出会う 感じる 創造する

この言葉が示すように

静岡文化芸術大学では、

学生それぞれの

「知」と「実践」が共鳴しあい、

新たな可能性が広がっています。

巻頭特集 目次

01 荒廃農地の再生×地域共生 P006

景観を守り、絆を育む。
文化政策とデザインが交差する「棚田の未来」。

02 医療環境×アートマネジメント P007

病院を、誰もが心地よく過ごせる「日常の場」へ。

03 和風邸宅の保存×魅力創出 P008

歴史を紡ぎ、感性を磨く。
文化財を未来へつなぐ「対話」のデザイン。

社会と共鳴する 卒業生VOICE P009

01 フィールドワーク×組織を導く人事 P010

02 最適解思考×地方行政 P010

03 文化の循環思考×地域共創 P011

04 多領域デザイン思考×未来を育む建築 P011

05 心を動かすデザイン×世界で磨く感性 P012

06 多元的な創造力×映像演出 P012

最新トピックスはこちら



01

荒廃農地の再生 × 地域共生



種市 瑛太

文化政策学部
文化政策学科2年
静岡県立静岡城北高等学校出身

伊藤 凜

デザイン学部
デザイン学科2年
静岡県立磐田南高等学校出身

龍美 奈々

デザイン学部
デザイン学科2年
大阪国際高等学校（大阪府）出身

山本 ジョルジョ 慎悟

文化政策学部
文化政策学科2年
静岡県立掛川西高等学校出身

景観を守り、絆を育む。文化政策とデザインが交差する「棚田の未来」。

泥にまみれ、地域の「本質」を身体で学ぶ

浜松市浜名区の「久留女木の棚田」は、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に選定された美しい景観を誇る棚田です。しかしその裏側では、約4分の3が担い手不足による荒廃農地となっていました。この課題解決のため、2016年に発足したのが「引佐耕作隊」です。現在は14名の学生が、当初から守り続けている3枚の田んぼ（約500平米）の維持・再生に挑んでいます。学生自身が田起こしから収穫、パッケージデザイン、販売までを一貫して主体的に担う点が最大の特徴です。文化政策学科2年の種市瑛太さんは、活動を通じて視点が「俯瞰的」に変化したと語ります。棚田単体を見るのではなく、地



元の祭礼や自治会活動もまた同様の課題に直面している現実を肌で知ること、地域全体の営みを構造的に捉える重要性を学びました。こうした「足で稼ぐ情報」こそが、教室では得られない学びの土台となります。

水の管理とデザインが拓く持続可能な未来

米作りに不可欠な「水」の管理が、学生に大きな気づきを与えます。棚田の配水は上流の田や隣接農家との協力なしには成立せず、一歩間違えれば水不足を招きかねません。顧問の文化政策学科船戸修一教授は「お米は自然の恵みであると同時に、近隣との人間関係の中で出来上がるもの」と説きます。最初は自分の田んぼしか見ていなかった学生が、管理の大変さを経験する中で、自然と地域住民との関係性を築く必要性を理解していきます。こうした現場でのリアルな人間関係の構築は、文化政策を志す彼らにとって何物にも代えがたい財産です。また、デザイン学部との協働も大きな強みです。収穫米「久留女木 棚田の恵」のパッケージは、デザイン学部の学生が「手に取りたくなる可愛さ」を追求して

考案しました。種市さんも「デザインの力で活動が広く知られ、付加価値が生まれる瞬間を実感した」と話します。販売収益を次年度の苗代や肥料代に充てて活動を自立させるこのサイクルは、文化政策の論理とデザインの感性が融合した、SUACならではの地域貢献の形です。

PICK UP SUAC 久留女木 棚田の恵



夏場が水が抜けて水不足になったりするというアクシデントも地域の方々の助けを借りたりしながらなんとか収穫を迎えています。稲刈りは機械の入らないところは手刈りをしなければなりません。収穫量は年々増加しています。

02

医療環境 × アートマネジメント



松山 智那

文化政策学部
芸術文化学科1年
長野県松本蟻ヶ崎高等学校出身

間瀬 裕梨香

デザイン学部
デザイン学科1年
愛知県立安城高等学校出身

野辺 柊佳

文化政策学部
芸術文化学科1年
武南高等学校（埼玉県）出身

病院を、誰もが心地よく過ごせる「日常の場」へ。

病院という

「日常」をデザインする

病院は「怖い」「静か」というイメージが先行しがちですが、入院患者さんにとってはそこが「日常」を過ごす生活の場であり、職員にとっては「働く現場」でもあります。地域連携演習のプロジェクト「ホスピタルアートプロジェクトしずおか（通称HAPS）」は、アートやデザインの力でこうした病院環境の向上に取り組んでいます。

監修の芸術文化学科高島知佐子教授が大切にしているのは、この活動を安易に「支援」として捉えない視点です。「誰もが病院を訪れる可能性があるからこそ、特別な取り組みではなく、病院が当たり前居心地の良い場所であるための普遍的な活動であってほしい」と語ります。現在は磐田市立総合病院や浜松医科大学附属病院を拠



浜松医科大学附属病院でのクリスマス活動の様子

点に、ワークショップや空間装飾などを行っています。

相手の「論理」を理解し、 対話を重ねる

活動には想像以上の忍耐が求められます。病院側との細かな調整や安全への配慮といった、地道な準備の積み重ねが活動の根幹を支えているからです。芸術文化学科1年の野辺柊佳さんは「病院特有の制限の中で、患者さんや職員の方がどう感じるかを多角的に考慮し、企画を練る難しさを痛感した」と振り返ります。アーティストと連携しながら、現場のニーズに即した提案を模索するプロセスが、学びの核心となります。医療の専門家ではない「第三者」としての視点は、実は大きな強みになります。学生の先入観のないアプローチは、病院職員や医療を学ぶ学生に新たな気づきを提供するきっかけにも繋がります。自分の企画を一方的に提案するのではなく、病院側の論理を尊重し、相手の立場に立って柔軟に計画を構成し直す。こうした対話を通じて、学生たちは芸術を社会へ接続するために不可欠な実践力を養っています。今後は、大学が主体

となる形からさらに一歩進み、地域の文化施設やアーティストが自立的に関わっていける仕組み作りを目指しています。HAPSの挑戦は、医療と芸術の垣根を越え、社会に新しい潤いを生み出し続けています。

PICK UP SUAC

多職種で連携する チーム体制



HAPSは浜松医科大学の学生や地域のアーティストとも協力し、大学の枠を越えた多職種連携で活動しています。資金調達も学生自らが行うなど、社会の仕組みを主体的に動かす実践的な学びの場となっています。

03

和風邸宅の保存× 魅力創出

落合 風香

デザイン学部
デザイン学科1年
静岡県立掛川西高等学校出身

鈴木 りかこ

文化政策学部
文化政策学科1年
常葉大学附属菊川高等学校出身

宇津山 薫

デザイン学部
デザイン学科1年

大内 美空

文化政策学部
芸術文化学科1年
静岡県立掛川西高等学校出身

市原 彩聖

デザイン学部
デザイン学科1年
静岡県立袋井高等学校出身

歴史を紡ぎ、感性を磨く。文化財を未来へつなぐ「対話」のデザイン。

掃除から始まる、 空間との深い対話

掛川宿の西側に佇む掛川市指定文化財「松ヶ岡（旧山崎家住宅）」。江戸時代後期の豪商の面影を残すこの屋敷の保存と活用を目指し、デザイン学科の新妻淳子准教授を中心に「松ヶ岡プロジェクト」が展開されています。プロジェクトの根幹にあるのは、地域ボランティア「松ヶ岡を愛する会」と共に取り組む清掃活動です。新妻准教授は「お掃除をすることで得られる気づきは、机上の学びには代えられない」と説きます。畳を拭き、縁側に腰を下ろして庭を眺める。視線を落とすことで初めて、かつての設計者が意図した空間の美しさを肌で感じる事ができるのです。学生たちは朝8時からの清掃を通じ、単なる「教材」としてではなく、守るべき大



切な場所として建物への理解を深めていきます。現在、屋敷は数年にわたる大規模な修理工事の最中にあります。建築を志す学生にとっては、普段は見ることのできない壁の内部構造や伝統的な木組みの技法を間近に学べる、唯一無二のフィールドとなっています。

未来へ継承するための 「仕組み」をデザインする

単発のイベントで終わらせない「持続可能な活用」も重要なテーマです。デザイン学科1年の市原彩聖さんは、外部の人間としてではなく地域の一人として関わることを重視しました。周辺の店舗と連携したルートマップを制作し、屋敷だけでなく地域全体を回遊する仕組みを提案しています。また、同じくデザイン学科1年の落合風香さんは、自身の出身校である掛川西高校の演劇部と協力し、山崎家の歴史を子どもたちに伝える昔話の会やスタンプラリーを企画。大学生が起点となり、高校生や地域の子どもたちへと世代を超えたバトンを繋いでいます。場所に寄り添い、自分たちに何ができるかを問い続けるプロセスそのものが、社会と接続する

デザインの学びとなります。「ここでお茶を飲みたい」「ずっと残したい」という学生たちの素直な実感が、地域の誇りである文化財を「生きた場所」として次世代へ継承するための確かな原動力となっています。

PICK UP SUAC 松ヶ岡 (旧山崎家住宅)



江戸後期の掛川藩御用商人・山崎万右衛門の邸宅。明治天皇の行在所（あんざいしよ）にもなった歴史的建造物です。現在は本学と掛川市による文化財活用の共同研究拠点として、伝統技術の継承や文化イベントに活用されています。

社会と共鳴する 卒業生 VOICE



卒業生・在校生の声は
WEBで詳しく紹介しています。



東京電力ホールディングス株式会社
人事部

文化政策学部 国際文化学科 卒業
大角 絵未 さん



浜松市役所
企画調整部 デジタル・スマートシティ推進課

文化政策学部 文化政策学科 卒業
高井 麻莉菜 さん



公益財団法人浜松市文化振興財団
浜松アーツ&クリエイション

文化政策学部 芸術文化学科 卒業
縣 美勇士 さん



株式会社類設計室
計画設計部

デザイン学部 デザイン学科 卒業
古川 直樹 さん



GK Design Europe B.V.
(オランダ・アムステルダム勤務)
Product Design Division

デザイン学部 デザイン学科 卒業
大学院 デザイン研究科 修了
中井 俊宏 さん



株式会社テレビ朝日クリエイト
CG制作局 CG制作2部 CGデザイン室

デザイン学部 デザイン学科 卒業
野田 海生 さん

それぞれの思いを胸に、自分の道を進んでいる卒業生たち。

どのような「知」と「実践」を重ねてきたのか、そして今、どんな力を発揮しているのか。

先輩たちの「過去」と「今」を知ることが、あなたの「未来」につながっていく…。

自分が成長していくチャンスを見つける、道しるべにしてください。

01 フィールドワーク × 組織を導く人事

大角 絵未さん 文化政策学部 国際文化学科 卒業
東京電力ホールディングス株式会社 人事部

大学時代に学んだのは、「現場で感じることの強さ」でした。静岡県の「ブラジル青少年派遣事業」に参加し、2週間現地で過ごした経験では、文化や言葉が違って人と人は分かり合えることを実感しました。また、バングラデシュの難民キャンプを訪れ、支援の理想と現地の現実の違いを肌で感じました。「知ったつもりにならず、自分の目で確かめる」。その姿勢は、今も私の軸になっています。現在は東京電力ホールディングスで中途採用を担当しています。各部門の現場の声を聞き、人を通じて組織をつくっていく仕事です。採用の計画を立て、面接や制度づくりにも関わる中で、「現地で見て、聞いて、感じる」というSUACで培ったフィールドワークの精神が、大切な指針になっています。

SUACは先生や職員の方との距離が近く、手を挙げればたくさんの機会が得られる大学です。挑戦の中で失敗しても、受け止め、支えてくれる人がいる。そんな環境だからこそ、自分の進む道を自分で選ぶ力が育きました。



見て、聞いて、感じる。

その積み重ねが、今の自分をつくっている。

「最適解」を探し続ける。

答えのない行政の現場で、



02 最適解思考 × 地方行政

高井 麻莉菜さん 文化政策学部 文化政策学科 卒業
浜松市役所 企画調整部 デジタル・スマートシティ推進課

文化政策学科での学びは、私に「最適解を導く思考」を育ててくれました。社会課題には明確な正解がないことが多く、制度や歴史、現場の状況、市民の声を踏まえて最善策を探る姿勢が求められます。ゼミでの新聞記事分析や高校生向け模擬投票企画は、課題を多面的に読み解く訓練でした。「理論のない現実突破し、現実のない理論もまた突破する」という先生の言葉は、今も仕事の指針です。入庁後、最初の税務部署では、税の申告時期に中山間地域での申告業務を担当し、「来てくれて助かったよ」と声をかけていただいた経験から行政職の意義を実感しました。続く福祉部署では、障がいのある方の支援を担当し、制度を組み合わせることで解決策を模索。どの仕事でも“困りごとに対し最適な選択肢を見つける”行政の本質を学びました。現在はデジタル推進を担当しています。デジタル化の目的は、市民の利便性の向上です。役所の慣習やツールの使いやすさを踏まえ最適解を探る姿勢は、文化政策学科で培った思考力そのものです。SUACの文化政策学科は、行政・文化・デザイン・社会学を横断して学べる環境で、先生との距離も近く他学科と協働できる点が視野を広げてくれました。この学びが今の私の軸です。

03 文化の循環思考 × 地域共創

縣美勇士さん 文化政策学部 芸術文化学科 卒業
公益財団法人浜松市文化振興財団 浜松アーツ&クリエイション

文化芸術が、人と地域の未来を動かす力になる。その原点は、SUACで過ごした4年間にあります。芸術文化学科ではアートマネジメントを通じ、「文化芸術を社会にどう接続するか」を学びました。鑑賞体験にとどまらず、法制度や企画手法、歴史、地域との関係性など多角的に文化を捉える視点を修得。伝統芸能の“すり足”を体験する授業では、表現者が世界観を立ち上げる瞬間に触れ、文化の奥行きを実感しました。

卒業後は民間企業で店舗運営を担当し、多様な立場の人と向き合う中で“相手に合わせて伝える力”を磨きました。コロナ禍を経て「人が集う場を文化の力で再びつくりたい」と考え、文化振興財団へ転職。

現在は浜松アーツ&クリエイションで、クリエイター支援や地域連携を担当。天竜区春野町での「novel box」では、アーティストや企業、住民を結び、新たな“お祭り”を創出しました。文化芸術が地域に活力を生み、人をつなぎ直す瞬間に立ち会えた経験です。SUACの芸術文化学科は、答えのない問いを考え続け、自分の軸を育てる場所。この学びが、今の仕事の原動力です。

地域
の力へ
変えて
いく。

心
が動
く瞬
間を、



人
の未
来を
支え
る建
築を。

多
様
な学
びを
つな
ぎ、



04 多領域デザイン思考 × 未来を育む建築

古川直樹さん デザイン学部 デザイン学科 卒業
株式会社類設計室 計画設計部

SUACの4年間は、建築を“空間”としてだけでなく、人が安心して過ごし成長できる環境として捉える視点を育ててくれました。3学科再編後のデザイン学科1期生として、建築・プロダクト・モビリティ・グラフィックを横断的に学び、1年夏には自動車メーカーのサマースクールに参加。デザイン思考やプレゼン技術に触れ視野が広がる一方、「最も情熱を注げるのは建築だ」と確信しました。

その後、トルコでのワークショップ、マンションリノベの実案件、図書館ラーニングコモンズや仮設空間づくりなど、学内外で実践を重ねました。少人数ゼミで仲間と切磋琢磨し卒業制作に取り組んだ経験は大きな財産です。現在は株式会社類設計室で教育施設を中心に設計を担当。学校を「人生の基盤」と捉え、地域に開かれた大学や街の象徴となるキャンパスなど、“人の成長と社会の活力”を生む建築に向き合っています。SUACは分野横断で学べ、工房や機材も充実。浜松の産学連携の環境も力となり、ここで培った多様な視点が、今の設計の現場で確かに生きています。

05 心を動かすデザイン × 世界で磨く感性

中井 俊宏さん デザイン学部 デザイン学科 卒業
大学院 デザイン研究科 修了
GK Design Europe B.V. (オランダ・アムステルダム) Product Design Division

デザインは、人の心を動かす力だと思っています。大学時代、ゼミでは「人とモノの関係」をテーマに研究し、形や機能だけでなく、使う人の感情や行動を見つめる“人間中心のデザイン”を学びました。教授陣は学生の発想を尊重し、対話を通して思考を深める場をつくってくれました。浜松地域の企業との共同プロジェクトで得た実際の技術をどう社会に活かすかを考える経験が、デザインの実践力を育ててくれました。現在はオランダ・アムステルダムを拠点に、ヨーロッパ市場向けのプロダクトデザインやトレンドリサーチを担当しています。文化や価値観が異なる環境の中で、「どんなデザインなら心を動かせるのか」を日々考えています。日本とヨーロッパでは、デザインの捉え方も異なります。理屈よりも感覚が重視される世界で、感情に訴えるデザインの奥深さを実感しています。どれだけ技術が進化しても、デザインの中心にあるのは“人”。SUACで培った「手で考える感覚」と「人を感じ取る視点」が、世界のどこにいても僕の軸になっています。デザインは、誰かの心を動かす小さな力。その積み重ねが、社会を少しずつ前に進めていくのだと思います。

形に、想いを。心を動かすデザインは、世界を超えて届いていく。



五感で学び、積み重ねた四年間が、映像づくりの原点に。

06 多角的な創造力 × 映像演出

野田 海生さん デザイン学部 デザイン学科 卒業
株式会社テレビ朝日クリエイティブCG制作局 CG制作2部 CGデザイン室

SUACでの4年間は、「多角的に考え、つくる力」を育ててくれました。映像制作ソフトの操作を学びながら、写真や照明、グラフィック、音響など、あらゆる表現方法に触れた経験が、いまの仕事につながっています。技術を覚えるたびに、できることが少しずつ増えていく。その積み重ねが、自分の世界を広げてくれました。

現在はテレビ朝日クリエイティブで、ドラマのVFXやタイトル演出や音楽番組の演出映像を担当しています。多くの人に届く映像をつくる仕事です。視聴者が感じる“面白さ”の裏側にあるのは、ほんの数コマ単位の演出へのこだわりです。当時の指導教授の「少しの手間で最終的な見栄えに影響するものがあれば、それを疎かにしてはいけません」という言葉は、今も現場で支えになっています。SUACは、映像・デザイン・空間など多分野を横断して学べる大学。キャンパス自体が創造の刺激にあふれ、日常が“非日常”に変わるような空間でした。その中で養われた多角的な発想力が、私の映像づくりの原動力です。





文化政策学部のアドミッション・ポリシー

文化政策学部は、本学部の教育研究上の目的に基づき、国際文化学科、文化政策学科、芸術文化学科の3学科を設置し、以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れる。

国際文化学科

日本と世界の多様な文化に関心があり、それらを深く学びたい人
外国語を使い、世界の人々と交流し相互理解を深めたい人
ビジネスや国際協力、地域貢献を通して、グローバル社会で活躍したい人

文化政策学科

社会と文化について総合的に学び、その問題を発見・解決したい人
社会調査の方法、政策立案の手法を身につけたい人
行政や企業、NPOなどで活躍し、地域社会と産業に貢献したい人

芸術文化学科

文化・芸術とそれを取りまく社会について研究したい人
芸術やアートマネジメントに関する実践的知識を身につけたい人
文化・芸術を通じて地域を活性化し、創造性をもって社会に貢献したい人

デザイン学部のアドミッション・ポリシー

デザイン学部は、時代とともに変化する人や社会の価値観、文化の多様性を視野に入れ、さまざまな人の立場で考えるデザインを基本に、快適に暮らせる生活空間や環境を提案し、国際社会の発展や文化の向上に貢献できる人材を育成する。この教育方針の下、デザイン学科を設置し、以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れる。

デザイン学科

デザイン分野に強い関心を持ち、幅広くデザインを学びたい人
論理的な思考にもとづき、新しい価値の創出を目指す人
直観力や審美眼をみがき、自らの発想を的確に表現したい人
地球環境及び社会や地域に関心を持ち、現状を分析して対応策を考えようとする人



学びのフィールド

知と実践の共鳴

SUAC カリキュラムの特長

➤ P015

複雑な社会課題に向き合う力をつける体系的な学びへ

文化政策学部

国際文化学科

定員100名

➤ P021

文化の多様性を理解し、グローバル社会の課題に取り組むことができる人材を養成します。

文化政策学科

定員55名

➤ P027

社会科学の知識や調査手法で課題解決のための政策や経営戦略を立案・実行・評価できる人材を養成します。

芸術文化学科

定員55名

➤ P033

芸術やアートマネジメントの知識から、創造性を活かして文化振興や地域活性化に貢献できる人材を養成します。

デザイン学部

デザイン学科

定員110名

➤ P045

デザインによる新しい文化・人間社会の創造を通じて、地域社会の発展や文化の向上に貢献し、国際的に活躍できる人材を育成します。

大学院

文化政策研究科

定員10名

➤ P065

芸術文化の振興や新たな地域政策を創造できる高度な専門家を育成します。

デザイン研究科

定員10名

➤ P067

デザインプロフェッショナルに必要な専門知識と応用能力を高め、社会の要請に応える人材を育成します。

SUAC カリキュラムの特長 4 POINT

社会課題が分野を越えて混ざり合い、人々の価値観や仕組みが激しく変化する時代。

より柔軟に、より多角的に対応できる人材を育成するために「知」と「実践」の力を高めるカリキュラムが用意されています。

学部・学科の枠を越えて、他分野も横断的に学ぶことで、専門だけでなく、複合的な視点を身につけ、将来の活躍の場を広げます。

カリキュラム 4つのポイント

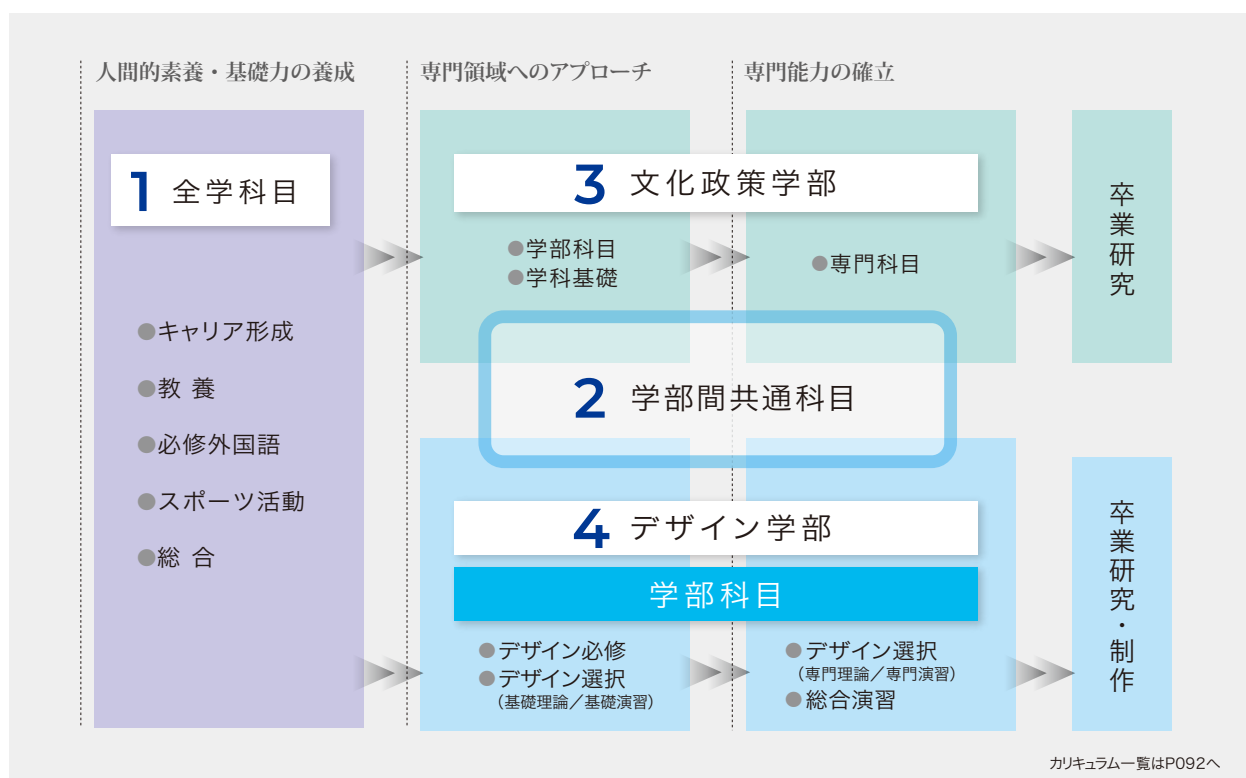
POINT 1 全学科目 / キャリア形成に関する科目と多様な必修外国語を中心に学びの基礎力を高める

POINT 2 学部間共通科目 / 学部を越えた学際的授業で学びの視野を広げる

POINT 3 文化政策学部 / 所属学科の学びに加えて3学科横断プログラムが受講できる

POINT 4 デザイン学部 / 1つの学科でデザインの分野を横断しながら専門性を高める

SUACで学ぶ4年間



POINT 1

文化政策学部・デザイン学部 「教養と感性」「知識と能力」を身につける 全学科目

キャリア形成 本学ならではの体験科目と専門教育につながるリテラシー科目で学びの基礎を身につけます。

「情報・データサイエンス」「キャリアデザイン」に関する科目群を新たに設置。
「導入」「実践演習」とともに、1年次から開講することにより、卒業後のキャリアを見据えた学びを展開します。

学びの基礎と感性を養う

導入

●「文化芸術体験演習」 開講年次/1年次前期
少人数編成で行う演習科目。プロフェッショナルの講師を招き、日本の伝統文化や芸術表現の実技体験を通して、文化や芸術への接し方や表現力について学びます。

○演習内容（令和8年度）：落語、狂言、写真、茶道



●「学芸の基礎」 開講年次/1年次前期
学びの基礎として必要なリテラシー（読み・書き・情報活用能力）を身につけ、レポート・論文作成の基礎知識や、プレゼンテーションの技法等、社会で役立つ実践的スキルを磨きます。

自らのキャリアを構想する

キャリアデザイン

社会の現状や仕事や働き方について学び、自分の良さを将来の進路に結びつけていく能力の重要性について理解し、自分自身の生き方をデザインするための知識やスキルを身につけます。社会で活躍するプロフェッショナルを招いた講座や、企業から提示される課題に対してチームで取り組む演習を通して、社会で働くことのイメージを具体化させます。

- 「キャリアデザイン概論」 開講年次/1年次後期
- 「キャリアデザイン講座」 開講年次/2年次前期
- 「キャリアデザイン演習」 開講年次/2年次後期

情報社会のスキルを身につける

情報・データサイエンス

PCをはじめとするICT機器の正しい活用法について学び、その技術を利用してさまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力やAI・データサイエンスの知見およびその活用能力を身につけます。さらに、画像の図形描画や処理方法の基礎的なスキルについても学びます。

- 「ICTスキル基礎」 開講年次/1年次前期
- 「デジタル表現基礎」 開講年次/1年次
- 「データサイエンス入門」 開講年次/1年次後期

地域社会とつながる

実践演習

実社会の課題を見つけ、体験を通して理解を深め、解決する方法を学ぶ演習科目。社会で実践的に活躍するための知識や技術、行動力を養います。学生たちは学部・学科の枠を越えて、実践的な学びに取り組みます。

- 「企画立案演習」 開講年次/1年次
- 「地域連携演習A・B」 開講年次/1年次
- 「自主課題演習」 開講年次/2年次



必修外国語

国際社会で力を発揮するための実践的な語学能力と幅広い文化的知識を身につけます。必修外国語として8カ国語から選択が可能。多様な言語学習のニーズに対応します。

英語	韓国語
中国語	インドネシア語
フランス語	イタリア語
ポルトガル語	ドイツ語

POINT 2

文化政策学部・デザイン学部

社会の複合的な課題に、学部を横断して取り組む

学部間共通科目

学部の枠を越えた学際的な授業で、学生の視野を広げる「学部間共通科目」を新設。文化政策学部の学生はデザイン学部の専門科目を、デザイン学部の学生は文化政策学部の専門科目を、所属学部の専門科目として履修することができます。

文化政策学部で受けられるデザイン学部提供の科目

- デザイン概論
- 生体機能論
- ユニバーサル/インクルーシブデザイン概論
- メディア産業論
- 都市デザイン論 ※1
- デザイン思考 ※2
- 現代デザイン論
- 世界建築史
- グラフィックデザイン概論
- デザインとマーケティング ※1
- 空間演出総合計画 ※2

※1 文化政策学科を対象に開講 ※2 芸術文化学科を対象に開講

デザイン学部で受けられる文化政策学部提供の科目

- 視覚芸術論
- 広報・広告論
- マーケティング論
- 劇場芸術論
- 都市経営論
- 産業遺産と産業史
- 経営学
- ルネサンス文化史
- メディア文化論
- 美術史 (西洋)I・II
- 美術史 (日本・東洋)I・II
- 経営戦略論
- 地域ビジネス論
- 文化と芸術D

POINT 3

文化政策学部 ▶▶ 詳しくはP019

専門分野を横断し、社会の複合的な課題に文化政策で取り組む

文化政策学部

オプション・スタディーズ

所属学科の専門領域に加えて、さらに学びを広げる学科横断型プログラム。テーマに沿ってまとめられた他学科の体系的な科目群を履修し、物事を総合的・学際的に捉える視点を養います。

所属する学科での
専門的な学び



他学科科目を中心に
構成されるプログラム

文明観光学コース 3学科横断コース

文明史の観点から観光を捉え、持続しうる観光産業と多様な芸術・文化を融合できる人の養成を目指します。自身の興味関心に合わせた履修を可能とし、多様で柔軟な学びを実現します。



POINT 4

デザイン学部 ▶▶ 詳しくはP043

より自由度を高く、社会の複合的な課題にデザインで取り組む

デザイン学部

社会の中でのデザインを取り巻く環境の大きな変化に対応するため、デザインのプロセスにおいて多角的な視点で分析したり、領域を越境してユニークなコンセプトを立案する力が求められています。柔軟なデザインの思考力を養うため、さまざまな分野の内容を総合的に学び、広範囲で専門性に富んだカリキュラムを用意。それぞれの進路を踏まえながら必要な科目を履修し、分野を横断しながら幅広く深い学びを獲得します。

総合的な デザイン 基礎の学び

必修科目・選択科目
(基礎理論/基礎演習)

専門的な学び

匠・プロダクト系

- プロダクトデザイン
- 匠（工芸）デザイン

メディア系

- グラフィック・コミュニケーション
- 映像・メディアコンテンツ

建築・環境系

- 建築
- インテリア・空間デザイン

横断的な学び

卒業研究・制作

基礎教育から進路までのイメージ

1 年次前期～

幅広いデザイン知識と
技術の修得

1、2年次前期までは幅広くデザインの基礎を学びます。特に各分野の概論を履修することで3つの系の特性を理解し、自分の進路の方向性をイメージすることが重要です。

1 年次後期～2 年次前期

希望と適性を踏まえた
方向性の選択

デザインの基礎を身につけ、デザイン分野で幅広い選択肢があることを認識した上で、自分の興味や希望、適性や卒業後の進路を見定め、主軸とする系や科目を選択します。

2 年次後期～3 年次

3つの系を横断する学び

専門的な学びにつながる多彩な学科専門科目、これらの配置は各系の区別が設けられているわけではなく、自分の進路を意識しながら必要な科目を横断的に履修し幅広く学べます。

4 年次

卒業後

多様な活躍の場

現代社会ではデザインを総合的に捉える力を専門分野の実践の中で活かす機会が増えています。デザイナーという職業を主体として、企業や官公庁など多様な活躍の場が待っています。



創造的な思考力を身につけ、現代社会の課題に取り組むことができる人材を。

文化政策について体系的に学ぶことで、人々の考え方や暮らしの多様性を理解し、社会の発展に貢献できる創造的な思考力を育てます。現代社会が直面するさまざまな課題に対して、自ら考え、文化と社会の関わりを深く学ぶことで、新しい価値を生み出し、よりよい未来を築くための視点を身につけます。文化政策学部では社会の課題解決に向けて積極的に取り組める人材を輩出することで、社会に貢献していきます。

文化政策学部

| 国際文化学科 | 文化政策学科 | 芸術文化学科

基礎をつくる4つの科目群

「文化政策とは何か」を理解するために、文化政策学部では学部科目として、〈文化・芸術〉、〈政策・マネジメント〉、〈情報・リテラシー〉、〈観光〉の4つの分野の科目群を設置しています。学生は、これらの中からバランスよく科目を選び学んでいきます。これらは、3つの特色ある学科での専門的な学習に共通する土台となります。

| 文化・芸術

各学科の専門分野を学ぶ上で必要な、文化や芸術表現の多様性や歴史などを概観するとともに、異なる文化への理解や多様な社会システム、芸術表現等に関わる幅広い知識を養います。

| 観光

欧州から西アジア、東アジアに至る、そして日本国内における観光交流の歴史的潮流を俯瞰し、また産業革命以降、近現代の観光産業の発展にも目を向け、地域の伝統文化や地場産業を活かした観光の基礎知識を学修します。

| 政策・マネジメント

企業に加え、政府、自治体、NPO/NGOといった非営利組織も含めた、幅広い経営体における政策の企画立案や評価、経営体のマネジメントの基本を学びます。これらを通じて、人と人、人と社会のより良いあり方に資するための実践的な能力を発揮できるようになることを目指します。

| 情報・リテラシー

社会の課題に対する構想力、企画力、問題解決能力を養うとともに、専門的な研究やその成果を、広く社会に向けて発表・表現することや、多様な市民社会の中での合意形成を促進するための実践的なスキルを身につけます。加えて、多様化する情報社会の中で、慎重にこれらに対処するための法的・制度的知識や自身の情報リテラシーの素養を身につけます。



文化政策学部で学べること。3学科での関連ワード

文化政策学部では、「国際文化学科」「文化政策学科」「芸術文化学科」の3つの学科を設け、社会と文化の関わりを専門的に学びます。複雑、多様な社会について、専門領域だけでなく周辺領域の知識にも触れながら、広く、深く学んでいきます。



文化政策学部の3学科で 取得可能な資格等

※詳しくはP079へ

- ◆教育職員免許状[中学校教諭一種・高等学校教諭一種]
- ◆国際文化学科/国語(中学・高校)・英語(中学・高校)
- ◆文化政策学科/社会(中学)・公民(高校)

- ◆図書館司書
- ◆博物館学芸員
- ◆日本語教員養成課程
- ◆社会調査士



文化政策学部

| 定員100名 |

国際文化学科

文化の多様性や価値を理解し、
対話を通じてグローバル社会の課題に
取り組むことができる人材を養成します。

今、世界は、大きく変わろうとしています。国を越える経済や人の交流は信じられないほどの速さで進んでいます。そして宗教、伝統文化も大きく変わろうとしています。国際文化学科は、こうしたグローバルな社会を冷静に見極め、積極的な価値を発見する力、なによりも人間共存のための創造力、行動力を生み出す学びを進めています。経験豊かな教員がチームワークで学生と向き合い、つねに多様なニーズに対応しています。そして、毎年多数の積極的な学生が留学や海外でのインターンシップを実現しています。

取得可能な資格

▶▶ 詳しくはP079をご覧ください。

教育職員免許状：中学校教諭一種【国語・英語】

教育職員免許状：高等学校教諭一種【国語・英語】

日本語教員養成課程

図書館司書

社会調査士



文化の多様性と価値を理解し、 これからの社会の課題に取り組むための 知識とスキルを身につける。

国際社会・地域社会が抱えている課題を解決するためには、何が問題なのか、その背景にまでじっくりと思考を巡らすことが必要です。さらに文化を尊重しながら、他者と対話を重ねることも欠かせません。大学での「学び」を通じて、そのために必要な知識と、主体的に取り組む力、コミュニケーション能力を身につけましょう。

国際文化学科の学びの体系

「国際文化概論」「国際文化基礎論」といった学科基礎、そして専門外国語を学ぶことで多様な文化のあり方や価値を学びます。それに加えて、3つの専門的な科目群である「日本・東アジア」(21科目)・「地中海・西欧・北米」(22科目)・「多文化共生」(20科目)から各自の関心に沿って科目を選択し、文化を創造的、能動的に学んで、卒業研究の準備をしていきます。また、「グローバル・キャリア・デザイン概論」によって将来のキャリアを早期に構築するサポートをします。

国際文化学科の特徴

01

多様な言語と文化が学べる

国際文化学科の学科専門科目には、英語・中国語・イタリア語・フランス語・ポルトガル語・韓国語をより専門的に深められる科目群（専門外国語）のほかに、日本・東アジア、地中海・西欧・北米といった地域ごとの文化・社会・歴史について学ぶ科目群があります。文化を深く、体系的にあるいは多角的に学ぶとはどういうことなのか、研究方法も含めて考えていきましょう。

02

多文化共生社会や日本語教育が学べる

キャンパスのある静岡県浜松市は、様々なルーツや文化的背景を持つ人が暮らしている街です。そのため、国際文化学科では、持続可能で誰もが暮らしやすい社会を実現するための、多文化共生に関わる科目と、日本文化を知るための科目の両方が学べます。さらに日本語を「外国語」として学ぶ人々をサポートする仕事を目指したい人は、日本語教員養成課程で実践的に学ぶことができます。

03

グローバル・キャリアや国際協力が学べる

留学などで積極的に海外に出かける学生が多いのも、国際文化学科の特徴です。さらに海外で得たグローバルな経験を仕事に活かすため、「グローバル・キャリア・デザイン概論」などの科目が用意されています。また、開発途上国を支援する国際協力に関する科目も充実しています。「フェアトレード論」をはじめとしたビジネスを通じた社会貢献について実践的に学べます。

卒業生の声

異文化と向き合う学びが、私のまちづくりの原点に。

—— 国際文化学科 卒業 町田市市民部市民協働推進課男女平等推進センター 磯貝 なつみ

大学では、日本語教育や地域連携の授業を通して、多文化共生の現場に直接触れながら学びました。特に、日本語が十分に話せない中学生の学習支援に携わった経験は、「困っている人に寄り添う」行政の仕事を決めた大きな転機となりました。また、浜松まつりへの参加を通じて、地域に根づく文化や人と人とのつながりの力を実感できたことも印象に残っています。現在は東京都町田市で、男女平等参画やLGBTQ啓発の企画に携わり、浜松で培った多様性を尊重する視点を実務に生かしています。



卒業研究

- 日本・東アジア
韓国の食文化/ベトナムの社会変動/グローバル探求活動/日本語学/日本地域史/災害の伝説/思想史・メディア史/「格差」の捉え方 など
- 地中海・西欧・北米
アメリカ教育学/イタリアの歴史遺産/中東地域の近代化/フランス文化/西欧ジェンダー史/欧州統合の歴史と現在/イギリス文化/英語学/英語習得の方法 など
- 多文化共生
国際的な人の移動/第二言語習得/NPO・NGO/発展途上国/日本語教育 など

専門科目群

- 日本・東アジア
- 地中海・西欧・北米
- 多文化共生

専門外国語

- 英語表現法 ●応用英語
- 中国語上級 ●フランス語中級・上級
- ポルトガル語中級・上級 ●韓国語中級
- イタリア語上級

学科基礎

- 国際文化概論 ●グローバル・キャリア・デザイン概論 ●比較文化論
- 国際関係論 ●ナショナリズム論 ●国際文化基礎論 ●文章表現技法

国際文化学科で学ぶ4年間

1年次	2年次	3年次	4年次
全学科目			
学部科目			
学科基礎		専門外国語は、英語・中国語・イタリア語・フランス語・ポルトガル語・韓国語から選択できます。	3つの系統からなる専門的な科目群を横断的に学ぶことで、卒業研究に向けて自身の追究したいテーマを模索します。
専門外国語			
専門科目群 ■日本・東アジア ■地中海・西欧・北米 ■多文化共生			
演習（ゼミ）・卒業論文			
4年間の流れ			
<p>学科基礎科目「国際文化概論」「国際文化基礎論」等を通じて基礎を学び、専門分野への足がかりをつくります。</p>	<p>専門科目が本格的に始動。「専門外国語」を通じて高度な言語力を習得。後期には所属ゼミが決定します。</p>	<p>学科専門の講義では、学びたい分野の科目を積極的に履修するとともに、演習（ゼミ）で専門テーマを深く掘り下げていきます。</p>	<p>大学での研究の集大成として、卒業論文をまとめます。ゼミの中で執筆計画を立てて着実に実行、あわせて卒業後の進路を選択していきます。</p>

開講科目例

▶▶▶ カリキュラム一覧はP092以降をご覧ください。

Effective Communication Through Engaging Presentations

「応用英語 プレゼンテーション英語」

【3～4年次／専門科目】

英語プレゼンテーションは、実社会で必要なスキルです。本授業では、データ収集・分析を通じて発信力を鍛え、聴衆を引きつける技術を学びます。講師や学生からのフィードバックを活かし、表現力を向上させ、より説得力のあるプレゼンを目指します。最終プロジェクトでは、デザイン学科や留学生と協力し、インタラクティブなプレゼン展示を行い、実践的なチームワークとグローバルなコミュニケーション力を養います。



無意識に習得したコトバを意識化する

「日本語文法 I-II」【1～4年次／専門科目】

「日本語文法」と聞くと、国語の時間に暗記した様々な文法用語を連想する人が多いかもしれません。しかしこの授業では、日本語を様々な言語の中の一つと捉え、私たちの頭の中にある言語規則を自ら考え意識化するという作業を行います。普段何気なく使う日本語の中にも、これまで気づかなかった多くの発見があるはず。人間の言語能力の不思議と日本語の魅力を感じてもらえればと思います。

東南アジアについて多角的に考える

「現代の東南アジア」【1～4年次／専門科目】

東南アジアの諸地域について考察する科目群への導入の位置にある科目です。現在の東南アジアは11の国から成る地域で、日本との関係も多様化しています。この科目では、20世紀半ばから現在にかけての東南アジアについて、言語・文化・国際関係・経済等の様々な面から考察し、理解を深めます。学生は、こうしたテーマに関する事例について東南アジアから英語で発信されている情報を読んだうえで授業に参加します。



「地球市民」の視点から国際機構について学ぶ

「国際機構論」【2～4年次／専門科目】

国際連合、EU、ASEAN等の国際機構は国際社会における秩序構築や構成国の社会的な繁栄を基本的な目的とし設立されました。近年では歴史文化遺産、持続可能な開発、国外留学といった種々の分野において、これら国際機構と私たち一般市民の生活の間に密接な関連性が見られるようになりました。授業では主要な国際機構の歴史、現状、展望について国際政治学の理論をもとに理解を深めていきます。

ゼミ（卒業研究演習一覧）

3年次前期から始まるゼミナール（演習）では、共通の関心を持つ学生が集まり、毎週行われる授業のほか、現場研修やフィールドワークが企画されるなど、専門的な少人数の授業が行われます。担当教員が個別のアドバイスをを行い、4年次には卒業論文の執筆に展開していきます。

<p>文明の根源を探って光を観る</p> <p>担当教員：青木 健 教授 専門領域：宗教学・西アジア文明</p>	<p>古文書から地域の歴史を掘りおこす</p> <p>担当教員：西田かほる 教授 専門領域：日本史・文化史</p>	<p>「多文化共生」新時代—未来を共に創る—</p> <p>担当教員：佐伯康孝 准教授 専門領域：国際的な人の移動研究</p>
<p>自分だけの韓国を知る</p> <p>担当教員：林 在圭 教授 専門領域：韓国文化・韓国語</p>	<p>文学×民俗学＝伝承文学</p> <p>担当教員：二本松康宏 教授 専門領域：日本文学・伝承文学</p>	<p>現場の視点から「地域の発展」を考えよう</p> <p>担当教員：武田 淳 准教授 専門領域：開発人類学・環境と開発</p>
<p>Applied Linguistics and Global Culture</p> <p>担当教員：Edward Pearse SARICH 教授 専門領域：英語教育</p>	<p>史料との対話から「今」を問い直す</p> <p>担当教員：水谷 悟 教授 専門領域：日本近現代史</p>	<p>中東などの近現代史を扱う</p> <p>担当教員：徳増克己 准教授 専門領域：中東北部と旧ソ連の境界地域史</p>
<p>東南アジアの歴史・文化・社会</p> <p>担当教員：岡田建志 教授 専門領域：東南アジア史</p>	<p>経済を通して中国とアジアを知る</p> <p>担当教員：齋 嶽 教授 専門領域：中国経済・開発経済学</p>	<p>フランスを学び、フランスから考える</p> <p>担当教員：中田健太郎 准教授 専門領域：フランス文学・視覚文化論</p>
<p>我が国とアメリカの教育学</p> <p>担当教員：倉本哲男 教授 専門領域：教職実践学・アメリカ教育学</p>	<p>言語習得メカニズムの探究</p> <p>担当教員：横田秀樹 教授 専門領域：第二言語習得・心理言語学・英語教育</p>	<p>「グローバル社会」の仕組みについて学ぶ</p> <p>担当教員：西脇靖洋 准教授 専門領域：国際関係論</p>
<p>日本語・日本語教育の研究</p> <p>担当教員：佐野由紀子 教授 専門領域：日本語学・日本語教育</p>	<p>探求を通じて国内外の社会課題に挑戦</p> <p>担当教員：石坂貴美 准教授 専門領域：国際協力・地域研究（アジア）</p>	<p>イタリアから世界の歴史と文化を知る</p> <p>担当教員：萩原里香 准教授 専門領域：イタリア文化・舞台芸術</p>
<p>English Education and Global Issues</p> <p>担当教員：Jack RYAN 教授 専門領域：英語教育</p>	<p>一生使える文化人類学</p> <p>担当教員：内尾太一 准教授 専門領域：文化人類学・フィールドワーク論</p>	<p>日本語教育が社会に貢献できることを考える</p> <p>担当教員：福永達士 准教授 専門領域：日本語教育</p>
<p>ヨーロッパの歴史と文化の研究</p> <p>担当教員：永井敦子 教授 専門領域：西洋史</p>	<p>グローバル化の活動で国・企業・人を繋げる</p> <p>担当教員：崔 学松 准教授 専門領域：中国文化社会・東アジア国際関係・言語社会学</p>	<p>しなやかな人文知で文明観光を模索する</p> <p>担当教員：宮崎千穂 准教授 専門領域：旅と病の歴史・日本とシルクロード</p>

ゼミ紹介（一例）

ゼミ担当教員の声

人類学的想像力のために。



文化人類学
内尾 太一 准教授

大学の4年間を、未知の環境に身を置く時間だと考えてみましょう。高校までと異なるルールや常識に戸惑いつつも、やがて順応していく。そこでの日々の出来事や人間関係は、自分だけのかけがえのない経験となっていきます。実はこの過程は、文化人類学のフィールドワークと意外なほど似通っています。ゼミで文化人類学を学ぶことは、学問的知識や調査技法の習得だけでなく、こうした一見異なる人間の営みの連なりを想像する力を磨くことだと考えています。

ゼミ生の声

見慣れた世界を不思議に、 見知らぬ世界を身近に。



安竹 ひなた
国際文化学科 4年
静岡県立富士宮西高等学校 出身

文化人類学の魅力である「日常を不思議にし、異文化を身近にする」という姿勢に惹かれて内尾ゼミを選びました。浜松沿岸部での防災調査やエスニック料理店への聞き取りなど、実際に人びとの生活世界に触れながら学べる点が大きな特徴です。アルバイト経験から着想した卒業論文では、接客業の“感情労働”をテーマに、お客さんと店員が互いを一人の人として捉え直す関係性を探っています。日常の小さな違和感が研究になる学びは、自分の世界の見え方を大きく広げてくれました。

在学生の声



文化を読み解く力が、
私の世界と未来を拓いていく

—— 国際文化学科 4年 後藤 詩織
静岡県立富士東高等学校 出身

入学当初は音楽・美術・海外文化への興味が点在していましたが、国際文化学科での学びを重ねる中で、それらが少しずつつながり始めました。1年次の授業では、多様な価値観に触れ、「一つの正解では語れない世界」を理解する姿勢が身につきました。

2年次にはフランス語や芸術文化の授業がきっかけで、関心が自然とフランス文化へと深まり、3年次には中田ゼミでの議論を通して、自分の研究テーマが形づくられていきました。卒業研究では、フランスの詩人ポール・クローデルが日本からどのような影響を受け、それが作品にどう表れているのかを読み解いています。

SUACは、芸術・文化・社会・言語といった異なる領域を横断しながら、自分の興味が線となって結びついていく大学です。幅広い学びを通じて視野が広がり、自分の進みたい方向が自然と見えてきました。国際文化と芸術を多面的に学びたい人にとって、大きな発見のある環境だと思います。

高3のとき	芸術と海外文化への興味から、幅広く学べるSUACを志望
1年次	多文化共生の授業のなかで、価値観の多様性を柔軟に受けとめる姿勢を学ぶ
2年次	フランス語・芸術文化の授業を通し、関心がフランス文化へ深まる
3年次	中田ゼミで議論を重ね、卒論テーマを確立
4年次	地元のアンサンブル団体で活動を続けながら、世界との関わりを意識して就職先を決定



自分のルーツを力に変えて
多文化共生の未来をひらく

—— 国際文化学科 3年 LA ADITYA RAHMAT PANDEWA
三重県立松阪高等学校 出身

多文化共生を学びたいと思い、外国人住民が多い浜松で実践的に学べる静岡文化芸術大学を志望しました。入学後は英語や韓国語などの言語、各国の文化や歴史を幅広く学び、留学生や多様な背景を持つ仲間との交流を通して視野が広がりました。

2年次から佐伯先生の授業に触れ、3年次からゼミで多文化共生と国際労働力移動論を専門的に探究しています。外国人労働者が家族を伴って暮らす時代に、働く人だけでなく子どもの教育や地域の受け入れまで含めて支える仕組みを考えることが私のテーマです。

静岡県多文化共生月間の公式ポスター制作ではリーダーとして議論を重ね、「鍵と扉」をテーマにインターカルチュラルシティの理念を形にしました。県主催のシンポジウムで発表する機会も得て、学びが社会に届く手応えを感じています。将来は多様な人が生き生きと働ける社会に貢献したいです。

高3のとき	多文化共生と言語・文化を実践的に学べるSUACを志望
1年次	言語と文化を幅広く学び、多様な価値観に触れる
2年次	多文化共生と国際労働力移動論への関心を深め、専門的な学びを志向
3年次	佐伯ゼミに所属し、静岡県多文化共生月間の公式ポスター制作をリーダーとして担当

国際文化学科の「知」と「実践」

持続可能なビジネスモデルの創出

気候変動の時代の新たなフェアトレードを目指して

アジア初の「フェアトレード大学」に認定されたSUAC。武田淳研究室では、学生たちとフェアトレードの実践活動も行っています。テーマは「コーヒーと気候変動」。このまま温暖化が進んでいくと、2050年にはコーヒーの収穫量が激減する見込みです。収入減少が危惧される生産者に、新たな収入源を作るプロジェクトを行っています。これまで廃棄されてきたコーヒーの果肉（カスカラ）からお茶や石鹸を作るプロジェクトは、環境大臣から表彰を受けました。また2024年には浜名湖花博で研究室のメンバーがプレゼンテーションをしました。支援の対象は、コスタリカとパプアニューギニア。コーヒーを通じて、開発途上国の「今」を考えています。



地域に受け継がれた「心と記憶の文化遺産」

民話の採録調査と書籍の刊行

伝承文学ゼミは、浜松市天竜区の山里を訪ね歩き、地域や家庭で語り継がれてきた民話の採録調査に取り組んでいます。採録した昔話や伝説は、方言や語り口もそのままに翻字し、毎年、書籍として刊行してきました。失われつつある口承文化を記録し、未来へつなぐ学びの実践です。私たちの活動は新聞やテレビでも紹介され、日本昔話学会などからも高い評価を受けています。行政機関との連携、地域の支援者・団体との調整、調査オペレーション、マスコミ対応などはすべて学生が管理・担当するため、口承文芸に関する専門的知識や学術的スキルだけでなく、高度な調整力やコミュニケーション技法も身につけることができます。



卒業生の主な進路 (令和5年～7年度卒業生、抜粋)

公務

愛知労働局(労働基準監督官)	掛川市役所
静岡労働局	町田市役所
愛知県庁	愛知県教育委員会(教員)
静岡県庁(行政)	大阪府教育委員会(教員)
石川県庁(行政)	静岡県教育委員会(教員)
浜松市役所	

卸売・小売業

(株)IDOM	日鉄物産(株)
(株)オンセブンティズ	(株)ニトリ
(株)杏林堂薬局	ホンダ開発(株)
鈴与商事(株)	(株)ミサワ
(株)ZOZO	(株)ライフコーポレーション

運輸・旅行業

(株)エイチ・アイ・エス	(株)Kスカイ
NCA Japan(株)	(株)星野リゾート・マネジメント
遠州鉄道(株)	(株)日本旅行
(株)JTB	リゾートトラスト(株)

製造・建設業

(株)アイエイアイ	凸版印刷(株)
エンケイ(株)	トヨタ自動車(株)
(株)小糸製作所	(株)ニコン
芝浦機械(株)	(株)日立ソリューションズ
(株)シャンソン化粧品	プライムアースEVエナジー(株)
スズキ(株)	(株)ミサワホーム静岡
(株)SUBARU	ローランド ディー. ジー. (株)
セキスイハイム東海(株)	(株)ワールドインテック
タカラスタンダード(株)	

金融・保険業

(株)伊予銀行	長野県信用組合
(株)清水銀行	静銀ティーエム証券(株)
大垣西濃信用金庫	第一生命保険(株)
しずおか焼津信用金庫	日本生命保険(相)
西尾信用金庫	三井住友海上火災保険(株)
浜松磐田信用金庫	岐阜県農業共済組合

サービス業など

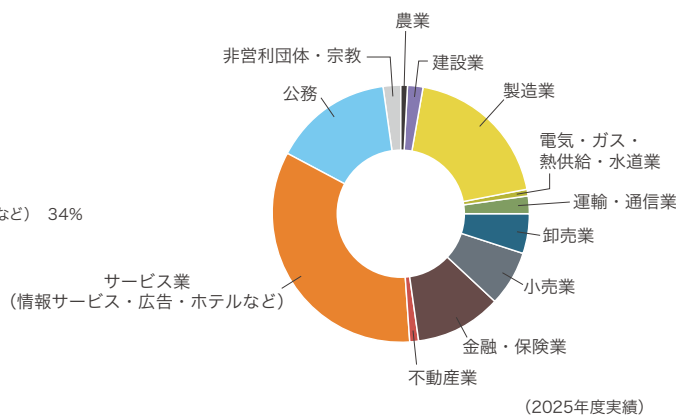
(株)あきんどシロワ	日本赤十字社 徳島県支部
エン・ジャパン(株)	日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)
オリンパスマーケティング(株)	パーソルキャリア(株)
(株)シャトレーゼ	(株)PFU
セコム(株)	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
生活協同組合コープながの	(株)ベネフィット・ワン
聖隷クリストファー中・高等学校	ヤマハモーターソリューション(株)
中部国際空港旅客サービス(株)	(株)リクルート
(株)TOKAIホールディングス	
(株)東急キッズベースキャンプ	
東邦ガステクノ(株)	

大学院進学

静岡大学	三重大学
静岡県立大学	早稲田大学
静岡文化芸術大学	

就職データ

■ 農業 1%	■ 金融・保険業 11%
■ 建設業 2%	■ 不動産業 1%
■ 製造業 19%	■ サービス業 (情報サービス・広告・ホテルなど) 34%
■ 電気・ガス・熱供給・水道業 1%	■ 公務 15%
■ 運輸・通信業 2%	■ 非営利団体・宗教 2%
■ 卸売業 5%	
■ 小売業 7%	





文化政策学部

| 定員55名 |

文化政策学科

生活の質や生きがいの向上を目標に、
地域社会と産業の持続可能な姿を探究し
学際的・実践的なカリキュラムを通じて、
それを実現するための構想力と実行力を培います。

「文化政策」とは、より良い社会のあり方を探究し、これを実現するための方策を意味します。そしてその方策について、文化政策学科では、主に社会科学の視点から学びます。特に「政策」「経営」「情報」という3つの分野を、総合的に学ぶ特色あるカリキュラムを用意しています。地域社会や企業の様々な課題を社会調査などの手法で分析し、持続可能で包摂的な社会の実現に向けた、行政施策・企業戦略・市民活動などを構想し、実現することができる人材を養成します。

取得可能な資格

▶▶ 詳しくはP079をご覧ください。

教育職員免許状：中学校教諭一種[社会]

教育職員免許状：高等学校教諭一種[公民]

社会調査士

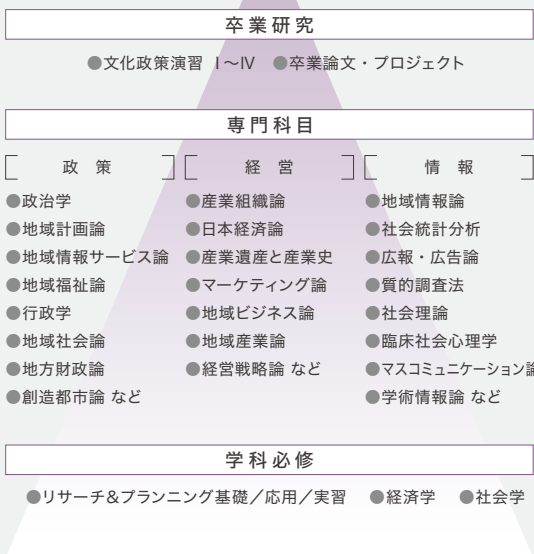
図書館司書



文化政策学科の多角的な学び

文化政策学科には、政策や行政、経済や経営、文化や情報、社会や心理、法律など多岐にわたる専門分野の教員がいます。まず入学から2年間は、多様な学科科目を履修しながらじっくりと学びたい分野やテーマを設定します。3年次からのゼミや4年次の卒業論文・プロジェクトでは、自らが関心を持ったテーマについて、専門知識を持つ教員の指導のもとで学びを深めていきます。また専門的な指導にあたっては、各演習（ゼミ）担当教員による少人数クラスでのきめ細かな教育を行います。

文化政策学科の学びの体系



文化政策学科の特徴

01

調査研究や企画立案の手法を身につける

学科必修では、文化政策の基礎となる知識とともに、基本的なアカデミックスキルや実践的な調査研究・企画立案手法を学びます。また、政策、経営、情報の3つの領域から現代社会の様々な課題を理解する視点を涵養します。

02

地域社会の豊かさを構想する

都市や農山漁村、コミュニティや集落、組織や集団を主な調査研究対象として、そこに住み、働く人々の生活や考え方を、観察やインタビューなどを通じて調べます。そして、多様な学科科目から学んだ知識を、調査で得られた情報の分析に応用しながら理解を深め、問題点を明らかにし、解決策を提言します。

03

産業社会のあるべき形を考える

地域における製造業、サービス業、農林水産業の実態、様々な種類や規模の企業や公共団体の経営・運営について、統計的なデータはもちろんのこと、現場の経営者や労働者、そして消費者の体験や視点を踏まえながら学びます。さらに、企業の社会的責任など企業と地域社会の関係についても学びます。

卒業生の声

地域を知り、地域を支える人になる。

文化政策学科 卒業
遠州鉄道株式会社 不動産事業本部 不動産事業部 賃貸仲介営業課

安間 堅信

静岡文化芸術大学では、進学時に専門を決めきれなくても、法律・地域・文化など幅広い分野に触れながら自分の関心を探ることができました。ゼミでの調査や論述、地元志向の仲間と進めた就職活動は、将来の方向性を考える大きな支えになりました。在学中に宅地建物取引士資格に挑戦し、計画的に物事へ取り組む力が身についたことも財産です。現在は地元企業で賃貸仲介の営業として働き、地域の暮らしを支える仕事に責任とやりがいを感じています。



文化政策学科で学ぶ4年間

1年次	2年次	3年次	4年次
	全 学 科 目		
	学 部 科 目		
学科必修 ● リサーチ&プランニング ● 社会学 ● 経済学			
学科科目 ● 政策 ● 経営 ● 情報			
学科必修では、幅広い分野の専門知識を体系的に修得し、実践に活かすための基礎を学びます。	1年次からは「政策」「経営」「情報」の学科基幹科目を総合的に学び、さらに展開科目へと発展させることで応用力を磨きます。	演習（ゼミ）・卒業論文・プロジェクト	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ゼミでは専門知識を深めるとともに、課題の発見・分析・解決方法を学び、社会での実践能力を身につけます。 </div>			
4年間の流れ 社会を見つめる視点と基礎的能力の開拓 幅広い教養科目といくつかの学科基礎科目の履修を通じて、文化政策を学ぶことの意義や、自らの目指す分野について考えます。同時に、情報リテラシー、データ検索、レポート作成、プレゼンテーションなどの基礎能力を身につけます。	多様な専門知識の習得 多様な学部・学科科目の履修を通じて自らの専門領域の確立を目指します。また、企画立案や社会調査士資格に関する科目の履修を通して調査研究能力を高めます。2年次の終わりには卒業後の進路選択も視野に入れつつ、3年次から始まる演習（ゼミ）を決定します。	演習（ゼミ）を通じた専門の深化 いよいよ演習（ゼミ）が始まります。担当教員の指導のもと、少人数で学習に取り組むことにより、専門知識を深化させるとともに、自ら課題を発見・分析・解決していく能力に磨きをかけます。学外のプレゼンテーションイベントにも参加します。	「大学での学び」の集大成 大学生の総仕上げの学年です。これまでの3年間の学習成果の集大成として、ゼミ担当教員のもとで卒業論文の執筆や卒業プロジェクトに取り組みます。こうして培われた幅広い知識と実践力を活かして、就職や大学院進学などの進路を決定します。

開講科目例 ▶▶▶ カリキュラム一覧はP092以降をご覧ください。

地域の課題解決策を立案するプロセス

「リサーチ&プランニング 基礎／応用／実習」

【1～2年次／学科必修】

調査研究や企画立案の手法を体系的に学び、データ分析と課題解決の能力を身につけるための科目群です。「基礎」「応用」「実習」の3科目（必修）で構成されています。「基礎」と「応用」では、データ分析の基礎と社会調査手法を学びます。「実習」では、公共政策や企業経営などに関する課題を設定し、各自が調査研究に基づき課題解決策を立案し、その結果のプレゼンテーションを行います。



多面的な観点から今日の行政を考える

「行政学」【2～4年次／専門科目】

行政学には2つの視点があります。一つは、政治と市民をつなぐ行政の役割に注目する視点です。政治が決めた政策は、行政が実施して初めて効果を発揮します。また、市民の声に耳を傾けるのは行政の役割です。もう一つは役所の「経営学」の視点です。行政をうまく運営するための方法論に注目します。この2つの視点を意識することにより、行政の仕組みを理解するだけでなく、行政のあるべき姿について考えていきます。

戦後日本の経済発展を理解する

「日本経済論」【2～4年次／専門科目】

この講義では、戦後復興、高度成長、バブル経済とその後の低迷といった戦後80年間の日本経済の歩みを追うとともに、経済理論の知見も借りて各時期の経済状況を位置づけます。くわえて「日本の経営」と呼ばれてきた日本独自の企業のあり方についてその形成過程についても講義します。そのうえで現代日本経済の抱える諸課題について、戦後史を踏まえつつ分析・議論できるために必要な視角や知識の習得を目標とします。



社会的課題の解決と組織運営を学ぶ

「公共デザイン戦略」【2～4年次／専門科目】

公的組織や民間企業は、社会的課題の解決や組織目的の達成のために様々な施策や活動を実施しています。こうした施策・活動を企画立案し実施することを本科目では「公共デザイン」と呼び、それらを有効に実施するために必要な理論や方法論、具体的な実践方法を学んだ上で、アクティブラーニングとして戦略的な公共デザイン（プランニング）を行います。これらを外部審査会によって審査・講評いただくことで学びを深めます。

ゼミ（卒業研究演習一覧）

3年次前期から始まるゼミナール（演習）では、共通の関心を持つ学生が集まり、毎週行われる授業のほか、現場研修やフィールドワークが企画されるなど、専門的な少人数の授業が行われます。担当教員が個別のアドバイスをを行い、4年次には卒業論文の執筆に展開していきます。

メディア・消費文化から社会を見る

担当教員：加藤裕治 教授

メディアや消費の文化と日常文化が分かちがたく結びついている現代社会の状況を理解し、その課題を明らかにしていきます。ゼミでは社会学を中心とした方法や研究をもとに、各自の研究テーマに取り組むことになります。

公共政策の分析と評価

担当教員：田中啓 教授

公共政策の対象となる社会や地域の現状を深く理解することを重視します。その上で、社会的課題の解決方法や政策の有効性を分析・評価する技法について学び、自身の関心のあるテーマに応用します。

経済史・産業史から現代を見る

担当教員：四方田雅史 教授

経済学・経営学の基本的な考え方を学ぶとともに、これまで経済・産業・企業がどのような変遷をたどったか、その背景にある経済・経営的要因について分析し、討論します。

社会の中の人間の心に関する研究

担当教員：小杉大輔 教授

まず、心理学の研究法について、グループで体験的に学びます。そして、社会心理学を中心とした最新の研究動向を参考に、各自で研究テーマを決定し、調査を実践していきます。

公共図書館を通して地域を見る

担当教員：林左和子 教授

公共図書館を研究するにはその地域についても知る必要があります。図書館を通して地域にアプローチし、地域のために図書館は何ができるかを考えることを目標としています。

家族と地域福祉に関するライフコース研究

担当教員：小林淑恵 准教授

個人や家族のライフコースと地域福祉の関係を扱います。行政機関との連携活動を通じて地域福祉に関する理解を深め、各自の設定した課題について実証的な研究としてまとめることを目指します。

行動や政策についての経済学的研究

担当教員：鈴木浩孝 教授

消費者や企業にとっての合理的行動をベースに、社会にとって望ましい状態を実現するためのルールや産業政策について、経済学の見地から客観的に考えていきます。

都市・地域計画、まちづくりの研究

担当教員：藤井康幸 教授

都市・地域の計画、まちづくりは間口が広く、幅広いトピックの学習、分析から入り、卒業論文に向けて関心分野を絞り込んでいきます。事例研究とフィールドワークを重視します。

都市・文化をめぐる行政規制や資金をめぐる法を学ぶ

担当教員：塩見佳也 准教授

文化政策を行政規制や資金調達側面から考察し、公民連携をめぐる基本的な法の仕組みやPFIの実施事例を研究します。その際、都市や文化財保護をめぐる法技術を修得し、理論的背景も考慮しながら複眼的に考察していきます。

経営戦略論、組織論を切り口に企業を研究

担当教員：曾根秀一 教授

経営学、とりわけ経営戦略論、組織論、経営史の視点から現代社会において重要な位置を占める大小様々な「企業（会社）」について、理論およびフィールドワークも交えながら、研究を進めていきます。

中山間地域についての社会学的研究

担当教員：船戸修一 教授

ゼミでは、まずフィールドワークを通して中山間地域（農山村）の現状や課題を社会的に把握することを学びます。そして各自で研究テーマを設定し、入念な現地調査をした上で、中山間地域を社会的に分析します。

排除の力学の社会学的研究

担当教員：野島那津子 准教授

マイノリティ（社会的少数者）をめぐる問題を中心に、ある種の人々が、なぜ、どのようにして社会的に排除されている／きたのかを、社会学や近接領域の文献を参照しながら考えていきます。

ゼミ紹介（一例）

ゼミ担当教員の声

社会を解き明かす 歴史の視座。



社会経済史／産業史
四方田 雅史 教授

私たちは過去からの制約に拘束されて生活しています。現在の経済・社会を考察する際も、歴史を見る眼を養うとともに、現在の社会がなぜこうなったのかといった問題意識は重要です。このゼミでは、歴史と社会科学の接点である経済史・経営史・社会史などの文献・史料を輪読し、また歴史の現場に赴くことを予定しています。そうしたことを通じ歴史の知識を増やすだけでなく歴史学や社会科学の手法を会得することも目的とします。

ゼミ生の声

経済史の視座から、 現代を読み解く。



鈴木 りょう
文化政策学科 3年
静岡県立掛川東高等学校 出身

社会の根本を学びたいと考え、世界各国の経済史や日本の労働問題を研究する四方田ゼミを選びました。8か月に及ぶフランス留学では、生活に根付くマルシェ文化に触れ、現在はオーガニック市場の発展背景をテーマに卒論に取り組んでいます。ゼミの核である「輪読」では、膨大な文献から要点を抽出してレジュメにまとめる訓練を重ねてきました。多角的な視点で事象を分析し、簡潔に伝えるこの力は、将来の目標である新聞記者としての確かな土台になると確信しています。

在学生の声



「やってみたい」を軸に、
地域と社会に関わる学びへ

—— 文化政策学科 4年 牛木 みちる
新潟県立津南中等教育学校 出身

高校時代は理系志望で都市計画にも興味がありましたが、進路に迷う中で大学一覧から静岡文化芸術大学を知り、文化政策という分野に惹かれました。社会やまちづくりを多角的に学べる点に魅力を感じ、進学を決めました。

入学後は、中心市街地活性化や地域づくりをテーマに学び、藤井ゼミに所属。学年を越えたゼミ活動を通して、多様な視点に触れながら考える力を養いました。また、浜松市民協働センターでのアルバイトでは、地域の方々と関わりながら広報誌制作やイベント運営に携わり、実践的な経験を積みました。

磐田市豊岡地区でのフィールドワークでは、住民主体の地域活動に参加し、地域課題に向き合う面白さと難しさを実感しています。卒業後は不動産業界に進み、まちや人と関わる仕事に挑戦したいと考えています。SUACは、自分の興味を起点に挑戦を広げられる大学です。

高3のとき	進路に迷う中で大学一覧からSUACを知り、文化政策分野に関心を持つ
1年次	浜松市民協働センターでのアルバイトを開始 地域との関わりが広がる
2年次	学外活動や人との出会いを通じて関心を深める
3年次	藤井ゼミに所属 磐田市豊岡地区でのフィールドワークに参加
4年次	中心市街地活性化をテーマに卒業研究 不動産業界への進路を決定



学びを、誰かの成長に変えていく。

—— 文化政策学科 3年 木戸 ゆめ
愛知県立小坂井高等学校 出身

高校時代、若者議会に参加し、地域の未来について政策提案を行う中で、まちづくりや地方創生に関心を持つようになりました。知識や視野の不足を痛感した経験から、この分野を実践的に学びたいと考え、文化政策学科を志望しました。

大学では、教育・経営・マーケティングを軸に学んでいます。教職課程では中学社会科・高校公民の免許取得を目指し、教育実習では「教育実習生が来たという価値を届けたい」という思いのもと、生徒一人一人と向き合いました。

また、外部コミュニティでの経験をきっかけにマーケティングに関心を持ち、授業や自主的な講座を通じて理論と実践を往復する学びを深めています。学外では探究授業のメンターや展示企画、ミュージカル制作などにも挑戦してきました。

将来は、子どもや家庭に関わる分野で、人が自分らしく生きられる環境を支える仕事に携わりたいと考えています。SUACは、興味を起点に挑戦し、自分の軸を育てることができる大学です。

高3のとき	若者議会で政策提案を経験し、地方創生を学ぶためSUACへ
1年次	文化政策の基礎を学び、関心領域を広げる
2年次	学外活動を起点に、マーケティングへの関心が強まる
3年次	教職課程・経営/マーケ・探究メンター等で、理論と実践を往復

文化政策学科の「知」と「実践」

中山間地域の問題解決や集落の維持を考える

フィールドワークを通じた地域づくりの実践

昨今、人口減少や高齢化によって中山間地域の集落が消滅するような主張が見られます。しかし、集落の人口が減少しても、住民の高齢化が進んでも、そこから転出した子どもやそこに地縁を有する孫がその集落に通い、実家の生活を支援したり、集落の行事に参加したりしている限り、そう簡単に集落は消滅しません。船戸ゼミでは、浜松の中山間地域における集落を訪ね歩き、現地で米作りや蕎麦作りなどの集落の共同作業に参加し、集落外に居住する子ども・孫と実家・集落との関係について調査研究しています。そして、その結果に基づく地域づくりの方策を現地で開催する調査報告会で発表し、地域住民の方々と共に地域の問題解決や集落の維持を図る実践活動に取り組んでいます。



経営学の視点から地域経済や社会問題を考える

日本学生経済ゼミナール大会 (通称: インター大会)、 アグリカルチャーコンペティション (通称: アグコン)

曾根ゼミでは、「日本学生経済ゼミナール大会」や「アグリカルチャーコンペティション」等の全国大会に出場し、日頃の研究成果の報告、ゼミ内外の学生とのディスカッションを通じて交流を深めてきました。学生の興味関心に沿ってテーマを決め、日本学生経済ゼミナール大会では、2016年に経営分野で優勝および全国4位、2017年は経営および地域経済分野で優勝、2018年には3チームすべてが各分野で準優勝(優秀賞)を果たしました。また、「アグリカルチャーコンペティション」にも出場し、2022年には学術研究部門でブロック優勝するなどSUAC生が躍動しています。結果だけでなく発表に至るまでのフィールド調査、理論研究、資料作成などの過程を重視し、これまでの努力と貴重な経験を今後活かしてほしいと思います。



卒業生の主な進路 (抜粋)

公務

国税専門官	掛川市役所
静岡地方検察庁	蒲郡市役所
静岡労働局	菊川市役所
愛知県庁	多治見市役所
静岡県庁	豊川市役所
福島県庁	豊橋市役所
三重県庁	沼津市役所
山梨県庁	袋井市役所
警視庁	富士市役所
静岡県警察本部	三島市役所
静岡市役所	焼津市役所
名古屋市役所	渋谷区役所
浜松市役所	杉並区役所
安城市役所	静岡県教育委員会(教員)
伊東市役所	浜松市教育委員会(教員)
磐田市役所	

製造業

(株)河合楽器製作所	矢崎総業(株)
スズキ(株)	(株)ヤタロー
はごろもフーズ(株)	ヤマハ発動機(株)
浜松ホトニクス(株)	ヤマハモーターソリューション(株)
本多電子(株)	ローランド(株)

金融・保険業

遠州信用金庫	住友生命保険(相)
岡崎信用金庫	静清信用金庫
蒲郡信用金庫	損害保険ジャパン(株)
(株)静岡銀行	第一生命保険(株)
静岡県経済農業協同組合連合会	東京海上日動火災保険(株)
静岡県労働金庫	とびあ浜農農業協同組合
静岡東海証券(株)	豊橋信用金庫
しずおか焼津信用金庫	日本銀行静岡支店
静岡ティエム証券(株)	日本生命保険(相)
静銀ビジネスクリエイト(株)	浜松磐田信用金庫
島田掛川信用金庫	三ヶ日町農業協同組合
(株)清水銀行	三井住友海上火災保険(株)

サービス業 (教育・広告・ホテルなど)・医療福祉

(株)内田洋行ITソリューションズ	(株)中日新聞社
(株)SBSプロモーション	(福)天竜厚生会
(株)エヌ・ティ・ティ・データ	(株)TOKAIホールディングス
国立病院機構東海北陸グループ	(株)日テレ アックスオン
サーラエナジー(株)	日本放送協会
(株)しずおかオンライン	浜松商工会議所
(株)静岡新聞社・静岡放送(株)	(株)船井総合研究所
(福)聖隷福祉事業団	(株)マイナビ

卸売・小売業

(株)杏林堂薬局	マックスバリュ東海(株)
鈴与商事(株)	(株)良品計画
(株)長坂養蜂場	

運輸・旅行業

(株)天野回漕店	(株)ハマキョウレックス
遠州鉄道(株)	(株)フジドリームエアラインズ
(株)ジェイアール東海ソアーズ	富士山静岡空港(株)
静岡鉄道(株)	(株)星野リゾート・アセットマネジメント
名古屋鉄道(株)	

建設業

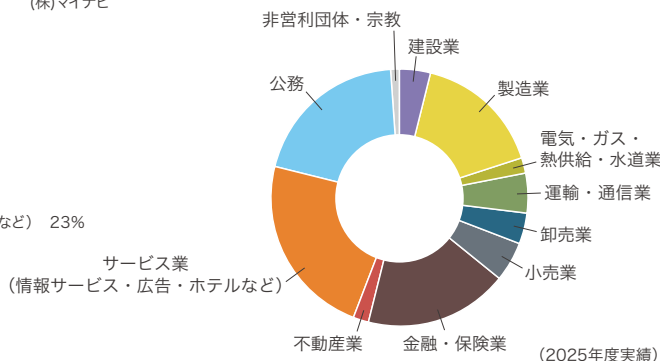
大和ハウス工業(株)	積水ハウス(株)
------------	----------

大学院進学

静岡文化芸術大学	名古屋市立大学
筑波大学	福岡教育大学

就職データ

建設業 4%	金融・保険業 18%
製造業 16%	不動産業 2%
電気・ガス・熱供給・水道業 2%	サービス業 (情報サービス・広告・ホテルなど) 23%
運輸・通信業 5%	公務 20%
卸売業 4%	非営利団体・宗教 1%
小売業 5%	





芸術表現B（SPAC-静岡県舞台芸術センターでの授業）

文化政策学部

定員55名

芸術文化学科

今日の社会における芸術の可能性を求めて。

複数形のArtsで表記される今日の芸術。音楽、演劇、絵画、映像など単体で表現することもあれば、複数のジャンルがコラボレートして、新しい芸術ジャンルを生み出すこともあります。芸術が社会でその力を発揮するためには、芸術が市民に受け入れられなくてはなりません。芸術を生み出す芸術家のほかにも、芸術を学問的に研究する人、美術館や劇場など芸術組織の運営に携わる人や、より広い視点から政治や経済の仕組みを考える人などが必要となります。芸術文化学科では、多角的な視野に立って芸術と芸術を支える社会システムの両面を理解し、多様な分野で芸術の持つ力を社会に活かすことのできる人材を養成します。

取得可能な資格

▶▶ 詳しくはP079をご覧ください。

図書館司書

博物館学芸員

社会調査士



SUAC_033

静岡市清水文化会館マリナートでの実習



上原美術館での実習

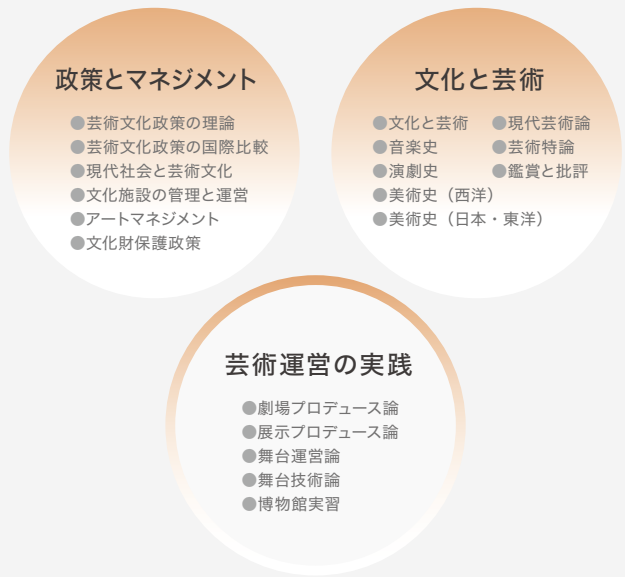


演劇文化論（文楽人形遣いの演習）

人文科学と社会科学を多角的に学ぶ、 充実したAAAE※カリキュラム

芸術文化学科は芸術や文化について多角的に学ぶことができる学科です。芸術を主専攻としながらも政治・経済・経営・法律等についても十分な理解を持つとする学生、芸術について深い知識を持ちつつ社会科学の知識を駆使できる専門家や官民の政策プランナー等を志望する学生などを求めています。芸術文化学科のプログラムは芸術運営教育者協議会（Association of Arts Administration Educators、AAAE）に正会員として加盟し、AAAEが定期的に策定するカリキュラムスタンダードを参照しながら、芸術文化の分野におけるグローバルな人材育成を目指しています。

※AAAE（芸術運営教育者協議会）は、高等教育機関でアートマネジメント教育に関わる関係者のネットワーク。アメリカにベースをおく非営利組織で、1979年に創設されました。大学等のアートマネジメント教育プログラムのカリキュラムスタンダードを定期的に策定・更新するなど、教育の質を高めるための先進的な取り組みをしています。



- 芸術文化学科での学びの基礎は、高等学校の「地歴・公民」です。
- 「地理」で学ぶ地域文化と「歴史」で学ぶ文化史を深めるのが、美術史、音楽史、演劇史等の科目です。
- 「倫理」で学ぶ思想や哲学が美学につながり、「公共」「政治・経済」の学びが「政策とマネジメント」の科目群の基礎となります。

芸術文化学科の特徴

01

芸術・文化を理解する

人文科学の視点から多様な芸術、文化のありようについて学び、その諸相を探究します。歴史的認識の醸成と、最新の知識の修得によって、豊かな芸術、文化の内容を理解し、それらが現代に生きる私たちの感覚、意識をどのように形づくっているかを考えます。

02

芸術を社会科学の視点から学ぶ

人間の芸術活動を理解するためには、芸術作品や芸術家について理解するだけでは不十分です。芸術文化学科では、法学や経済学等を基礎として、様々な制度・政策や国・自治体・企業等による支援、そして芸術組織等の経営について学びます。

03

2つの側面から多角的に学ぶ

芸術文化学科では「文化と芸術」「政策とマネジメント」というカリキュラムにおける2つの柱を設け、芸術や文化について人文科学と社会科学の両面から学びます。加えて、実践にも対応できる科目も開講し、理論と実践とのバランスのとれたカリキュラムを用意しています。

卒業生の声

芸術を通じて、人と場をつなぐ。 学びが社会で息づくアートマネジメント。

——— 芸術文化学科 卒業 北原 佳歩
公益財団法人豊田市文化振興財団

小学生の頃に参加した和楽器合奏団で、「音楽は人と場で育つ」と実感しました。その原体験から、芸術を通して人を育てる場づくりを志し、アートマネジメントを学べるSUACへ進学しました。ゼミでは、文化政策を論理的・批判的に考える力を養い、現地視察や地域連携演習を通して、芸術が社会に根づく姿を学びました。現在は豊田市文化振興財団で能楽公演やジュニアオーケストラの企画運営を担当し、「第三の学びの場」づくりに取り組んでいます。



芸術文化学科で学ぶ4年間



4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
新しい視点の開拓 ◎芸術文化を多様な側面から捉え、アカデミックな見方の可能性を体感する。 ◎1年次から多くの専門科目を開講。 ◎興味のある分野から、自分なりの新しい視点を開拓する、大学生としての学習をスタート。	芸術を多角的に捉える ◎諸芸術に関する基礎理論の充実。 ◎芸術を支える様々な条件や環境を、人文科学的な観点からだけでなく、社会科学的な視点からも捉える力を養う。 ◎「芸術文化基礎」で、自分がこれから関心を深めていく領域と濃密に向き合い、確信を持ってアプローチする力を養う。	知識と実践力を身につける ◎各自ゼミに所属し、自分が深めようとする研究領域の手がかりを見つけ、身につけた基礎知識と研究方法を活用し、独自の課題に取り組む。 ◎「芸術特論」などで、より専門的な知識や思考法を学びつつ、「芸術運営の実践」などの科目群を積極的に活用しながら、知識と実践を結びつける。	テーマを深化させる ◎卒業論文のテーマを決め、論文の完成を目指す。 ◎ゼミを通して培ってきた専門領域の知識を深め、これまでに学んだことを総動員して、大学生活の集大成とする。

開講科目例

▶▶ カリキュラム一覧はP092以降をご覧ください。

音楽文化の歴史を振り返り、未来を創造する

「音楽史Ⅰ・Ⅱ」【1～4年次／専門科目】

私たちは、当たり前のようにピアノやギターの音楽を楽しんでいます。それはどのような道筋をたどってきたのでしょうか。音楽史Ⅰ・Ⅱは、これからの音楽文化を構想・創造するために、西洋や日本における過去の音楽を丁寧に振り返り、再考することを目的としています。



研究対象としての美術作品の見方を実地に学ぶ

「鑑賞と批評Ⅰ・Ⅱ」【3～4年次／専門科目】

実際に様々なジャンルの展覧会等に行き作品を観察することで、作品についての基本的知識を学ぶとともに、どのように作品を見るか実体験を通して修得します。その作品観察をもとに思考し記述する力を身につけるため、見学後は毎回テーマを設定しレポートを作成します。



アートを運営する組織を取り巻く環境を学ぶ

「アートマネジメントA～C」【2～4年次／専門科目】

公共性を持つ芸術組織等のマネジメントであるアートマネジメントの各論を学びます。芸術組織の特徴、および日本のそれらが持つ課題を踏まえて、課題解決のために必要となる、より専門的な領域についての理論的、実践的な知識を身につけます。



実地や実践で学ぶ学芸員養成課程の総仕上げ

「博物館実習」【3～4年次／資格科目】

1年生から養成課程で学んできた知識や理論をもとに、博物館に係る実務に即しながら学びます。学芸員の職務は多岐にわたりますが、その中でも資料の取り扱い方や、資料の記録・整理・展示を中心に、博物館運営に関わる実践的な能力を養います。



ゼミ（卒業研究演習一覧）

3年次前期から始まるゼミナール（演習）では、共通の関心を持つ学生が集まり、毎週行われる授業のほか、現場研修やフィールドワークが企画されるなど、専門的な少人数の授業が行われます。担当教員が個別のアドバイスをを行い、4年次には卒業論文の執筆に展開していきます。

現地調査を通じて音楽と社会に向き合う

担当教員：梅田英春 教授

世界中の音楽は社会と深く関わっています。ゼミ生は民族音楽学の基礎を学んだ後、国内外で音楽に関するフィールドワークを一人で行い、その成果をもとに音楽と社会のつながりについて考えます。

文化・芸術活動を担う人々や団体を見る

担当教員：高島知佐子 教授

文化・芸術活動を経営の視点から分析します。フィールドワークを通して、現場の人々の工夫や苦勞を学術的に紐解きます。近現代社会に関する文献を多読し、理論と現場から思考力・分析力を身につけます。

実演芸術創造環境と人材育成に関する研究

担当教員：佐藤良子 准教授

地域社会に息づく音楽や舞台芸術の姿を見据えながら、それを取り巻く環境についてフィールドワークを交えた質的調査によって実態を把握し、政策や人材育成のあり方を考察します。

過去の音楽文化から「現代社会」を考える

担当教員：奥中康人 教授

地方創生の掛け声のもとで「B級グルメ」や「ゆるキャラ」のように音楽を利用するのはもうウンザリ。身近な音楽に目を配り、文化や芸術の枠組み自体を再考してゆくことを目的としています。

現代芸術・視覚文化への理論的アプローチ

担当教員：谷川真美 教授

多様な形態をみせる現代の芸術や、日常生活をとりまく様々な視覚文化について、芸術の歴史と思想を手がかりとしながらその本質について考え、私たちの生きる現代とはどういうものかを考えます。

芸術文化を通して皆が憩える広場を創る

担当教員：南田明美 准教授

芸術文化を通して社会的弱者が声をあげやすい場を創るには、どのような要素が必要なのか。そもそも芸術文化の力とは何なのか。質的調査を通して、それらの問いを追究していきます。

残された美術作品に向き合う

担当教員：片桐弥生 教授

日本美術史の基本的な研究方法を、実際に作品をじっくり見て、研究論文などを読むことで身につけます。残された美術作品が制作当時、何を意図して作られ享受されていたのかを明らかにすることを目指します。

演劇・劇場の学問は現場から生まれる

担当教員：永井聡子 教授

演出理念、空間、運営のメカニズムを分析する力を養います。帝国劇場、築地小劇場、東京宝塚劇場が海外の演劇史と作品を革命的に変えたように、観客が仕上げる演劇の本質を理論と実践から探究します。

西洋演劇の創造と国際演劇交流の研究

担当教員：田ノ口誠悟 講師

台詞劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど西洋出自の舞台芸術の分析手法を学びます。また、西洋演劇の日本における受容、海外戯曲翻訳・翻案といった越境的な演劇文化の交流についても考察します。

西洋の音楽文化・音楽と社会の関係を探る

担当教員：上山典子 教授

西洋を中心とする音楽文化や、音楽と社会、音楽と政治、音楽と戦争などをテーマに、基本文献から最新の論文までを読み、議論を重ねることで、知識と視野を広げていきます。

劇作品を内（内容）と外（背景）から考える

担当教員：稲山玲 准教授

戦後日本の劇作家たちが生み出した作品の中から具体的な作品を取り上げ、そのテキスト、演出を分析します。加えて、上演当時の社会背景、制作環境を調査することで総合的に作品を考察します。

西洋の美術作品から美術と社会の関係を考える

担当教員：藪田淳子 講師

西洋の美術作品が生み出された社会背景や政治経済、各地域の文化交流に留意しながら、西洋美術史の基礎を学びます。先行研究を整理して作品分析を行い、美術と社会の関わりについて考えます。

ゼミ紹介（一例）

ゼミ担当教員の声

舞台から 時代を解釈する。



演劇学／現代日本演劇
稲山玲 准教授

演劇は常に「今・ここ」に響くことを意識する芸術であるために、社会を映す鏡になり得ます。本ゼミでは上演映像や戯曲の分析、社会背景等の調査によって、作品に込められた作り手の意図や、時代との呼应性を探ります。将来、演劇公演の制作者・企画者を目指すのであれば作品や時代を解釈する技術は不可欠ですし、別の進路を選択した場合でも芸術を通して社会を見る目を持つことは生きる上での大きな財産になるはずです。

ゼミ生の声

演劇と社会の繋がりを読み解き、 芸術を支える専門性を磨く。



小川 真理花
芸術文化学科 3年
岐阜県立長良高等学校 出身

元々演劇が好きで、作品と社会の関係性を深く学びたいと考え、戦後演劇と社会状況の関わりを研究する稲山ゼミを選びました。現在は、在日コリアンの劇作家・鄭義信さんの作品『焼肉ドラゴン』を中心に、戯曲の読解を通じて当時の政治状況や表現の意図を推察する研究に取り組んでいます。単なる鑑賞に留まらず、作品の裏側にある背景を捉える力を養うことで、演劇を多角的に支えるための基礎を築いています。

在学生の声



音の奥にある“社会”を知ると、
世界の聴こえ方が変わっていく。

—— 芸術文化学科 3年 柴田 紬
千葉県立成田国際高等学校 出身

音楽が好きだった私が芸術文化学科を志したのは、芸術が社会と深く結びついていることに気づいたからです。コロナ禍における世界情勢の変化を目の当たりにし、「作品そのものだけでなく、その背景まで学びたい」と考えるようになりました。

入学後、1年次に受講したインドネシア・バリ島の音楽「ガムラン」の実技授業が大きな転機となりました。西洋音楽とは異なる音色やリズムに衝撃を受け、学外の浜松ガムラングループにも参加。演奏を重ねる中で、音楽が地域の伝統や文化観光政策と深く関わっていることを実感しました。

現在は民族音楽のゼミで、現代音楽がガムランに与えた影響と、その受容の変化を文化政策の視点から研究しています。実技と調査を往復しながら学べる環境は、この学科ならではの魅力です。浜松には祭りや伝統芸能が身近にあり、大学の外にも学びの場が広がっています。多様な人や文化に触れるたび、音楽の見え方が更新されていく。そんな学びが、ここにはあります。

高3のとき	音楽と社会の関係に興味を持ち、芸術文化を学べるSUACを志望
1年次	ガムランと出会い、音楽を“社会の鏡”として捉える視点を得る
2年次	浜松の地域文化や行事に触れながら、学びの幅を広げる
3年次	民族音楽のゼミで議論を重ね、ガムランと現代社会の関係を研究



演劇を軸に、
文化を読み解いていく

—— 芸術文化学科 4年 田中 亜実
三重県立川越高等学校 出身

高校生の頃から日本の文化や芸術に漠然と興味がありましたが、当時は「これ」と言える分野を決め切れませんでした。SUACの芸術文化学科を知り、美術・音楽・演劇に加えて、文化芸術を社会につなぐアートマネジメントまで幅広く学べる点に魅力を感じて進学しました。

入学後に印象的だったのは、1年次の地域連携演習です。佐久間地区の神事で用いられていた面を展示する企画で、私は広報を担当し、ソーシャルメディアで「知らない人にどう伝えるか」を考えながら発信を工夫しました。来場者が思い出を語ってくださる姿に触れ、文化を伝える仕事の手応えと責任を実感しました。

現在は演劇に関心を深め、劇作家・前川知大作品における「無」の意義をテーマに、戯曲を文字から読み解き、背景にある社会や価値観まで含めて分析しています。ゼミでは議論を重ね、解釈の根拠を言葉で組み立てる力が鍛えられました。卒業後はメディア・イベント分野で、企画や広報に携わりたいです。

高3のとき	文化や芸術に漠然と興味があり、進路相談をきっかけに静岡文化芸術大学を知り受験。
1年次	地域連携演習で展示企画に参加し、広報発信の難しさを手応えを実感。
2年次	演劇の授業で“ある劇団”の作品に出会い、演劇研究へ方向転換。
3年次	戯曲研究を深め、作品の背景（社会・文化）から読み解く面白さを掴む。
4年次	現代戯曲に通底する「無」をテーマに卒業論文を執筆。卒業後はメディア・イベント分野へ。

芸術文化学科の「知」と「実践」

舞台芸術プロデュースの実践から劇場を考察・体感する

劇場プロデュース論

この授業では、芸術・文化を創造する「劇場」の歴史やメカニズムをpushさえます。劇場史やメカニズムの進化が、上演される舞台芸術作品のプロデュース方法に影響を与え、演劇、ミュージカル、ダンス作品の演出理念は劇的世界を革命的に変えてきました。演劇人や劇場人の芸術理念の理解を深めながら、劇場空間、劇場運営にどのように反映されているのか。考える力、実行力を養うため、基礎から応用まで、社会での即戦力を養うプログラムを組んでいます。教員が設定するテーマ（企画・プロデュース）の下、専門的な環境の中で、実際にチームワークとしての舞台制作の実践や劇場見学、劇場運営実習を行いながら、劇場から発信することの意味を考察・体感していきます。



アートセンターで学び、実践する

地域連携演習（鳴江アートセンター連携事業）

元警察署をリノベーションして開館した鳴江アートセンター。旧銀行協会の建物を活かし映画関連事業を行う木下恵介記念館。2つの文化施設で芸術家と市民に接しながら、美術、音楽、映像、演劇など、さまざまなジャンルの事業を学ぶ地域連携演習のプログラムです。具体的には、アートコーディネーターの仕事に触れながら、子供から高齢者まで多様な世代を対象としたワークショップ、アーティスト・イン・レジデンス事業で滞在する芸術家と市民の交流事業や展覧会などに運営者として参加します。この過程を通して、事業を作ることの楽しさと難しさ、地域の文化施設の役割を考えていきます。



卒業生の主な進路（抜粋）

公務

静岡県庁(行政・警察行政)	浜松市役所
長野県庁	豊橋市役所
静岡市役所	田原市役所

製造業

スズキ(株)	チャコット(株)
(株)石舟庵	(株)アンソー
(有)春華堂	浜名湖電装(株)

金融・保険業

遠州中央農業協同組合	第一生命保険(株)
(株)静岡銀行	日本生命保険(相)
(株)常陽銀行	浜松磐田信用金庫

卸売・小売業

天方産業(株)	資生堂販売(株)
ネットヨタ静浜(株)	(株)ハンズ
(株)安心堂	ヤマハミュージック東海(株)
額縁のタカハシ(株)	

ガス・運輸・旅行業

遠州鉄道(株)	(株)TOKAIホールディングス
近畿日本鉄道(株)	サーラエナジー(株)
中部国際空港旅客サービス(株)	(株)ラグーナテンボス

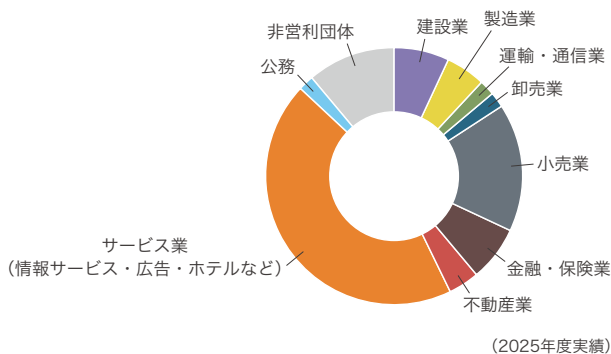
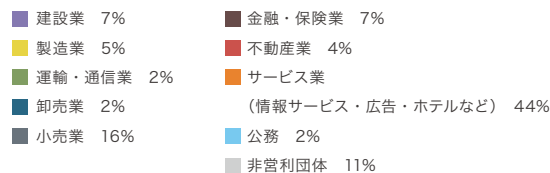
サービス業・その他

(大)静岡大学(職員)	(株)スペース
(大)東海国立大学機構(司書)	日本郵政(株)
テレビ静岡システムクリエイティブ(株)	LEGOLAND Japan(同)
イオンエンターテイメント(株)	

大学院進学

静岡大学	國學院大學
静岡文化芸術大学	立命館大学
成城大学	京都工芸繊維大学
東京大学	

就職データ



芸術文化に係る仕事

文化財団・民間劇場、指定管理者（企業）

(株)エスピーエスたくみ	(公財)静岡県文化財団
(株)共立ファシリティ・マネージメント	(公財)三重県文化振興事業団
(株)ケイミックスパブリックビジネス	(公財)静岡市文化振興財団
サントリーパブリシティサービス(株)	(公財)浜松市文化振興財団
(株)シグマコミュニケーションズ	(公財)横浜市芸術文化振興財団
(株)博多座	(公財)名古屋市文化振興事業団
(株)ヤタロー	(公財)しまね文化振興財団
(株)パシフィックアートセンター	(公財)豊橋文化振興財団
(独)日本芸術文化振興会	(公財)豊田市文化振興財団

(一財)稲沢市文化振興財団

実演団体、コンテンツ制作（舞台芸術・映像など）

(株)アリス館	人形劇団むすび座
(株)テレビ山梨	(株)ピーエーシー
(株)SBSプロモーション	浜松ケーブルテレビ(株)
(株)キョードー東京	(株)若尾綜合舞台
(株)静岡新聞社・静岡放送(株)	(株)WOWOWプラス
(株)宝塚舞台	(株)USEN-NEXT HOLDINGS
(株)ニッポン放送プロジェクト	

(一財)ちりゅう芸術創造協会

学芸員資格関連

磐田市香りの博物館(学芸員)
小泉八雲記念館(学芸員)
切手の博物館
(公財)日動美術財団(学芸員)
和光市役所(学芸員)
日本運通(株)関東美術品支店
(株)丹青社
(株)墨仁堂

文明観光学コース

世界の人々が魅力的な出会いを求めて旅する観光は、地球規模の持続可能な社会の実現に寄与するといわれています。

日本でも、地域の文化を新たに輝かせ、豊かな生活を生み出しうる大切な産業と期待されます。

いま求められるのは、文明という広い視野から観光の持つ創造力を捉える学問領域です。

本コースは、文明史の観点から観光を捉え、持続しうる観光産業と多様な芸術・文化を融合できる人の育成を目指します。

目指す人物像

新しい観光資源の発掘

名所・旧跡や食・温泉などの観光資源に加え、文化遺産や産業遺産、芸術文化活動など、新しい観光資源の発掘を担える人材を育成します。

観光分野における地域活性化

浜松を中心として三遠南信地域で行うフィールドワークの体験を活かし、地場産業や伝統文化を踏まえて、観光分野における地域活性化を推進できる人材を育成します。

グローバルな視野による貢献

実践的な外国語能力と文化・芸術分野の実務能力を備え、グローバルな視野から地域の観光・文化に貢献できる人材を育成します。

開講科目例

「文明と観光」

担当教員：宮崎千穂 准教授
開講年次：1年次前期

文明観光学コースの基礎となる必修科目です。まず「文明」と「観光」の概念が多様であることを示して、その上で、現代の世界や日本の諸地域に望まれる「文明」を考えつつ、それにしかかわる「観光」という現象について考えます。

「観光と地理」

担当教員：青木 健 教授
開講年次：2年次後期

自然環境と社会の関係を解く地理学の視点から、観光について考えます。特に、異なる文化圏の人々が交流し交易した日本の東海道、ユーラシアのシルクロードなどの街道を取り上げ、観光資源としての魅力を探ります。

「観光と社会」

担当教員：宮崎千穂 准教授
開講年次：1年次後期

古より今日に至るまで、人類は移動をし、生活を営み、文明を築いてきました。観光現象は、人類社会を映す鏡でもあります。本科目では、さまざまな旅や観光の現象を通して、人類社会のあり方について考えます。

コースの仕組み

本コースは、文化政策学部の3学科すべての学生が履修することができます。

◎1年次のガイダンスで、カリキュラム（必修・選択科目、ゼミ選択など）についての説明を受け、該当する科目を1～2年次の間に履修します。

◎2年次に、ゼミ説明会や面談などを経た上で、文明観光学ゼミを選択します（一定の定員があります）。

◎3年次から、文明観光学コース専任教員によるゼミに所属し、卒業研究の指導を受けます。

◎文明観光学コースを履修した学生には、文化政策学部各学科の卒業証書に加え、文明観光学コースの修了証を授与します。



オプション・スタディーズ

所属学科の専門領域に加えて、さらに学びを広げる学科横断型プログラム。

テーマに沿ってまとめられた他学科の体系的な科目群を履修し、物事を総合的・学際的に捉える視点を養います。

所属する学科での専門的な学び

+

他学科科目を中心に構成されるプログラム

文化政策学科

芸術文化学科

対象プログラム

多文化共生プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 日本と世界の社会や文化に関心があり、多様な価値観を身につけたい
- グローバルな視野を持ち、地域や世界で活躍したい
- 多文化共生に関連する研究に取り組みたい

科目例/多文化とエスニシティ、国際協力論、国際労働力移動論、フェアトレード論 など

外国語強化プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 外国語能力をさらに強化し、グローバル社会で活躍したい
- 多様な価値観に基づくコミュニケーション能力を身につけ、世界の人々と交流したい
- 外国語を用いて研究に取り組みたい

対象となる言語/英語、中国語、韓国語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語

国際文化学科

芸術文化学科

対象プログラム

公共政策プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 国や地方自治体の政策について体系的な知識を身につけたい
- 公務員の業務についての学際的な知識を身につけたい
- 政治・行政・法律などの視点から、海外の経済や企業経営、非営利組織の運営等について研究したい

科目例/経済学、行政学、地域福祉論、マスコミュニケーション論、公共デザイン戦略 など

経済・経営プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 民間企業の経営や非営利組織の運営に必要な知識を体系的に身につけたい
- 経済学・経営学などの視点から、海外の経済や企業経営、非営利組織の運営等について研究したい

科目例/NPO・NGO論、マーケティング論、グローバルビジネス論、社会統計分析 など

国際文化学科

文化政策学科

対象プログラム

芸術学プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 芸術を教養として幅広く身につけたい
- 芸術文化（美術、音楽、演劇等）に関連する研究に取り組みたい

科目例/音楽史、演劇史、美術史、現代芸術論、イタリア文化史 など

※所定の単位数を取得した学生には、文化政策学部各学科の卒業証書に加え、オプション・スタディーズの修了証が発行されます。

教員紹介

国際文化学科

横田 秀樹 YOKOTA Hideki



教授 / 学科長
第二言語習得 /
心理言語学 / 外国語教育
第二言語 (外国語) 習得のメカニズムを、理論言語学に基づいて調べています。また、外国語の学習方法についても研究しています。

青木 健 AOKI Takeshi



教授
宗教学 /
西アジア文明
古代オリエントからイスラム期にかけての西アジアの宗教を研究しています。特に、古代ペルシアのゾロアスター教が専門です。

林 在圭 LIM Jaegyui



教授
韓国文化 / 韓国語
専門は韓国文化・韓国語で、特に日本や韓国の村落社会を対象とした伝統的・基層的な生活文化を研究しています。

Edward Pearse SARICH



教授
英語教育
学生が使える英語を修得できるような支援体制を整えています。学生自らの「やりたい」という気持ちを大切にしています。

岡田 建志 OKADA Takeshi



教授
東南アジア史
専門はベトナム史です。20世紀初めのベトナムの民族運動を中心に研究しています。授業では、広く東南アジアの歴史や社会を考察します。

倉本 哲男 KURAMOTO Tetsuo



教授
教職実践学 /
アメリカ教育学
アメリカ等の教育学の知見を我が国に「輸入する」研究・教育活動と我が国の教職実践を「輸出する」活動を行っています。

佐野 由紀子 SANO Yukiko



教授
日本語学
現代日本語、特に文法の研究をしています。日本語教員養成課程に関わる授業を中心に担当しています。

Jack RYAN



教授
英語教育 /
英語文学
英語文学を研究し、文学を通して英語への好奇心を引き出し、コミュニケーション能力の向上を支援します。

高木 邦子 TAKAGI Kuniko



教授
教育心理学 /
発達心理学
青年期の有能な特徴と形成要因についての研究と、青年期の対人関係や職業選択要因についての研究をしています。

永井 敦子 NAGAI Atsuko



教授
西洋史
近世フランスの都市文化を研究し、講義では西洋近代文明にも触れます。ゼミでは外国語文献を使って西洋の歴史と文化を考察します。

西田 かほる NISHIDA Kaoru



教授
日本史 / 文化史
日本近世史、特に宗教史・文化史が専門です。ゼミでは近世以降の史料読解を中心に、身近な歴史・文化・地域を考察していきます。

二本松 康宏 NIHONMATSU Yasuhiro



教授
日本文学 / 伝承文学
物語や伝説・信仰などが生まれる環境や風土の研究をしています。こだわりたいのはフィールドワークによる感動と実証です。

水谷 悟 MIZUTANI Satoru



教授
日本近現代史
専門は日本近現代史です。明治・大正・昭和期の雑誌による思想運動を、政治・メディア・地域等に注目して研究しています。

俞 嶸 YU Rong



教授
中国経済 /
開発経済学
中国の格差問題、財政制度についての研究をしています。特に、経済成長と格差の関係に関心があります。

石坂 貴美 ISHIZAKA Takami



准教授
国際開発 /
地域研究 (アジア)
途上国のセーフティ・ネット構築に向けて研究・実践に取り組んでいます。国内外の社会課題解決に向けて一緒に探究をしましょう。

内尾 太一 UCHIO Taichi



准教授
文化人類学
この学問の魅力はなんといってもフィールドワーク。他者との出会いを通じて、自分の常識や価値観をアップデートしてみませんか。

崔 学松 CUI Xuesong



准教授
中国文化社会 / 東アジア
国際関係 / 言語社会学
東アジア国際関係が円滑でない今日、多民族社会の中国など周辺地域と共に運んで生きる知恵について一緒に考えていきたいです。

佐伯 康考 SAEKI Yasutaka



准教授
国際的な人の移動
研究 / 多文化共生
異質な存在を排除するのではなく、異なるものが混ざり合う中で生じる摩擦を原動力に、新しい価値を共創する方策を考えましょう。

武田 淳 TAKEDA Jun



准教授
開発人類学 /
環境と開発
フェアトレードや観光を切り口に、開発途上国の貧困や環境問題を研究しています。現場の視点から「地域の発展」を考えましょう。

徳増 克己 TOKUMASU Katsumi



准教授
中東北部と旧ソ連の
境界地域史
主に「アゼルバイジャン人」等の民族形成の過程を研究しています。ゼミでは内外の文献を通して近代以降の中東について考えます。

中田 健太郎 NAKATA Kentaro



准教授
フランス文学 /
視覚文化論
フランスで始まったシュルレアリスム運動について、またシュルレアリスム以降の視覚文化について研究をしています。

西脇 靖洋 NISHIWAKI Yasuhiro



准教授
国際関係論
主としてEU (欧州連合) を事例とした地域統合や、ポルトガルを中心とした南欧諸国の政治外交について研究しています。

萩原 里香 HAGIHARA Rika



准教授
イタリア / オペラ /
イタリア語
16~17世紀イタリアの音楽劇を対象に、史料や作品に基づき舞台芸術と社会や人々との関わりを歴史的に研究しています。

福永 達士 FUKUNAGA Tatsushi



准教授
日本語教育
専門は日本語教育です。多文化社会の町である浜松、そして国際社会に貢献できる日本語教育者の育成に取り組んでいます。

宮崎 千穂 MIYAZAKI Chihou



准教授
旅と病の歴史 /
日本とシルクロード
主にユーラシアにおける医・薬・食の歴史を研究しています。授業では文化の保存・継承をめぐる問題についても考えていきます。

文化政策学科

林 左和子 HAYASHI Sawako



教授 / 学科長
図書館情報学

公共図書館はなぜ無料なのか、を考えるために、外国の図書館史や児童サービス、特にユニバーサルデザイン絵本を研究テーマとしています。

小杉 大輔 KOSUGI Daisuke



教授
心理学

人間が社会の中で、何をどのように感じ、考え、行動し、発達するのかについて、心理学的に研究しています。

曽根 秀一 SONE Hidekazu



教授
経営学 / 経営戦略論 / 経営組織論

経営戦略・組織論、経年的視点から、特に老舗企業や地場産業の存続と衰退について、国際比較も含め研究しています。

藤井 康幸 FUJII Yasuyuki



教授
都市・地域計画 / まちづくり / 創造都市

都市・地域の計画や経営、まちづくりについて、個性的で魅力ある都市、持続可能な都市を意識しつつ、研究しています。

森山 一郎 MORIYAMA Ichiro



特任教授
経営学 / マーケティング論

製造業や小売業のマーケティング戦略について研究しています。これからの市場創造のあり方を共に学んでいきましょう。

小林 淑恵 KOBAYASHI Yoshie



准教授
女性のライフコース / 政策 / 地域福祉

家族形成や就業といったライフコースと政策や福祉制度との関係について研究しています。

野島 那津子 NOJIMA Natsuko



准教授
医療社会学 / 福祉社会学

制度に包摂されない病者・障害者の問題や、ある種の人々の排除を促進させる社会的振分けのプロセスについて研究しています。

加藤 裕治 KATO Yuji



教授 / 文化政策学部長
文化社会学 / メディア論

メディアを通して形成される文化が社会に与える影響について、マスメディアの歴史的研究の立場から考察しています。

鈴木 浩孝 SUZUKI Hirotaka



教授
応用ミクロ経済学 / 産業組織論

複占・寡占市場での企業間の競争や取引について、その仕組みを数理的に解明する研究をしています。

田中 啓 TANAKA Hiraki



教授
行政学 / 政策評価・行政評価

行政機関が有効に機能するための仕組みのあり方や、政策の評価について研究しています。

船戸 修一 FUNATO Shuichi



教授
社会学 / 地域社会学

農村村は人口減少や高齢化が進んでいます。このような地域の存続可能性を「社会学」の立場から研究しています。

四方田 雅史 YOMODA Masafumi



教授
社会経済史 / 産業史

日本やアジアに存在する産業やその産地が現在の状況に至った過程や原因について、戦前まで歴史を遡って研究しています。

塩見 佳也 SHIOMI Yoshinari



准教授
国法学 (行政法・憲法) / ドイツ法

法規制の、市民の行動を縛るだけではなく、国家と市場との関係を整備し、価値や情報を生み出す社会的機能や可能性について、考えています。

芸術文化学科

高島 知佐子 TAKASHIMA Chisako



教授 / 学科長
アートマネジメント / 経営学

文化芸術団体はどうやって活動を継続、発展させているのか。活動を担う人々、それを支える組織や産業に着目し研究をしています。

奥中 康人 OKUNAKA Yasuto



教授
音楽学

専門は近現代日本の音楽史。特に日本に外国音楽が流入することによって生じる文化変容や土着化現象について研究しています。

上山 典子 KAMIYAMA Noriko



教授 / 大学院文化政策研究科長
西洋音楽史

専門は西洋の音楽史や文化研究で、音楽が社会の中でどのように生み出され、受容されていくのに関心があります。

永井 聡子 NAGAI Satoko



教授
演劇・劇場史 / 劇場プロデュース論

西洋と日本の演劇・劇場史と舞台芸術の現場を基礎に理論を研究。劇場プロデュースにおける舞台芸術と観客の可能性を探ります。

佐藤 良子 SATO Yoshiko



准教授
舞台芸術政策論 / 地域文化振興論

音楽や舞台芸術などの活動を持続可能なものとするための政策や地域社会との関わりについて研究しています。

田ノ口 誠悟 TANOKUCHI Seigo



講師
演劇学 / 西洋演劇史

西洋演劇史を研究しています。台詞劇、バレエ、オペラなど、欧米の舞台芸術が持つ深く多様性に富んだ魅力を一緒に学びましょう。

梅田 英春 UMEDA Hideharu



教授
音楽学

アジア各地の音楽を研究しています。授業では、音段聞き慣れない音楽を通して、音楽と社会の関係について考えます。

片桐 弥生 KATAGIRI Yayoi



教授
日本美術史

私たちの祖先が創り出した美術作品には何が求められていたのか、その歴史的位置づけを明らかにしつつ、探っていきます。

谷川 真美 TANIGAWA Mami



教授 / 副学長
現代美術 / 芸術学

現代の芸術現象を手がかりに、私たちが生きているこの時代に関わる思想や世界のありようを研究しています。

稲山 玲 INAYAMA Rei



准教授
演劇学 / 現代日本演劇

専門は現代日本演劇です。「王権象徴」をキーワードに戦後日本の劇作家たちが生み出した作品を研究しています。

南田 明美 MINAMIDA Akemi



准教授
芸術社会学 / アートマネジメント / 文化政策論

社会的弱者に寄り添った芸術文化活動について、日本とシンガポールを比較しながら研究しています。「理論と現場の往復」を大切にしています。

藪田 淳子 YABUTA Junko



講師
西洋美術史

ルネサンス期のドイツ美術を中心とした西洋美術史を研究しています。古今の豊かな美術表現を通して、様々な時代や国の文化や考え方を学んでいきましょう。

「人と□」の、より良い関係を考え、提案し、創造する

時代とともに変化する人間や文化の多様性を視野に入れ、すべての人に公平でやさしいデザインによる新しい文化・人間社会の創造を通じて、地域社会の発展や文化の向上に貢献し、国際的に活躍できる人材を育成します。

4年間の学びにおいて、人と人、人と技術、人と環境、人と情報とのより良い関係を考え、創造を支える技術と美的感覚を養い、時代に則した生活文化をつくり上げていくデザイン活動の素養を磨いていきます。

デザイン学部

デザイン学科

社会でのデザインの役割を考える

デザイナーとして基礎となる色彩やデッサン、デザインを取り巻く文化や歴史、社会でデザインが果たす役割などを学び「デザインする」ことを多角的に理解した上で、より良い提案やそれを表現するスキルを習得します。

造形基礎力→ 応用的造形技法の修得というステップを重視

専門科目に先立つデザインに必要なベーシックな技法として、様々な素材や加工法などについて基本を広く学びます。これらの実践的な知識があっこそ、新しく機能的な提案を生み出すことができます。「基礎造形（平面／立体）」では、デザイナーの創造を支える、モノを見る力、成り立ちを理解する力を養います。

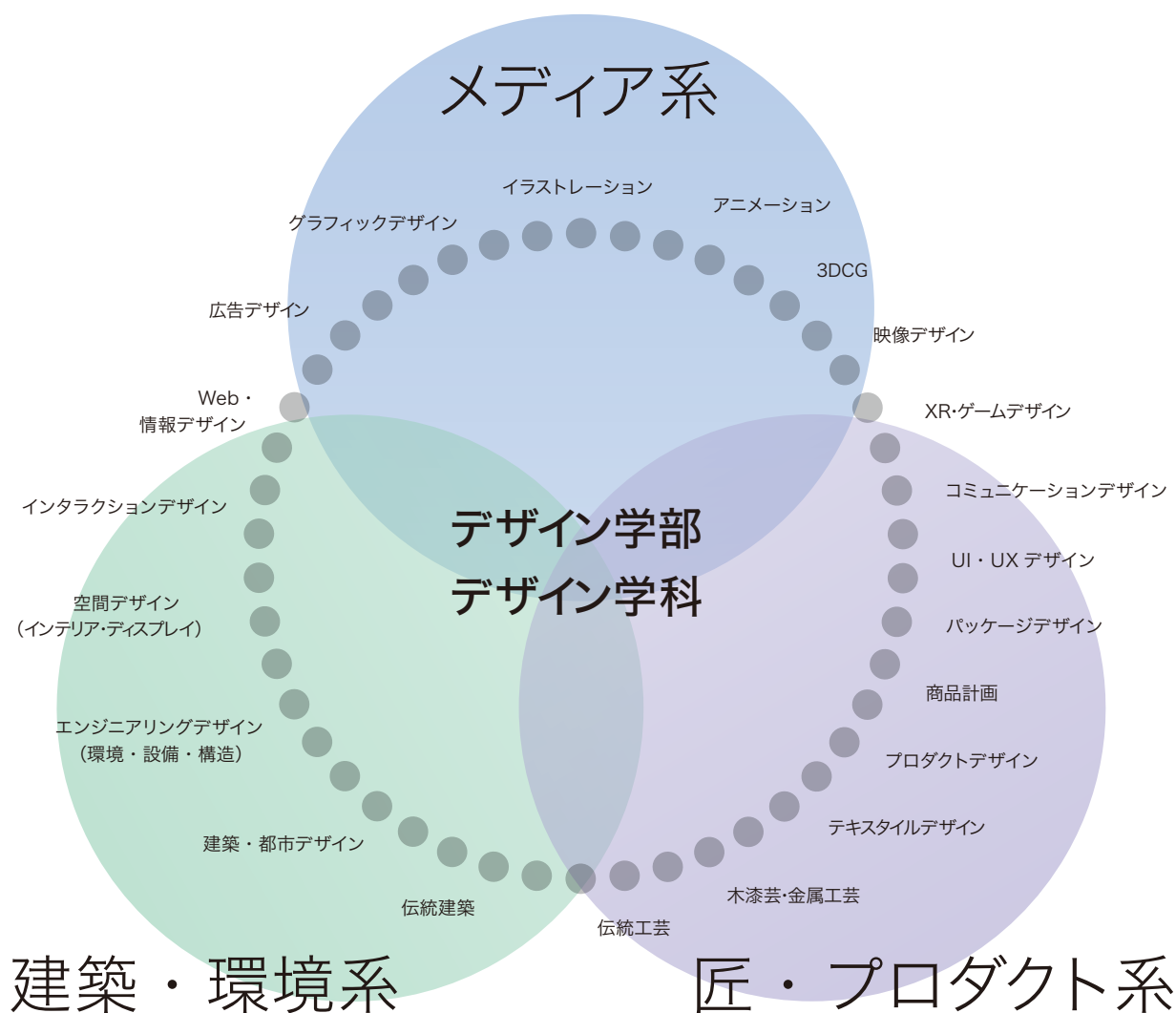
充実した工房群で自由な創作活動

様々なデザインを具現化することのできるクレイモデル室・塗装乾燥室・撮影スタジオおよび各種素材（木材・金属・プラスチック・ガラスなど）が加工できる造形系工房が完備されています。また、CG制作やデジタル合成などを行うグラフィックWS室やマルチメディア室の情報系工房、3Dプリンターやレーザーカッターを備え、デジタルファブ리케이션に対応した工作室などの実験系工房なども充実しています。これらの多彩な工房群と過ごす4年間は造形の力を伸ばすのに絶好の環境です。



デザイン学部は3つの系※を横断し、より広く、より深い学びへ

現在、社会の中でのデザインを取り巻く環境は大きな変化を見せています。かつてのように専門分野の知識や技術さえあれば通用するという状況ではなくなりつつあります。もちろん専門的なノウハウが必要なことは言うまでもありません。ただそれだけではなく、デザインのプロセスにおいて多角的な視点で市場動向を分析したり領域を越境してユニークなコンセプトを立案するなど、いわゆる「考える力」が求められています。この柔軟なデザインの思考力はさまざまな分野の内容を総合的に学ぶことで養われると考えます。本学のデザイン学部は1学科制です。その利点を活かし下記の3つの系にまたがる広範囲で専門性に富んだカリキュラムを用意しています。学生たちはそれぞれの進路を踏まえながら必要な科目を分野にとらわれることなく横断的に履修し、幅広く深い学びを獲得することができます。



※図の3つの系とは、デザイン学科で学ぶなかでの進路を踏まえた目指していく方向性をイメージしたものです。

デザイン学科で
取得可能な資格

※詳しくはP080へ

- ◆一級・二級建築士 木造建築士試験 受験資格 ◆社会調査士
- ◆インテリアプランナー登録資格
- ◆商業施設士補資格 (認定校)



デザイン学部 デザイン学科

定員110名

基礎教育から進路までのイメージ

1年次前期～

1年次後期～2年次前期

基礎的な学び

知識を修得する

社会が求める統合的かつ多様なデザイン力を涵養するため、幅広いデザイン領域に共通する概念や理論、現代のデザインへ繋がる歴史やデザインを取り巻く社会環境に関する知識、および国際的なデザイン活動を支える留意事項などを多彩な科目群より学びます。

技術を身につける

豊かな感性と想像力を備えたデザイナーとして社会で活躍するために、自分の発想を平面や立体に的確に表現するなど、デザイナーに必要とされる顧客や社会とコミュニケーションを図る手法を身につけます。また演習を主体とした科目群より新たなアイデアの創造に繋がる造形について学びます。

人にやさしいデザインを理解する

SUACのデザイン教育・研究の基調となるのは、文化・能力・年齢・性別などの違いに関わらず全ての人に公平でやさしいデザインを目指すという理念です。あらゆる立場の人を含むインクルーシブデザインの考え方を理解し、社会の中で幅広く実践できる能力を養います。

専門性を段階的に深める

1年次後期から2年次前期において、3つの系の方向性を意識した科目群によって段階的に専門性を深めていくカリキュラムが設定されています。専門的な知識や造形技法を修得し実践できる力を養います。

学びの方向性を選択

4年間の学びの特長

幅広いデザイン知識と技術の修得

1年次から2年次前期までの期間、必修科目や選択必修科目を中心に幅広くデザインの基礎を学びます。特に各分野の概論を履修することで3つの系の特性を理解し学生それぞれが自分の進路の方向性をイメージすることが重要です。

希望と適性をふまえた方向性の選択

デザインの基礎を身につけながらデザイン分野の多様さや選択肢の幅広さを認識します。その上で、自らの興味と適性をふまえつつ希望する進路を見定め、軸足を3つの系のどこに置くかを判断し、専門科目を履修します。



～2年次後期

3年次前期

3年次後期

4年次前期

4年次後期

専門的な学び

匠・プロダクト系

- プロダクトデザイン
- 匠（工芸）デザイン

メディア系

- グラフィック・コミュニケーション
- 映像・メディアコンテンツ

建築・環境系

- 建築
- インテリア・空間デザイン

横断的な学び

卒業研究・制作

進路(例)

- プロダクトデザイナー
- Webデザイナー
- エディトリアルデザイナー
- グラフィックデザイナー
- ゲームデザイナー
- インターフェイスデザイナー
- 商品企画などのプランナー
- デザインディレクター
- CGデザイナー
- 家具デザイナー
- インテリアプランナー
- 一級・二級建築士
- 木造建築士
- 商業施設士
- 公務員
- 伝統工芸作家
- 大学院進学

卒業研究・制作とゼミについて

3年次後期から担当教員（ゼミ）を選択し、少人数による活動の中で卒業研究・制作に繋がる専門分野の知識や技能を深化させます。

3つの系を横断する専門的な学び

専門的な学びに繋がる多彩な内容が学科専門科目として配置されています。これらの科目には各系の区分が設けられているわけではなく、学生はそれぞれの進路を意識しながら必要な科目を横断的に履修し幅広く深い学びを獲得できます。

多様な活躍の場

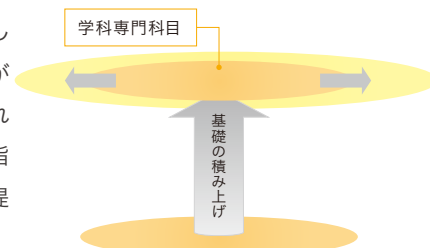
現代の社会状況において、デザインを総合的に捉える力を専門分野の実践の中で活かす機会は増えています。各分野のデザイナーという職業を主体として、企業や官公庁など4年間の学びで培われた力を活かすことのできる多様な活躍の場が待っています。

基礎的な学びから多彩な専門科目へ展開するカリキュラム

デザイン学科では1年次から必修科目や選択基礎科目（基礎理論／基礎演習）を設定しデザイナーとして習得すべき総合的な基礎を学びます。そこで身につけた知識や技術が素養の軸となり、その後の学生の進路に対応した多彩な専門科目の履修に活かされます。また、3年次の「専門横断演習」では、異なる専門分野の教員が協働で教育指導を行い、実社会に展開可能なサービス、製品、体験を含めた横断的なデザイン提案に取り組みます。

必修科目・選択必修科目例

- デザイン概論 ●基礎造形（平面／立体） ●ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論
- プロダクトデザイン概論 ●匠造形概論 ●グラフィックデザイン概論 ●映像構成論 ●建築デザイン論
- 視覚表現演習 ●写真撮影技法 ●プログラミング基礎演習 ●素材基礎演習 ●専門横断演習



基礎的な学び…デザインとは何かを考える

デザインの基本は気づいて考えることです。デザイン学部では芸術的感性だけではなく、歴史・文化・科学の知識を活かしながら身近な暮らしや社会の中に問題を発見する力を重視します。どのようなモノやコトがあればその問題が解決できるのかを1学科制の利点によって培われた総合的な思考で論理的かつ実証的に考え、さまざまな知恵やアイデアを結び合わせ解決策の実現を目指します。このプロセスを通して、デザイン論や手法を具体的に理解しながら社会の幅広い分野の中でデザインの役割を拡張できる人材を育成します。

開講科目例

素材基礎演習

■開講年次・・・1年次後期

「素材」は、製品のデザインや製造の現場において重要な要素のひとつです。その多様な特性を学び制作するプロセスを通じて、素材の活かし方、加工法、組み立て法など、今後のデザインワークの土台となる基礎力を経験的に身につけます。



デザイン思考

■開講年次・・・1年次後期

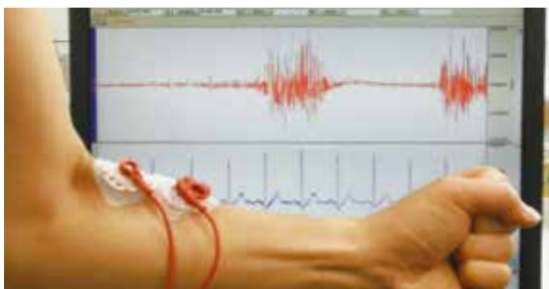
デザイン思考は、デザインプロセスにおける思考方法の一つです。建築やプロダクト、サービスと多岐に渡るデザイン領域で活用され、ユーザー視点を軸としてアイデアを導き出すことを手助けします。この授業ではデザインの基本的な思考法として理解し、実践に用いることを目指しています。



人間工学

■開講年次・・・2年次前期

人間にとってよりよいモノや空間をデザインする際に必要となる人間工学の考え方や測定の方法について学びます。既存の道具や家具、空間、表示などの事例を通して、分かりやすさや使いやすさを実現するための考え方について理解を深める授業です。



ユニバーサルデザイン演習Ⅱ

■開講年次・・・2年次後期

異なる特性を持つ人と共に行動し、観察、分析、ディスカッションを通して、日常生活における課題を提起し、解決策を考えます。「人の感覚や機能の多様性と可能性」を体得することにより、ユニバーサルデザインの本質的な理解が深まります。

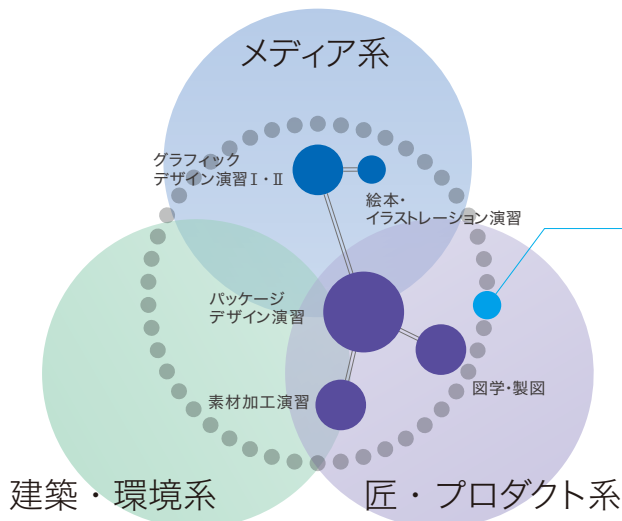


専門分野を中心にしながら幅広く知見や技術を養う横断的な科目履修

3つの系にまたがる横断的な科目履修が可能となるカリキュラムによって、学生はそれぞれの進路を意識しながら専門分野を中心に幅広く深い学びを獲得することができます。



横断的な科目履修例



横断的履修のイメージ例

パッケージデザイン に取り組んでみたい!

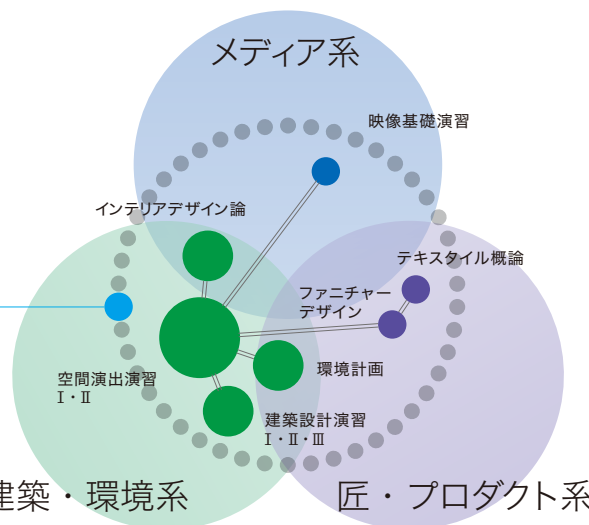
匠・プロダクト系の科目履修に重点を置き、素材や構造などパッケージの道具的機能について学ぶ。またメディア系の科目も履修し、色彩や文字、レイアウトなどパッケージの情報の機能についても学ぶ。



横断的履修のイメージ例

インテリアデザイン に取り組んでみたい!

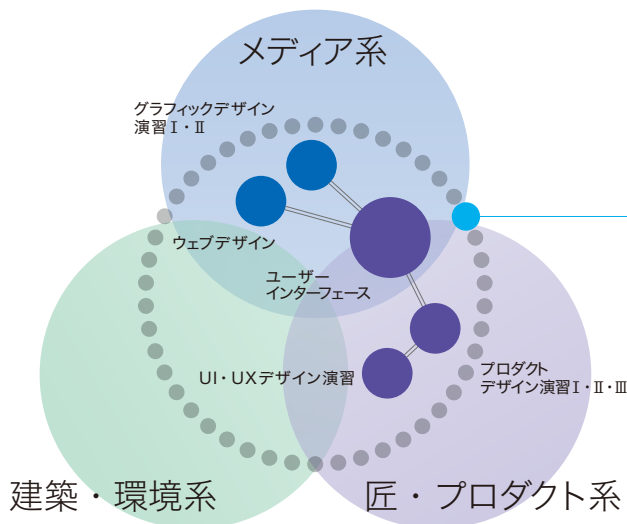
建築・環境系の科目履修に重点を置き、建築的な内観設計や構造、設備について学ぶ。またメディア系の科目で映像演出の手法などについて学ぶ。



横断的履修のイメージ例

UI・UXデザイン に取り組んでみたい!

メディア系と匠・プロダクト系の両方の科目履修に重点を置く。前者ではインターフェイスやインフォグラフィックなどデジタルコンテンツ制作の基本を学ぶ。後者ではUI・UXのプロダクトデザインへの展開について学ぶ。



基礎的な学び

- デザイン概論
- 基礎造形(平面/立体)
- ユニバーサル/インクルーシブデザイン概論
- プロダクトデザイン概論
- 映像構成論
- グラフィックデザイン概論
- 建築デザイン論
- 匠造形概論
- 視覚表現演習
- 写真撮影技法
- 素材基礎演習
- プログラミング基礎演習

プロダクトデザイン

プロダクトデザインでは、産業活動を通してより良い社会と心豊かな暮らしを実現するための製品やサービスを具現化します。社会を構成するさまざまな人々に魅力ある価値をデザインするために、そのプロセスでは、環境・社会、何よりも人間について深く考える力が必要であり、具現化のためには、外観を含めた機能・分かりやすさ・使いやすさを実現する力が必要です。人間工学やマーケティングなどの講義の他に、自ら検証しながら製品をデザインする演習や課題解決のための各種プロジェクトを通して、こうした能力を身につけます。

1年次ピックアップ科目

プロダクトデザイン概論



プロダクトデザインを学ぶ上での基礎知識習得を目標に、社会や市場、素材や加工技術とプロダクトデザインの関係性について理解し、デザインを具現化するプロセスに必要なデザイナーが身につけるべき技能・技術などについても、さまざまな分野の具体的事例を通して学びます。



匠（工芸）デザイン

デザインにおいて、素材選びや加工方法を考えて形にすることは、とても重要なことです。古来より我々の生活には、木、土、繊維、金属などのさまざまな素材が用いられてきました。そして長い歴史の中で発展を遂げ、今日では「工芸」という分野が確立され、職人の手業による精度の高いものづくりが海外からも注目を浴びています。本学では日本の伝統的な技法、道具の扱い方などについて学び、手仕事を通して各素材についての理解を深めます。理論と実践の両輪で、社会に還元できる新しいデザインを考えていきます。

1年次ピックアップ科目

匠造形概論



本講義では、造形芸術への理解を深め、現代社会における造形芸術のあり方を学ぶことを目的として、特に工芸技法による造形作品とその作家を具体例に、造形表現に伴う技術および技法と素材から見る特性に焦点を当てます。また、建築空間や総合芸術などに見る造形芸術を概説します。





デザイン学科
卒業研究・制作紹介はこちら

2年次ピックアップ科目

プロダクトデザイン演習I



手で持って使う機器を題材に製品デザイン開発の入門的なプロセスを体験し、プロダクトデザイン開発に必要な知識とスキルを習得します。モデリングの過程においては、使いやすさの検証とともに、形状や素材の組み合わせによる審美性を追求します。

2年次ピックアップ科目

パッケージデザイン演習



内容物の保護・保持・イメージ伝達などのパッケージデザインに必要な特性について学びます。ブランディングを含めた総合的な表現・演出をテーマとして課題制作に取り組むことにより、形・構造・素材・色彩・構成について理解を深め、パッケージデザインの応用的手法を習得します。

2年次ピックアップ科目

素材加工演習



デザインにおいて、さまざまな素材への理解は欠かせません。素材加工演習では、私たちが日常生活において欠かすことのできない身近な素材を用いて、専門的な知識と加工技法を学ぶとともに、その素材や技法の魅力を発見し、新たなデザイン提案に結びつけていきます。

2年次ピックアップ科目

匠造形演習



匠造形演習では工芸分野における、さらに専門的な技法について学びます。各専門工房で、より高度な造形力を習得し、伝統技法についての理解を深めます。さまざまな技法に関する特色を知り、手仕事を通して、日本独自の新たなデザインの展開を模索していきます。

学生作品紹介



2025年度卒 伊藤愛 / 農園体験を運ぶ移動機器Agloop



2025年度卒 佐武あおい / 高級みかんのギフトパッケージ



2025年度卒 河原崎泰季 / 伝統工芸を表現した紙製家具

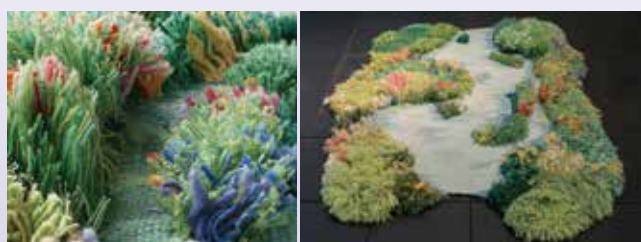
2025年度卒 石田裕奈 / RESTation (UIUX)



2025年度卒 鈴木海音 / 花を纏う (現代の若者のファッショントレンドに合わせた和装アクセサリーの制作)



2025年度卒 金沢春香 / rin° (果皮に漆塗り)



2024年度卒 清水彩月 / 春彩の理想論 (タペストリー)

基礎的な学び

- デザイン概論
- 基礎造形(平面/立体)
- ユニバーサル/インクルーシブデザイン概論
- プロダクトデザイン概論
- 映像構成論
- グラフィックデザイン概論
- 建築デザイン論
- 匠造形概論
- 視覚表現演習
- 写真撮影技法
- 素材基礎演習
- プログラミング基礎演習

グラフィック・コミュニケーション

私たちは日々、無数の情報に囲まれ、他者とコミュニケーションを取りながら生活しています。そのような時代に、情報の本質を正確かつ分かりやすく表現し、適切に伝える能力はとても重要です。印刷やWebなどの多様なメディアへの理解を深め、さらに情報を視覚的に表現するグラフィックデザインの技術を身につけます。広告、パッケージ、イラストレーション、エディトリアル、ブランディングなど、さまざまなデザイン実務に繋がる講義と演習に取り組み、理解と共感を呼び起こすビジュアル・コミュニケーションのデザイン能力を習得します。

1年次ピックアップ科目 視覚表現演習



グラフィックデザインをはじめ、さまざまなデザイン分野で活用可能な視覚表現の基礎を学びます。文字やシンボルマークなどをデザインする上での基本的な考え方を理解し、課題制作を通じて表現技術を身につけます。視覚表現を専門とする複数の教員によるオムニバス形式の授業です。



映像・メディアコンテンツ

現代のメディアデザインの中核をなす、映像制作のためのさまざまな手法を体系的に学びます。アニメーションの基礎からCGや実写撮影、画像合成など、多彩な映像作成技法の演習を通して、ユニークで質の高い映像コンテンツを生み出す表現力を養います。また、現代ではテクノロジーを活用した「新たな体験・経験」を生み出すデジタルコンテンツの分野に拡張され、インタラクティブデザインを中核とした学びや現代アートからインスタレーション、ゲームの技術や知識を身につけ、感性を生かしたエンターテインメントの創作の可能性を学びます。

2年次ピックアップ科目 サウンドデザイン



サウンドデザインは音楽制作に始まり、映像制作、ゲーム、ライブパフォーマンスからサウンドアートまで、幅広い分野にわたります。音楽だけではなく、言葉、環境音、ゲームのサウンドエフェクトなど、多岐にわたるサウンドのデザインを学びます。





2年次ピックアップ科目

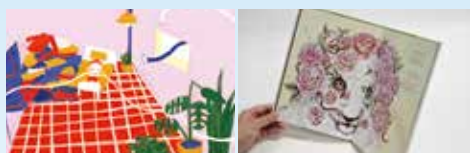
グラフィックデザイン演習Ⅱ



第三者にメッセージを伝えるビジュアル・プロモーションをテーマとして複数のデザイン成果物を制作し、グラフィックデザインの実践的な能力を高めます。「何のために」「誰に」「何を」伝えるかという目的性を踏まえた表現を追求し、グラフィックデザイン本来の役割について体験的に学習します。

2年次ピックアップ科目

絵本・イラストレーション演習



「ことばと絵によって物語る生き物」である絵本と、イラストレーションについての専門的な知識と技術を身につけます。優れた作品表現を観察して、色彩・かたちとコンテキスト・構造・物語などとの関係を理解し、イラストレーションおよび絵本の制作を通して表現力・構成力・統合力を養います。

2年次ピックアップ科目

3DCG演習Ⅱ



3DCGの作業工程であるモデリング、アニメーション、レンダリングを学びながらキャラクターデザイン、カメラワーク、ライティングなどの専門分野も網羅的に学びます。3DCG制作のツールの習得だけではなく、3DCGの表現力も高めていきます。

3年次ピックアップ科目

エンターテインメントデザイン



五感を刺激するエンターテインメントシステムを題材に、未来のコミュニケーションメディアのあり方を考察します。メディアアート、映像、ゲーム、Web、広告、マンガなどのデザインの現場で展開する最新の事例を学び、自ら創り出すための方法について学びます。

学生作品紹介



2025年度卒 西村香音/かわり草紙（絵本）



2025年度卒 中川夏依吏/scentence.（パッケージ/プロダクト）



2025年度卒 戸田西香/BUY BY ???（体験型展示デザイン）



2024年度卒 杉本日菜/自分自信（3DCGアニメーション）



2022年度卒 安藤萌/森のかくれんぼ（AR絵本）



2023年度卒 佐々木健輔/YAHIRADE（音楽ゲームインストールーション）

基礎的な学び

- デザイン概論
- 基礎造形(平面/立体)
- ユニバーサル/インクルーシブデザイン概論
- プロダクトデザイン概論
- 映像構成論
- グラフィックデザイン概論
- 建築デザイン論
- 匠造形概論
- 視覚表現演習
- 写真撮影技法
- 素材基礎演習
- プログラミング基礎演習

建築

一般に「建築」は、一つひとつの「建物」を指すと思われるかもしれませんが、本来「建築」は、人々が安心して生活できる空間を作り出すプロセスや、その結果生み出される空間や環境を含んだ概念です。この「建築」という概念に基づき、建築・都市・ランドスケープなどを対象に、環境デザインやエンジニアリングデザインなどのデザイン理念を重ね、社会のニーズに対応することを学びます。必要な科目の履修により、一級・二級建築士、木造建築士の受験資格が得られます。またインテリアプランナー、商業施設士の資格に挑戦する学生もいます。

1年次ピックアップ科目 建築デザイン論



建築デザインの実現に関わる要素、技術、およびそれらの背景となる思想について学び、建築デザインへの理解を深めます。近代から現代を中心とした具体的事例を対象として、周辺環境との関わりや構造形式、機能との関係など、多様な視点からの分析を通して学習します。

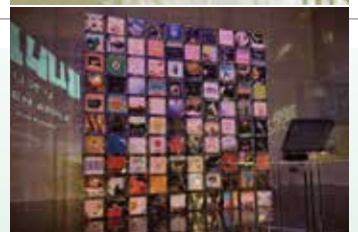
インテリア・空間デザイン

私たちの暮らしは空間の中で営まれています。空間を学び知ることは、自宅や学校、職場、商業施設、公園など実在する場あるいは場面で、生活の質を向上させていく手がかりとなるものです。また今日、ICTの進展に伴い登場したメタバースやインターネット上の仮想空間についての取組みも盛んに行われ、こうした新たな空間領域も学びの対象とします。「インテリア・空間デザイン」は、概論、歴史的背景、専門知識、空間演出方法などを幅広く修得することはもとより、インテリア・空間デザイン関連の実務を意識した実践演習を行います。

1年次ピックアップ科目 空間デザイン



「空間をデザインする」ことは自然や人間社会に対してどのような役割を担っているのか、その楽しさや重要性を学びます。空間デザインを理解することによって、空間は生活の中のさまざまな時間を創造してくれることに気づき、その要因の歴史的背景や現代における表現手法を読み取る感覚を育てます。





2年次ピックアップ科目

日本伝統建築



日本の伝統建築は、歴史や文化を背景に様式を確立し、継承されてきました。建築様式と技術の歴史、建築を構成する材料や道具についても学びます。文化財政策や保存・活用についても理解を深め、地域の文化資産である伝統建築のあり方も考えます。

2年次ピックアップ科目

建築設計演習Ⅱ



地域の環境や景観を念頭に置きながら、公共的な施設的设计や複合施設のグループ設計に取り組むことを通じて、求められる要件を総合的にまとめ空間化することを実践的に学びます。毎週の授業で個別指導を受け、完成時には発表し講評を受けることにより、計画を客観的に評価する視点も学びます。

2年次ピックアップ科目

インテリアデザイン論



生活に彩りを与えるインテリアデザインについて、歴史や社会潮流の中でどのように育まれてきたか、その豊かさを学びます。インテリアデザインの知識・理論・手法を理解することによって、身近な空間が心身や五感と呼応していることに気づき、美しいインテリア空間をデザインする感覚を育てます。

2年次ピックアップ科目

空間演出演習Ⅱ



空間を構成する基本的な要素である「色・光・音」を用いて、住宅やパブリックスペース、商業施設内ディスプレイなどの空間演出のデザイン演習を行います。演習では高度な演出技術を検討し、また、美しさのメカニズムや演出効果を探求することで新しい空間表現や空間演出に挑戦していきます。

学生作品紹介



2025年度卒 中原志織 / 別れのあいだに、ゆとりをつくる
～時間と空間の構成を組み直す火葬場～ (建築設計)



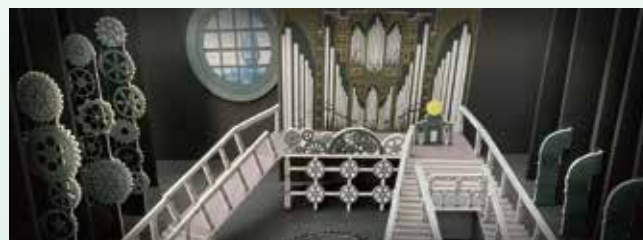
2025年度卒 矢野結菜 / 都市に生きる人間の自然の中での住みこなし (建築設計)



2025年度卒 酒向悠人 / 畑で繋がる集合住宅 (建築設計)



2025年度卒 成田彩乃 / mokku 焼きたてクレープ専門店キッチンカー (店舗設計と制作)



2024年度卒 武山由依 / ユゲテール城 (舞台美術)



2023年度卒 石田絵莉 / 服を眺める (ディスプレイ設計)

学生たちからのメッセージ

デザインの視点で、 人と地域を繋ぐ体験を 形にする。

幼い頃から工作や図工が好きで、グラフィックデザインから工芸まで横断的に学べる環境に惹かれて本学を志望しました。デッサン未経験であっても、数学受験の選択肢や入学後の丁寧な実技指導がある点に、多様な個性を迎え入れる大学の器の広さを感じたことが入学の決め手です。

現在はUI/UXデザインを専攻し、単なるものの形だけでなく、使う人の「感情」や「心理」までを含めたユーザー体験の設計を専門的に学んでいます。卒業制作では「運」という日常的な言葉をテーマに据え、展示を通じた体験によって人々にポジティブな気づきを与える空間表現を追求しています。課外活動では、地産地消を推進するサークル活動の立ち上げから携わり、生産者と消費者を繋ぐレシピ開発やイベント運営に注力しました。そこでは、価格や量といった表面的な価値だけでなく、作り手の想いをどう届けるかという「体験設計」の視点など、ゼミでの学びが実践として結びつきました。



卒業後は地域創生の分野に進みます。大学4年間で養った「人の気持ちに寄り添うデザイン」の視座を活かし、地域の文化や場所の魅力を最大化できる仕組みづくりに取り組みたいと考えています。

作品名/運タウン

「運」との関わり方の多様性を、町に見立てた体験型展示です。三つの町を巡りながら、普段は曖昧な運の捉え方を、多面的に考えるきっかけになるよう設計しました。



小阪 梨緒

デザイン学科 4年 岡山県立岡山城東高等学校 出身

出会いが、 映像をより深く、 豊かにしていく。



幼い頃から創作が好きで、図工や美術の授業はいつも楽しみでした。大学でも表現に関わる学びを続けたいと思い、幅広い創作に挑戦できるSUACを選びました。中でも映像に興味があり、入学後は実写・アニメーション・3DCGなど多様な表現に触れながら、自分のスタイルを探っています。

現在取り組んでいる卒業制作では、ロトスコープの技法を使い、大学生生活の記憶を映像化しています。撮影場所を探し、友人に協力してもらい、構成を練り直す過程は大変ですが、思い描いたイメージが形になっていく瞬間に強い達成感があります。独りよがりにならず、見る人の気持ちに寄り添うことを大切にしています。



作品名/空跡 (くうせき)

この制作は、自分の4年の大学生生活が、形のない不確かな痕跡となるということに寂しさを覚えたことから始まりました。多くの協力のもとで、映像という形に作り上げました。

授業やゼミでは、同じ志を持つ仲間と作品をつくる機会が多く、互いに刺激を受けながら成長できました。ガラスや金属など造形系の工房も充実しており、映像以外の表現にも挑戦できる環境です。

卒業後はテレビ番組制作の現場で働く予定です。多くの人と協力して一つの映像を生み出す世界で、自分の表現力をさらに磨いていきたいです。映像づくりに関心がある人にとって、SUACのデザイン学科は大きく成長できる場所だと感じています。

大木 春奈

デザイン学科 4年 栃木県立小山高等学校 出身

暮らしに 寄り添うデザインを、 この手で。

私がプロダクトデザインを志した原点には、「誰かの生活を少しでも良くしたい」という想いがあります。制作する際は、まず使う人の立場に立ち、何が負担で、どこに不便があるのかを丁寧に見つめることを大切にしています。現在取り組んでいる卒業制作では、高齢者の方が安心して使える杖のデザインをテーマに、機能性と見た目の魅力を両立させる形を探っています。使うことに抵抗を感じる方が多い製品だからこそ、道具としての役割に加え、「持ちたい」と思えるデザイン性を追求しています。



授業やゼミでは、企業のデザイナーの方から直接フィードバックをいただく機会が多く、社会の現場につながる学びが充実しています。下田市でのフィールドワークでは、初めて訪れる地域の文化や課題を調べ、デザインの力で解決策を提案する難しさと面白さを実感しました。

4年間の学びを通して、プロダクトだけでなくグラフィックや空間など幅広い領域に触れ、自分の進みたい方向性を確かにできました。卒業後は住宅設備メーカーで製品開発に携わり、生活に寄り添うものづくりをさらに深めていきたいです。



作品名/handsun

転倒防止を目的とした、高齢者の夜を支える杖です。歩行を補助する「杖」と、夜間の視認性を高める「灯り」によって課題解決に取り組み、安心と安全を届ける製品を目指しました。

小田 桃子

デザイン学科 4年 浜松学芸高等学校 出身

空間デザインを通じて、人と地域を繋ぐコミュニティを設計する。

カフェの内装空間に興味を持ったことが、空間デザインを志すきっかけでした。領域の枠を越えて学べる環境を活かし、専攻である建築に加え、グラフィックやパッケージデザインなど幅広く履修しました。

2年次の後期には半年間、フランスへ交換留学を経験しました。現地学生の能動的な姿勢や、アートとデザインを明確に分ける考え方に刺激を受け、デザインは顧客目線で使いやすさを追求すべきであるという自身の軸が固まりました。卒業制作では、閉塞的になりがちな都市の集合住宅に市民農園を導入し、住民と近隣の人々が自然に出会いコミュニティを形成できる場を設計しています。図面作成から模型制作まで、膨大な作業を伴う建築の学びは大変ですが、仲間との絆も深く、論理的に空間を構築する力は大きな自信になりました。



卒業後は大学院に進学し、さらに専門性を高める予定です。空間のデザインは人の行動を左右できる力を持っているからこそ、その本質を突き詰め、将来は商品の魅力を引き出すディスプレイやインテリアなど、建物の内側から人々の体験を豊かにする仕事に携わりたいと考えています。



作品名 / 畑で繋がる集合住宅

畑を用いてコミュニティを形成する空間の設計。畑は外へ出るきっかけを作り出し、人が集まる場所を作り出す。開放的な公園のようになり、周辺地域とも繋がりが合う場所となる。

酒向 悠斗

デザイン学科 4年 三重県立川越高等学校 出身

素材の魅力を引き出し、人々の暮らしに寄り添うものづくりを学ぶ。



デザインで社会に貢献するという理念に惹かれ、岡山からこの大学への進学を決めました。当初はグラフィックデザインを志望していましたが、1年次に全領域を体験する基礎演習を通じ、素材に直接触れながら形にする面白さに気づき、染織の分野を選択しました。

現在は糸染めや織りの技法を学び、素材ごとの表情を活かした作品制作に取り組んでいます。3年次の前期には掛川市の指定文化財である松ヶ岡での展覧会に参加しました。テーマ設定から展示計画までを一貫して手がけ、現地の空間に馴染む表現を追求する過程では、作品サイズや設置方法の重要性を実地で学びました。来場者から直接感想をいただいた経験は、自身の表現に対する大きな自信に繋がっています。



作品名 / Tokimeki Town

生活していると、時々、どうしても心が落ち込んでしまうことがある。そんな時、気持ちが少し明るくなるような、色とりどりで愉快なタペストリーを作りたいと考えた。

SUACには充実した工房設備があり、専門領域を越えて多様な表現に挑戦できる自由な雰囲気があります。先生との距離が非常に近く、制作の悩みから趣味の料理の話まで気兼ねなく相談できる環境も大きな魅力です。将来はどのような道に進んでも、大学での経験を糧に、生活のなかでものづくりと共にある暮らしを大切にしていきたいと考えています。

國定 奈々海

デザイン学科 3年 岡山県立岡山城東高等学校 出身

コンテンツの魅力を可視化し、使い手に届ける入口をつくる。

高校時代の商業研究部での活動を通じ、企画の意図を第三者に伝える難しさを実感したことがデザインを志した原点です。単なる自己表現としての美術ではなく、情報を整理し、作り手の想いを直感的に伝える手法を学びたいと考え、文化政策学部の見聞も得られるこの大学を選びました。

現在は商品やサービスの個性をひと目で感じ取れるグラフィック表現を研究しています。卒業制作では、観光地でのユーザー体験を起点に、空腹具合で検索できる独自のグルメマップ制作に取り組んでいます。大学生活では、学科や立場の垣根を越えて情報共有を行う学内イベントを立ち上げるなど、主体的な活動にも注力してきました。また、学外では他大学の学生とチームを組み、ブランドデザインのコンテストに挑戦して総合7位という成果を取めるなど、実践的なアウトプットを積み重ねています。



卒業後は、年間を通じて多種多様な新商品を世に送り出す生活用品メーカーに進みます。インハウスデザイナーとして、作り手の熱意を咀嚼し、手に取る人にとって魅力的な入口となるデザインを手がけていきたいと考えています。



作品名 / 沼津港で満腹大作戦

「あれもこれも食べたかったのに、すぐお腹いっぱい…」という観光地特有の後悔をなくすためのサービスです。おにぎり〇個分の満腹度を基準に、あとどれくらい食べられる？で選べるマップを作りました。

犬束 朱里

デザイン学科 4年 岡山県立倉敷商業高等学校 出身

工房紹介

造形系 工房

木材加工室 木材加工

専門的な木材加工を行うための多種多様な機械を設置しています。木材加工専門の助手が常駐しており、制作をサポートします。

◆主な機器/バンドソー、パネルソー、カンナ盤、刃物類



ガラス工房 パーナーワークによるガラス加工、作品の制作

ホウケイ酸ガラス（耐熱ガラス）を、約2,000℃に加熱して加工するための設備を設置しています。変化するガラス特有の物性や加工法を手を動かして学びます。◆主な機器/ガスバーナー、ハンドトーチ、ガラス旋盤、徐冷電気炉



金属工房 彫金・鍛金・鋳金技法による金属素材の加工と造形

金属素材の性質や加工技術について、作品制作を通じて学ぶための道具や設備が豊富に揃っており、金工分野における表現手段と造形力を養うことができます。

◆主な機器/アーク溶接機、ガス溶解炉、高周波遠心鋳造炉



プラスチック加工室 プラスチック加工

プラスチック加工の実習や、プラスチック樹脂を用いた注型・モデル制作を行います。NCトリミング加工機も設置しており、専門的な制作作業が行えます。◆主な機器/NCトリミング加工機、真空成型機



塗装乾燥室 塗装

自動車一台を塗装できる大型塗装ブースや、有機溶剤を吸収する装置、細かな塗装を行えるエアブラシ装置など、作品の仕上げ塗装に最適な環境です。

◆主な機器/大型塗装ブース、塗料吸気装置、スプレーガン、エアブラシ



クレイモデル室 クレイモデル制作

フルスケールモデル用レイアウトマシンが導入されており、乗用車などの実物大モデルや縮小モデルなどをクレイ（粘土）で制作することができます。

◆主な機器/フルスケールモデル用レイアウトマシン、クレイオープン



情報系 工房

マルチメディア室 サウンド編集・デジタルコンテンツ制作

iMacが設置された工房です。グラフィックデザイン、ゲーム・Webコンテンツの制作、サウンドの録音・編集などを行います。◆主な機器/サウンドスタジオ、iMac



グラフィックWS室 デジタルコンテンツ制作

3DCG制作やゲーム開発、映像のデジタル合成やノンリニア編集など、映像をはじめとするデジタルコンテンツ制作のための作業を行います。◆主な機器/PC（各種ソフトウェア）



その他の工房

造形系工房

金属加工室、ドライモデル室、立体工房、製図室、平面工房、染色工房、CAD/CAM室、暗室、録音スタジオ、総合組立アトリエ

情報系工房

電子制御機器製作室、OA室

実験系工房

構造実験室、人体機能実験室、UDラボ

木彫工房 木彫制作、漆塗装

木彫制作に必要な設備に加え、器製作のための木工轆轤、漆塗り専用の塗り部屋や、漆風呂を完備しています。

◆主な機器/漆風呂、木工轆轤



陶芸工房 陶芸制作

電動轆轤、真空土練機、たたら機や酸化・還元焼成が可能な大小2基の電気窯など、陶芸に必要な設備が充実しています。

◆主な機器/電気窯、電動轆轤、たたら機、真空



テキスタイル工房 テキスタイル作品制作

染めの設備、高機や卓上機が各種あり、織やミシンワーク、フェルトワークなど繊維やテキスタイル関連の造形設備があります。◆主な機器/スウェーデン・フィンランド・ニュージーランド・日本の手機、手紡ぎ機、ミシン、染色設備



撮影スタジオ 写真撮影・映像撮影

ポートレート撮影や、制作した作品の写真撮影など、様々な用途で撮影を行います。天井にはバンクライトが取り付けられており、操作盤で位置、角度などを調節することができます。◆主な機器/ホリゾン、バンクライト、LEDライト、スタンド類



デッサン室 デッサン・描画制作

石膏像をはじめ、様々なモチーフが準備されていて、それらをデッサンすることができます。デザインに不可欠な観察力と表現力を養うことができます。

◆主な機器/光を選択できる分割天井照明

実験系
工房

空間演出実験室 大判印刷

大型プリンターを備えた印刷室です。最大でB0サイズまでのカラー印刷に対応し、授業課題のプレゼンテーションシートや自主制作作品の出力に使われています。

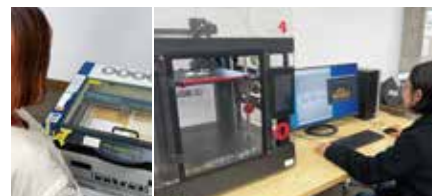
◆主な機器/大型プリンター、PC、調光システム、簡易撮影台



工作室 デジタルファブリケーション

CADやCGで作成したデザインデータをもとに3Dプリンターやレーザー加工機を用いて、制作を行います。

◆主な機器/レーザー加工機、3Dプリンター、カッティングプロッタ



デザイン学科の「知」と「実践」

実務経験のある教員 による実践的な 講義・演習

企業などでデザイナーとして豊かな経験をもった教員が多く在籍するデザイン学科では、実践的な講義や演習が展開されています。経験を活かした講義内容や、オムニバス形式で行う多様な企業などから講師を招いた特別講義などを通じて、学生は学習意欲や知的好奇心を高め、キャリアデザインにつなげます。



国際交流を通じて養う グローバルな デザイン感覚

長期休暇を利用して短期日程で行われる語学研修やサマースクールをはじめ、半年から1年の長期留学など、デザイン学科では多様な価値観と歴史と文化を学び、国際的なデザイン感覚を養うため、多くの学生が留学に挑戦しています。現地の学生やデザイナーと英語でコミュニケーションをとり、グループワークやディスカッションを重ねてプレゼンテーションを行うなど、海外に赴いてこそできる様々な経験が可能です。



デザインコンペに挑戦！ 多くの作品が採用

学生を対象に実施される外部団体が主催するデザインコンペティションに、デザイン学科の学生たちは積極的に挑戦しています。応募したグラフィックやプロダクトなどのデザインが採用され、実際に社会の中で多くの方々の目や手に触れることは、デザインを学ぶ上で最も勉強になることのひとつです。公共事業やイベント、地域振興などの多くの場面でSUAC生の活躍が目立ちました。



デザイン学部卒業展・ デザイン研究科修了展 (通称:卒展)

4年間の学びの集大成である卒業制作を展示する「卒展」は、4年生自らが企画・運営を行います。毎年2月に学内全体を会場として開催され、一般にも公開されます。課題に向き合いながら培った知識や技術を総動員し取り組む卒業制作。思いがこもった多種多様な作品が並びます。



取得可能な資格

建築士 受験資格	インテリアプランナー登録資格	商業施設士補資格(認定校)
社会調査士		

卒業生の主な進路 (抜粋)

製造業

アイシン・エイ・ダブリュ(株)	東芝テック(株)
アイリスオーヤマ(株)	TOTOバスクリエイト(株)
いすゞ自動車(株)	トクラス(株)
(株)イトーキ	トヨタ自動車(株)
エンケイ(株)	(株)豊田自動織機
大阪シーリング印刷(株)	トヨタ自動車東日本(株)
(株)オリバー	トヨタ車体(株)
柏木工(株)	(株)日産オートモーティブテクノロジー
(株)河合楽器製作所	(株)日本カラーエンジニアーズ
河淳(株)	日本たばこ産業(株)
キヤノン(株)	パナソニック(株)
共和レザー(株)	浜松ホトニクス(株)
起立木工(株)	林テレンプ(株)
(株)クボタ	(株)バンダイ
クリナップ(株)	(株)日立製作所
(株)ケイ・ウノ	日立グローバルライフソリューションズ(株)
(株)小糸製作所	富士ゼロックス(株)
コクヨ(株)	ブラザー工業(株)
(株)コルグ	フランスベッド(株)
コンビ(株)	プラス(株)
サンスター文具(株)	ブリヂストンサイクル(株)
サンワサプライ(株)	(株)本田技術研究所
(株)システック	(株)マキタ
(株)シマノ	マツダ(株)
シャープ(株)	三菱自動車工業(株)
(株)ジャンソン化粧品	(株)ムーンスター
(有)春華堂	矢崎化工(株)
スズキ(株)	(株)ヤタロー
(株)鈴木楽器製作所	(株)ヤマニパッケージ
スタンレー電気(株)	ヤマハ(株)
(株)SUBARU	ヤマハ発動機(株)
セーラー万年筆(株)	(株)リヒトラブ
セイコーエプソン(株)	レック(株)
ダイハツ工業(株)	レンゴー(株)
タカラスタンダード(株)	ローランド ディー・ジー (株)
デコラテックジャパン(株)	リンナイ(株)
(株)東芝	

ハウジング・建設業

アサヒハウス工業(株)	(株)大成住宅
(株)池田建築設計事務所	大東建託(株)
(株)一条工務店	大和ハウス工業(株)
(株)イリア	飛鳥建設(株)
(株)金沢伝統建築設計	(株)中村組
サーラ住宅(株)	中村建設(株)
住友林業(株)	(株)平成建設
須山建設(株)	堀部安嗣建築設計事務所
セキスイハイム東海(株)	ミサワホーム(株)
積水ハウス(株)	三井デザインテック(株)

(株)スペース	(株)類設計室
三井ホーム(株)	佐藤工業(株)
(株)ミルックス	
卸売・小売業	
(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ	(株)東京インテリア家具
オルビス(株)	(株)TASAKI
(株)カインズ	(株)中川政七商店
(株)サマンサタバサジャパンリミテッド	(株)ニトリ
シーラック(株)	(株)アシロード
シャディ(株)	(株)ユナイテッドアローズ
(株)千趣会	

金融・保険業

JAとびあ浜松	しずおか焼津信用金庫
日本生命保険(株)	

放送・広告業

(株)朝日メディアプレーン	(株)名古屋テレビ事業
(株)エイエイビー	(株)日企
静岡エフエム放送(株)	(株)日本テレビアート
(株)静岡新聞社	(株)博展
太陽企画(株)	(株)博報堂プロダクツ
(株)テレビ朝日クリエイティブ	(株)メディア東京
UUUM(株)	

情報・専門サービス業

(株)アクアプラス	(株)GKインダストリアルデザイン
(株)アドウィル	(株)GKグラフィックス
(株)アドブレイン	(株)ジイケイ設計
(株)インテリジェントシステムズ	(株)GKダイナミックス
UO	(株)ziba tokyo
MGS照明設計事務所	(株)JR西日本コミュニケーションズ
遠州鉄道(株)	(株)シミズオクト
(株)オープンスマイル	スズキ教育ソフト(株)
(株)オムニバス・ジャパン	(株)STUDIO4C
(有)カイカイキキ	(株)スペース
(株)カブコン	(株)セガ
(株)京都アニメーション	(株)大和工芸
(株)グッドパッチ	(株)丹青社
(株)ゲームスタジオ	(株)TBSトライメディア
(株)コーエーテクモホールディングス	(株)テクノサイト
(株)コナミデジタルエンタテインメント	(株)DMM.com ラボ
(株)Cygames Pictures	(同)デザイン・アープ
(株)Sun Asterisk	東映アニメーション(株)

(株)TOKAI	鈴与システムテクノロジー(株)
(株)東急設計コンサルタント	富士ソフト(株)
トランスコスモス(株)	ポリゴンマジック(株)
(株)ドワンゴ	(株)ホンダテクノフォート
(株)ナビタイムジャパン	(株)MIXI
パナソニック映像(株)	ヤマハモーターエンジニアリング(株)
(株)ビーエーワックス	(株)ユークス
(株)フジヤマ	(株)ランドマック
(株)ブレックス	(株)グッドパッチ
(株)タカラトミーアーツ	フェンリル(株)

その他サービス業

磐田商工会議所	(株)Teable
(株)オリエンタルランド	テクノリサーチ(株)
(株)ジー・コミュニケーション	(株)パソナグループ
四季(株)	ポラス(株)
(公財)静岡市文化振興財団	

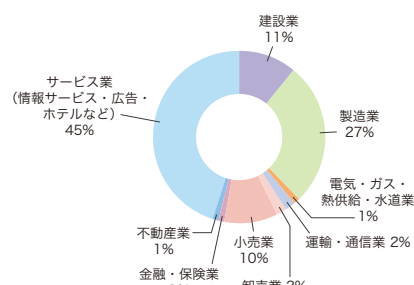
公務

静岡県警察本部	静岡市役所
愛知県警察本部	尼崎市役所
伊東市役所	神戸市役所
掛川市役所	豊橋市役所
浜松市役所	国税専門官

大学院進学

京都芸術大学	筑波大学
京都工芸繊維大学	東京藝術大学
慶應義塾大学	東京都立大学
静岡大学	東京造形大学
静岡文化芸術大学	名古屋市立大学

就職データ



(2025年度実績)

教員紹介

デザイン学科

岩崎 敏之 IWASAKI Toshiyuki



教授/
デザイン学科長
構造デザイン
アイデアを形にするために構造は不可欠です。建築のみならず、すべてのデザインに通じる構造の考え方を伝授します。

植田 道則 UEDA Michinori



教授
建築とインテリアの空間デザイン
日本の美意識が育んできた内外空間デザインを、インタラクティブな発想を併いながら、探求しています。

小川 直茂 OGAWA Naoshige



教授
グラフィックデザイン/
インフォグラフィック
高度情報時代における情報表現と情報伝達のあり方について、視覚的な観点での研究・制作活動に取り組んでいます。

小浜 朋子 OBAMA Tomoko



教授
ユニバーサルデザイン
(UD)/デザインリサーチ
UDの概念をもとに、多様なユーザ・生活環境をあらゆる角度からリサーチし、現実と未来をつなぐデザインアイデアを探求していきます。

Jérôme BOULBÈS



教授
3DCGデザイン/メディア
アート/アートアニメーション
3DCGをメインに、モーショングラフィック、3Dスキャン、リアルタイムレンダリング等の最先端技術を用いた映像作品制作及び研究をしています。

高山 靖子 TAKAYAMA Yasuko



教授
プロダクト・サービス
デザイン
グローバルな視野で人と社会をデザインで結ぶプロダクトとサービスの研究をしています。

中野 民雄 NAKANO Tamio



教授/大学院
デザイン研究科長
サステナブルデザイン/
建築環境・設備
都市・建築から持続可能な社会に向けてエコロジーとエコノミーを両立させたサステナブルデザインを追究しています。

服部 守悦 HATTORI Moriyoshi



特任教授/副学長
トランスポートデザイン/
プロダクトデザイン
クルマを中心に移動機器のデザインを研究しています。次世代モビリティの普遍性と革新性について一緒に考えましょう。

荒川 朋子 ARAKAWA Tomoko



准教授
テキスタイル/
繊維造形
「繊維」から導き出される、造形の表現性と可能性、その広がりや奥深さに強く惹かれ研究活動をしています。

小川 和孝 OGAWA Kazutaka



准教授
トランスポートデザイン/
プロダクトデザイン
日本が世界に誇るプロダクトデザインは、新たな時代への変革期を迎えようとしています。一緒に未来を考えていきましょう。

小田 伊織 ODA Iori



准教授
木工芸/漆芸
日本の伝統技法を用いて、木と漆を素材としたアート作品や日常的な器などを幅広く制作し、造形表現を探求しています。

新妻 淳子 NIITSUMA Junko



准教授
日本伝統建築
日本の伝統建築と近世建築普請活動に関する研究をしています。伝統建築から直に日本の意匠や技術を学び新たな創造を目指します。

宮地 良治 MIYACHI Yoshiharu



准教授
インターフェイスデザイン
(UI/UXデザイン)
生活者視点のUXデザインで課題を捉え、製品やサービスの使いやすさを体感できるUIデザインの制作・研究を行っています。

倉澤 洋輝 KURASAWA Hiroki



講師
グラフィックデザイン/
エディトリアルデザイン
美術館などで開催される美術工芸領域の展示会を、グラフィックデザインによってその魅力を広く伝えることを実践しています。

古賀 真弥 KOGA Masaya



講師
金工
金工の伝統技法を基にアート作品や装飾品などの制作を通して、金属ならではの質感や色彩表現を活かした新たな表現方法を研究しています。

佐藤 亜矢子 SATO Ayako



講師
現代音楽/電子音楽/
サウンドデザイン
現代音楽・電子音楽が専門ですが、サウンドスケープ・場所・空間・環境への興味と共に、音に関わる芸術の研究・制作をしています。

王 雪陽 WANG Xueyang



特任助手
現代陶芸
陶芸は、技巧を駆使して個性が表現された独創的な作品を作れることも魅力です。ぜひ一緒に面白い陶芸作品を制作しましょう。

太田 正明 OTA Masaaki



特任助手
木工芸/漆芸
木や漆を中心に社会や暮らしを多角的な視点で捉えて、素材の特性を活かした生活日用品や芸術作品の造形表現を探求しています。

丹羽 あや NIWA Aya



特任助手
グラフィックデザイン/
保存修復
グラフィックデザインの制作・研究を行っています。その他に主に繊維の保存修復の研究も行っています。

根木 隆之 NEGI Takayuki



特任助手
3DCGデザイン/
映像デザイン
映像というコンテンツが持つ力について、3DCGをベースに様々な映像表現の研究・制作を通して、一緒に考えていければと思います。

亀井 暁子 KAMEI Akiko



教授
建築設計/
サステナブルデザイン
建築空間を地域・都市、さらには広域的な視点から捉えるアプローチで、周辺環境と持続的に発展するあり方を探求しています。

かわ こうせい KAWA Cosei



教授
絵本/
イラストレーション
ことばや絵で伝えられる物語を通して、どのように人の心が動かされるのか探究しています。

佐井 国夫 SAI Kunio



特任教授
グラフィックデザイン
グラフィックデザインの役割はビジュアルコミュニケーションであり、新たな視覚表現のための技術と美意識をいかに育てるかを課題として研究しています。

迫 秀樹 SAKO Hideki



教授
人間工学/
エルゴデザイン/
人間中心設計 (HCD)
体格や筋力、嗜好など一人ひとり違う人間の特性を捉える手法や、それを活用したものづくりを研究しています。

花澤 信太郎 HANAZAWA Shintaro



教授
建築設計/
都市デザイン
建築設計と都市デザインが専門分野です。これからの建築や都市空間について一緒に考えてみませんか。

藤井 尚子 FUJII Naoko



教授/
デザイン学部長
テキスタイルデザイン/染色
布を用いてQOL（生活の質）を向上させるデザインを研究しています。一枚の布に広がるデザインの可能性を、一緒に探求しましょう。

的場 ひろし MATOBA Hiroshi



特任教授
メディアアート/
インタラクティブデザイン
新しいテクノロジーを活かしたアートの制作と、システムの使いやすさや使う楽しさの向上の研究を進めています。

和田 和美 WADA Kazumi



教授
メディアアート/
Webデザイン
映像を中心に扱ったインスタレーションやWebサイトなど、インタラクティブな空間を制作・研究しています。

丹羽 哲矢 NIWA Tetsuya



准教授
建築/地域/
景観デザイン
人々が暮らす空間を包括的にデザインしています。多くの人が共有できる建築理念を具体的な空間にする発見的なデザインプロセスが研究テーマです。

百束 朋浩 HYAKUSOKU Tomohiro



准教授
映像学/
映像技術
映像の分野で表現と技術の両面から制作・研究を行っています。総合芸術である映像は科学と芸術の両方を学ぶ必要があると考えています。

松江 幸子 MATSUE Sachiko



准教授
プロダクトデザイン
人を主役に、物やサービスの接点にある物語を深め、生活や社会をより良く美しいものにするデザインを共に探求しましょう。

松田 達 MATSUDA Tatsuo



准教授
建築意匠/
3DCAD/都市計画
建築と都市を連続的に捉え、デザイン・研究活動を行っています。空間の新しい可能性について、共に探求していきましょう。

山本 彩 YAMAMOTO Aya



講師
グラフィックデザイン/
ブランディングデザイン
ブランディングデザインではストーリーを語る事が重要です。デザインを通してより良いコミュニケーションのあり方を探求します。

遠藤 祐輔 ENDO Yusuke



助教
写真/映像/
表象文化
ストリート・スナップの写真表現を軸に、生成AI、監視社会などをキーワードとして映像表現の可能性を探る制作と研究を行っています。

羽島 昂平 HASHIMA Kohei



特任助手
プロダクトデザイン
3DCADでモノのデザインの多様性を研究しています。デザイン・モを形にしていくなびや楽しさを一緒に体感しましょう。

柁井 孝暢 MASUI Takanobu



特任助手
デジタルアプリケーション/
コンピュータグラフィックデザイン
既存のものを再構成し、デジタルと物質の関係を研究しています。試行錯誤しつつ自分の表現を見つけましょう。

松本 里穂 MATSUMOTO Rihoko



特任助手
建築設計/
まちづくり/建築史
建築設計は構想から実現まで長い道のりを要しますが、考え抜いたものが現実立ち上がる瞬間には深い感動があります。その喜びを皆さんと分かち合いたいです。

光延 咲良 MITSUNOBU Sakura



特任助手
鍛金
鍛金技法によるうつわ制作をテーマに研究しています。今の時代に手で作る意味を一緒に考えていきましょう。



文化政策研究科／デザイン研究科

| 定員10名

| 定員10名

大学院

さらなる2年で広がる「文化」「デザイン」の未来像

21世紀は「市民」の時代と言われています。

それは、これからは「政府」「企業」ではなく「市民」が主体となり、自分たちの望む社会を創造していくことを意味しています。

大学院では、市民社会のリーダーに必要な、様々な価値観を尊重しつつとりまとめていく、課題解決の能力を養成します。



外国にルーツを持つ子どもの言語教育を、
理論と実践で支える。

—— 文化政策研究科 2年
出身大学／奈良女子大学
杉山 美樹子

私は、外国にルーツを持つ子どもの学習支援に携わるなかで抱いた、「話せるのに読み書きができないのはなぜか」という疑問を理論的に解明するため、文化政策研究科に進学しました。現在は就学前の幼児を対象に、日本語の音韻認識調査と指導を行い、その教育効果を検証しています。幼年期は母語支援が主流とされるなか、日本語の言語発達支援を早期に行う重要性を、科学的なデータに基づいて提案することが私の研究の核です。

SUACの大学院は、少人数で先生方や図書館のサポートも手厚く、社会人学生でも自身の課題を深く追究できる環境が整っています。学会での口頭発表やNPOの現場での実践を通じ、主観的な支援から客観的・科学的なアプローチへと自身の視座が大きく成長しました。修了後もNPOでの活動を継続し、研究成果を浜松市全体の教育レベル向上に活かしていきたいと考えています。



地域の営みを捉え直し、
愛着を育む建築を追求する。

—— デザイン研究科 1年
出身大学／静岡文化芸術大学
松本 文典

私は地域の風景や人々の生活環境をより良くしたいと考えてSUACのデザイン学部へ進み、さらに専門性を深めるためにデザイン研究科へ進学しました。現在の研究テーマは、人口減少が進む縮退社会における地域の愛着形成です。都市開発を優先する建築ではなく、過疎地域に住む人々が誇りを持ってその土地で暮らし続けられる空間のあり方を、家具から建築まで多様なスケールで検討しています。院生として浜松市内の高架下空間を活用したイベント什器の設計提案プロジェクトを主導するなど、実社会と接点を持つ実践的な学びを継続しています。SUACの大学院は少人数制で先生や仲間との距離が近く、異なる専門分野の学生と意見を交わすなかで、自身の専門を多角的に見直せる環境です。修了後は設計事務所へ進み、利用者の目線に寄り添いながら社会の変化に対応できる設計士を目指します。

現場からの学びを重視した実践的なカリキュラム

文化政策研究科では、専門的な文献研究だけでなく、実践の場でのフィールドワークや調査を重視し、文化・芸術の持つ可能性を可視化・具体化できる人材を育成していきます。院生は以下の3つの研究専門領域から1つを選び、領域横断的で学際的な研究を教員の指導のもと展開していきます。

※文化政策研究科は、2010年度からAAAE（Association of Arts Administration Educators）の正会員となっている大学院です。

Arts and Cultural Management

アーツアンドカルチュラル マネジメント

楽団、劇団、美術館などの民間および公立の施設運営、行政の文化政策、文化産業、文化イベントなどのあり方や可能性に関する研究を行います。

Regional Policy and Management

地域政策マネジメント

まちづくりや地域活性化、コミュニティ政策、自治体改革、行政評価など、未来の地域に必要な活動や政策のあり方、可能性に関する研究を行います。

Glocal Studies

グローバルスタディーズ

グローバル化の影響で、世界的規範や法、地域社会にどのような変化が生まれているのか、そして未来の持続可能な社会のあり方や可能性に関する研究を行います。

進路実績（抜粋）

- (公財)掛川市生涯学習振興公社
- (公財)静岡県舞台芸術センター（SPAC）
- (公財)豊田市文化振興財団
- (公財)名古屋国際センター
- (公財)浜松国際交流協会（HICE）
- (公財)浜松市文化振興財団
- (大)静岡文化芸術大学
- (学)八戸工業大学
- (特非)国際舞台芸術交流センター（PARC）
- (特非)グッドネーパーズ・ジャパン
- (株)大阪市開発公社
- サントリーパブリシティサービス(株)
- 四季(株)
- 静岡鉄道(株)
- 浜松ホトニクス(株)
- (株)北国新聞社
- 静岡県庁
- 静岡市役所
- 浜松市役所
- 【進学】名古屋大学大学院博士課程
- 【進学】一橋大学大学院博士課程

修了生の声

舞台を支える視点が、地域の文化を動かしていく。

SPAC—静岡県舞台芸術センター（制作） 村上 瑛真 さん
文化政策研究科 2024年度修了

入学の動機 学部時代の卒業論文に不完全燃焼の思いが残り、もう一度研究に向き合いたいと考えたことが進学の原因でした。公立文化施設や地域文化について、より丁寧に検証する思考力を身につけたいという思いもありました。少人数のゼミで指導教員から密度の高いフィードバックを受けられる環境は、自分の問いを一つずつ深め、曖昧な部分にも粘り強く向き合ううえで最適でした。研究を通して「構造を捉える視点」と「考え続ける姿勢」を培えたことが、大学院に進んで良かったと感じています。

現在の仕事への活かし方 舞台公演の制作や広報物の編集に携わる中で、大学院で培った「組織の構造を捉える視点」や「多面的に調べ、根拠を持って判断する姿勢」が生きています。多くの関係者が関わる制作現場では、役割同士の関係性を理解し全体を把握する力が求められます。また、広報業務においても、研究で身につけた情報整理やリサーチの思考がそのまま役立っています。



カリキュラムの特徴

01

基礎科目

修士論文の構想づくりを進めるための「文化政策研究の方法」と、修士論文の仮説をフィールドワークや現場での調査を通して複数の教員と共に考察していく「アクションリサーチ基礎」「リサーチワークショップ」があります。

02

基幹科目

各分野の概論的な知識を学び、学際的な系譜を学ぶための「領域横断科目」と、「アーツアンドカルチュラルマネジメント」「地域政策マネジメント」「グローバルスタディーズ」に関係した専門的な内容を学ぶ「専門科目」があります。

03

演習科目

演習Ⅰ(1年目)と演習Ⅱ(2年目)から構成されています。演習Ⅰは異なる教員による2つを履修し、領域横断的に学びます。演習Ⅱはさらに1名の教員の本格的指導のもと、論文を完成させていきます。また研究科内での発表会の機会もあります。

03

修士論文

演習科目

- 演習Ⅰ
- 演習Ⅱ

02

基幹科目

- アーツアンドカルチュラルマネジメント専門領域の科目
- 地域政策マネジメント専門領域の科目
- グローバルスタディーズ専門領域の科目

01

基礎科目

- 文化政策研究の方法
- アクションリサーチ基礎
- リサーチワークショップ

修士論文(例)

- バリの文化政策と舞踊家の語りにもみるレゴン舞踊様式的确立と継承
- 地方都市における洋楽受容と日露戦争—鹿児島県を中心に
- 地域志向型劇団の可能性と課題—地域との関係性に注目して—
- 浜松地域における中小ピアノメーカーの軌跡—アトラスピアノ製造を事例に—
- 呉市例大祭の動態的研究—歴史的変遷と社会的役割の変化—
- バングラデシュのナショナル・アイデンティティ形成
- 中国人アートマネジメント人材のキャリア—日本留学経験者に着目して—
- 芸術政策を巡る合意形成とローカルアーツエージェンシー—ポートランド市の芸術税とパブリックアートプログラムに着目して—
- 静岡県浜松市の在日ブラジル人第2世代のメンタルヘルスをめぐって
- トランスナショナルなコンテンツを持つ可能性—日本バラエティ番組に関する対立と調和—
- An Ethnographic Study of Aging Japanese Brazilians in Japan: Reimagining Home Abroad through the Practices of Saudade
- クラシック音楽祭におけるオーセンティシティの形成と変容—木曾音楽祭の事例から—

※修士論文は静岡文化芸術大学学術リポジトリをご参照ください。



研究分野

高度情報化、循環型社会への転換、そして高齢化の進展など、大きく変化する時代環境にあって、デザインに要請される内容は多様化し、デザイナーには専門的な能力が幅広く求められるようになってきました。デザイン研究科では、そのような社会的要請に応えるために、皆さんがこれまでに身につけたデザインあるいはその他の分野の専門性をベースにして、より高度なデザインの力を磨くための実践的な研究の場を提供します。

製品デザイン
立体造形 プロダクトデザイン
鍛金 デザイン方法論
彫刻 パブリックデザイン 地域デザイン
金属造形 インダストリアルグラフィックス 社会・医療システムデザイン
クラフトデザイン ファインアート 産業デザイン振興 地域産業デザイン
デザインマネジメント 社会デザイン
パッケージデザイン 地域連携
ブランド戦略 産学官連携 エルゴデザイン
VI 計画 感性マーケティング手法 生理人類学 デザイン論
商品イメージ戦略 人間工学

教育工学
e-ラーニング グラフィックデザイン
Web ベースラーニング
キネマティクス ヒューマンインターフェイスデザイン
CG アニメーション Web デザイン インタラクションデザイン
デジタル映像表現 モーショングラフィックス
映像企画演出 スケッチング CAD デジタル造形
音楽情報科学
メディアアート 感性情報処理
HCI

インクルーシブデザイン
建築人間工学 ユニバーサルデザイン
建築構造計画
建築安全計画 構造デザイン
建築計画 建築デザイン
環境・設備デザイン 建築設計 建築実務
ランドスケープデザイン 空間デザイン 都市設計
都市デザイン 都市計画

進路実績 (抜粋・50音順)

- 愛知県庁
- 旭化成ホームズ(株)
- (株)一条工務店
- 運城幼児師範高等専科学校 (中国、教員)
- 柏木工(株)
- カワサキモーターズ(株)
- コイズミ照明(株)
- (株)産業編集センター
- (株)GKテック
- ジェイアール東海建設(株)
- (株)シャンソン化粧品
- GTS協同組合
- (株)セガ
- ダイハツ工業(株)
- チームラボ(株)
- 中央コンサルタンツ(株)
- (株)電通
- (株)乃村工藝社
- (株)博報堂プロダクツ
- 浜松市役所
- 林テレンプ(株)
- (株)日立建築設計
- 富士通(株)
- ブラザー工業(株)
- (株)ポークス
- 三井デザインテック(株)
- 三菱地所レジデンス(株)
- 三菱電機住環境システムズ(株)
- (学)トキワ松学園 横浜美術大学 (教員)
- 【進学】筑波大学大学院 (博士課程)

修了生の声

触れる感性が、デザインの可能性をひらいていく。

カワサキモーターズ株式会社 (CMFデザイナー) 小林 遥伽さん
デザイン研究科 2024年度修了

入学の動機 学部で染織を学ぶ中で、技法や素材への理解をさらに深めたいという思いが強まり、大学院進学を決めました。染織表現を突き詰めるには、時間を確保して研究に集中できる環境が必要だと感じていたためです。学内にギャラリーがあり、作品を発表しながら研究を進められる点も魅力でした。染織の技法を体系的に掘り下げ、作品としてより高い質を目指したいという思いが、進学を決めた理由です。

現在の仕事への活かし方 大学院では染織を中心に学び、色と素材に丁寧に向き合う姿勢を身につけました。狙った色を出すための配合調整や煮込み時間の調整、素材による発色の違いなど、試行錯誤を重ねてきました。こうした色や素材を深く観察する力は、現在のCMFデザイン(※)業務に直結しています。色板や素材サンプルを見る際の感覚や、質感と色の組み合わせが生む印象の分析など、大学院で培った経験が仕事の基盤になっています。



※CMFデザインとは、色 (Color)、素材 (Material)、仕上げ (Finish) を通じて、製品の質感や世界観をつくり出すデザインのこと

カリキュラムの特徴

デザイン研究科のカリキュラムは3つの要素で構成されています。

01

特論科目

各デザイン分野に対応した少人数制の専門科目により構成されます。学生は、各特論科目の履修を通じ、高度な専門知識の習得を図ります。また、学際的な研究能力を高めるために分野を横断する科目履修を基本とします。

02

特論演習科目

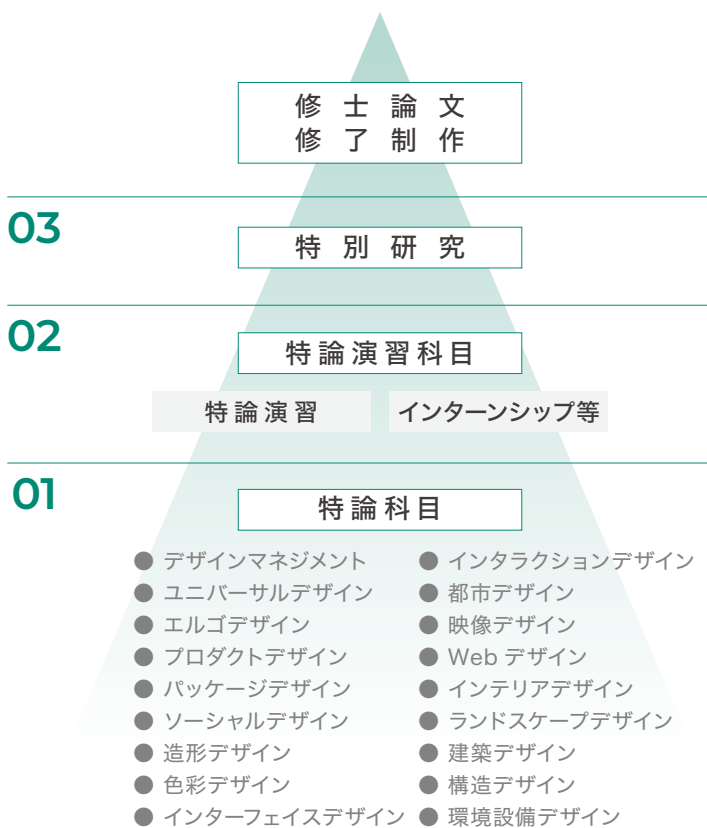
特論演習やインターンシップ等により構成され、特論科目の学修内容を深化・発展させるとともに、実践的な能力を身につけます。特論演習は各特論科目に対応して開講され、学生は、各自の研究計画に沿って科目を選択して履修を進めます。

03

特別研究

指導教員の指導のもと、大学院在学期間を通して研究活動を推進し、その成果を修士論文または修了制作としてとりまとめ、2年次後期に提出します。

デザイン研究科において、所定の単位を修得すれば、一級建築士免許登録要件の実務経験2年として認められます。



修士論文・修了制作テーマ (2025年度実績)

- 一富士市の魅力を発信するデザイン手法の提案（富士市に伝わるかぐや姫伝説を認知向上のメインコンテンツとする）
- コンテキスト指向を用いた「成長するポートフォリオ」の構築手法～WordPressのヘッドレス化による、個人制作資産の長期的運用と多面的展開～
- 静岡県の場所性から構築する住環境デザインの研究
— 県西部・新居地区を対象とした、生業の場を伴う住空間の設計 —
- 自然と共存するための「防災スタイル」を日常に取り入れた教育施設に関する研究
- 建築への風景の取り込み方に関するデザインアプローチの研究
- 光害問題に焦点を当てた子供向けデジタル絵本に関する研究
— デジタル絵本と紙絵本の光害認識促進効果の比較検証 —
- 藍文化の周知における文化体験空間の提案
— 新たな藍体験に資する布による喫藍空間を事例に —
- 誰もが心から安心できる住宅
— 耐震診断に焦点をあてた一般向けツールの制作 —
- 燕三条地域の地場産業における認知向上のためのコミュニケーションデザインの研究



※修士論文・修了制作要旨は静岡文化芸術大学学術リポジトリをご参照ください。



JR浜松駅から
徒歩約15分

JR 浜松駅

SUAC

01 出会いの広場



2階にありながら人工地盤により緑化された、学生と市民の憩いの広場。各施設とつながる、大学の中心的スペースです。

02 創造の丘



浜松市内が一望できる屋上庭園は、まさに都会のオアシス。山の尾根、波のうねりを思わせる緩やかな起伏が印象的です。

すべての人にやさしい、アクセシブルな自由空間 ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、能力の如何にかかわらず、すべての人が利用できるようにモノや空間をデザインするという考え方です。あらかじめ多様な人々の利用を想定し、アクセスを可能にしておく配慮が必要とされています。本学では、機能性と審美性を備えた、さりげなく、美しく、できる限り多くの人のアクセスを可能にするユニバーサルデザインを目指しています。



多機能型トイレとサイン

トイレの種類は、男性、女性、多目的の3種類。各々の違いを識別できるよう、入口には手が届く高さで点字を設置しています。



音声でも誘導する案内サイン

案内サインは、大学カラーのブルーを基調に、日本語と英語で表示しています。点字案内板も学内11カ所に設置され、音による誘導も行っています。



ゆったりとした廊下や階段

廊下も階段も幅が広く、ゆったりとすれ違えるよう設計されています。廊下は無駄な凹凸がなく、階段は踏み面を広くとり、勾配も緩やかです。



ユニバーサルデザインの理念をもとに、
緑と共生する都市型キャンパスです。

03 体育館



アリーナも備えたバスケットコート2面分の広々とした体育館は、隣のトレーニングルームと合わせて授業や運動系クラブ・サークル活動にも使われています。

04 ギャラリー



大学西側学園通りに面したガラス張りのギャラリーは、185平方メートルのスペースで、24枚の移動式の展示ウォールにより自由なレイアウトが可能です。年間を通じて、市民の方々にも楽しんでもらえるいろいろな展覧会などが開かれています。

05 大講義室



いわゆる階段教室の講義室で、219名を収容可能。AV機器を完備し、プレゼンテーションの場としても適しています。

06 講堂



603名を収容できる講堂は、ブラウン系色で統一され、落ち着いた雰囲気を出しています。大学の行事、イベントやセミナー、学生の発表の場として利用されています。

07 研究棟



教員研究室が集まる12階建ての建物。研究室訪問にはアポイントメントが必要です。

08 学生ラウンジ



09 購買



10 学生食堂



※購買と学生食堂は静岡文化芸術大学生生活協同組合が運営しています。



教育・研究を支えるセンター

図書館・情報センター

学生の主体的な学びや教員の調査研究を支える「知の拠点」として、所蔵する資料とネットワーク上の情報をもとに、多種多様な学修・調査研究に活用できる環境が整備されています。

学術情報の収集と提供

約28万冊の図書と約1,700タイトルの新聞・雑誌、約4,500点の視聴覚資料や各種オンラインデータベースを備え、学生、院生、教員の調査研究活動を支援します。カウンターでは専門スタッフによるレファレンスを行い、学内外の学術情報にアクセスするための相談も受け付けています。

学内情報ネットワークの構築

学生・教職員の情報環境を整えるため、学内に無線LAN（Wi-Fiアクセスポイント）を設置しています。

図書館・情報センター
Web サイトへ



【メディアステーション～“知の拠点”のランドマーク】
ノート PC やタブレット端末により手軽に情報検索が行え、自由度の高い家具配置によりグループワークなどのアクティブラーニングが可能なエリアです。

国際交流センター

グローバルな視野と地域の視点を併せ持つことにより、多文化を理解し、世界の人々と積極的に関わることができる人材育成の支援を行っています。

留学支援

留学を希望する本学学生のための説明会の開催や留学への支援をはじめ、本学で学ぶ外国人留学生を対象にした支援イベントを実施しています。

多文化共生への取り組み

海外の交流協定校との交流事業の促進や多文化共生に関する学生の活動への支援など、グローバルなプロジェクトを推進します。



留学に関する情報は
Web サイトへ

文化・芸術研究センター

学部・研究科の連携による研究活動を推進するとともに、学術・文化芸術に関わる研究成果の情報発信を行っています。

教員特別研究の支援

教員特別研究費制度のもと、教員の積極的に学際的な研究活動を支援し、2学部との連携を推進しています。

研究成果の発信

研究成果発表会や静岡文化芸術大学学術リポジトリ、研究紀要で公表し、行政機関や研究機関の方々へ広く発信しています。



文化・芸術研究センター
Web サイトへ



学術リポジトリ
Web サイトへ

地域連携センター

文化やデザインに関する本学の知見を活かした産業振興や地域づくりのため、産学官民の連携を進めています。

地域・産学官連携の推進

産学官民からの受託事業を積極的に受け入れ、研究成果やプロジェクトとして地域に還元しています。

公開講座の開催

社会的に関心の高い事項に関する本学の知見や、本学が重点的に取り組んでいる学術テーマについて、公開講座として地域に発信しています。

イベント・シンポジウムの開催

本学の教育・研究の成果を産官学各界および広く地域の皆様にご理解いただくことを目的として、展示、ワークショップ、セミナーなどの各種イベントや、様々な研究分野に関わるシンポジウムなどを支援・開催しています。



地域連携センター
Web サイトへ



浜松と関わりの深いブラジルについて、特産であるコーヒーをテーマとした講演や展示、日系ブラジル人の歴史に関する劇の上演など、多彩なプログラムからなる国際交流イベントを開催。



大学生チームが英語のプレゼンテーションを披露し、実際の企業の問題に対処するためのアイデアを発表するYBM (Young Business Masterminds) に参加。



【研究成果の地域への還元】教員特別研究における研究成果を地域に還元するため研究成果発表会を開催。



【研究成果物の公開】静岡文化芸術大学学術リポジトリでは、研究紀要、ワーキングペーパー、教員特別研究費及びイベントシンポジウムの成果を学内外に向けて公開。



【受託事業】第10回静岡国際オペラコンクールのポスターデザインを、教員指導のもと、学生がビジュアルコンセプトから提案・制作。約半年にわたるプロセスを経て、最終的にコンペティション形式で採用作品を決定。



【公開講座】静岡県民にとって身近な「お茶」をテーマに、歴史・文化・デザインといった本学ならではの視点から多角的に話題を提供。また、地元自治体の職員を招き、茶業の現状についても解説。

国際交流

留学経験者の声



多様な支援の現場を体験し、

寄り添う教師像が明確になった。



オーストラリア
(パース)

3年次 10ヵ月間 語学学校およびTAFEへ留学
文化政策学部 国際文化学科 3年 浜松市立高等学校 出身
加茂 由衣

Q.留学までの経緯を教えてください。

中学時代から漠然と抱いていた海外への憧れが、現実的な目標に変わったのはSUACに入学してからでした。英語教員の免許取得を目指す中で、語学力を高めるだけにとどまらず、英語というツールを使って自分の興味がある専門分野を学びたいという強い思いが芽生えたのです。同時に、将来教壇に立つ自分を想像したとき、不登校などの課題を抱える子どもたちにどう向き合うべきか、自分なりの答えを見つけ出せるかという不安もありました。教師としての専門性に加え、現場で活かせる自分だけの強みが欲しい。その答えを求めて、私はオーストラリア・パースへの留学を決意しました。

Q.留学中に得たもの、成長したと感じたことはありますか？

職業専門学校TAFEでソーシャルワークの基礎資格を取得しました。英語を母語とする学生に囲まれた授業は過酷でしたが、議論を整理する役割を担うことで自分らしさを発揮することができました。ユースセンターでは社会全体が子どもを支える仕組みを経験し、私の教育観の大きな軸となりました。課題を抱える生徒の小さな変化にいち早く気づき、寄り添える教師になりたいという目標がより強固になりました。



イタリアのデザインに触れ、

デザインの視野が広がった。



イタリア
(ボローニャ)

3年次 1ヵ月間 ボローニャ大学へ短期留学
デザイン学部 デザイン学科 3年 東京都立成瀬高等学校 出身
坂谷 愛依

Q.留学までの経緯を教えてください。

デザイン学科で学び始めてから、「視野が狭く、日本的な価値観にとらわれている」という指摘を受け、より広い視点でデザインを学びたいと考えるようになりました。そんな中で、大学から案内されていたイタリア短期留学プログラムを思い出しました。海外のデザイン文化を実体験できること、奨学金制度など大学のサポート体制も整っていることに魅力を感じ、「現場を見て学ぶ」第一歩として挑戦を決めました。

Q.留学中に得たもの、成長したと感じたことはありますか？

最も大きな学びは、語学力だけに頼らず「伝えようとする姿勢」がコミュニケーションを前に進めるということです。グループワークでは翻訳する余裕がなく、自分の言葉で伝える必要がありましたが、仲間が理解しようとしてくれた経験が印象に残っています。また、歴史ある街並みと現代生活を調和させるイタリアの価値観や、自然の形を生かすデザイン手法に触れ、日本とは異なる視点を得ました。現地での学びは、現在の制作にも生かされています。

留学への支援

本学学生の留学支援のために

- SUAC奨学金制度
- 日本学生支援機構による奨学金制度の大学認定枠
- 海外協定校で取得した単位の本学卒業単位への認定

海外からの留学生支援のために

- 単位互換、留学生宿舍の提供等【交換留学生】
- 授業料減免制度【私費留学生】
- 留学生交流会

派遣留学生危機管理サービス

本学主催の留学・語学研修生には、指定の海外旅行保険を用意しています。これにより、海外での万一の事件・事故への対応力を高め、迅速なサポートを可能にします。備えを万全にして、充実した留学生活にできるよう環境を整えています。

世界に広がる留学先

本学の基本理念である「国際社会に貢献する開かれた大学」の実現に向けて、海外の多様な大学と交流協定を結び、様々な交流事業を展開してグローバルに活躍できる人材の育成を目指しています。



海外協定校（18校）（2026年3月現在）

 <p>フィンドレー大学 /アメリカ 1882年に開学し、現在は経営学部・教育学部・医療学部・教養学部、薬学部、理学部の6学部からなる総合大学。オハイオ州に位置し、学生数約4,000人、地域との結びつきが強く、留学生に対するサポート体制も充実しています。</p>	 <p>イズミル経済大学 /トルコ 2014年より産学共同国際ワークショップで交流を深め、2015年に交流協定を締結しました。イズミル経済大学（2001年創立）は、2大学院、7学部、2専門学校からなる総合大学で、英語で授業を行い、外国籍の教員が多数在籍する国際色豊かな大学です。</p>		
 <p>ブルゴーニュ大学 CIEF /フランス ブルゴーニュ大学は、1722年創立、フランスのブルゴーニュ地方に5つのキャンパスを持つ国立総合大学で、学生数30,000人、教員数4,000人を数えます。国際フランス語センターは、ディジョン市のメインキャンパス内にあり、大学の学部に対応する一機関として毎年3,000人以上の留学生を受け入れています。本学は2011年から語学研修学生の派遣を行っています。</p>	 <p>ボローニャ大学 /イタリア 1088年の創立で「世界最古の大学」とも言われている国立の総合大学です。イタリアのエミリア・ロマーニャ州の州都であるボローニャ市にあり、在籍学生数は10万人を超えています。アートマネジメント研究の分野においては、総合芸術学科（1970年創立）が先進的研究拠点となっています。</p>		
<p>アイルランガ大学/インドネシア</p>	<p>ウェールズ大学トリニティ・セント・テイビッド/イギリス</p>	<p>ウダヤナ大学/インドネシア</p>	<p>華東師範大学/中国</p>
<p>国立高等装飾美術学校/フランス</p>	<p>国立台湾師範大学/台湾</p>	<p>サザンクロス大学/オーストラリア</p>	<p>サンパウロ大学/ブラジル</p>
<p>浙大城市学院/中国</p>	<p>ダッカ大学/バングラデシュ</p>	<p>湖西大校/韓国</p>	<p>ルール大学ポッフム/ドイツ</p>
<p>ワルシャワ美術アカデミー/ポーランド</p>	<p>BESIGN（コートダジュール大学）/フランス</p>		

語学研修

実体験を通じて異文化への理解を深めることは、真の国際人としての感性を養う上で、欠くことのできない条件です。本学では世界に通じる人材育成を目指して、世界各国への研修を実施するなど、語学研修の充実に努めています。（毎年プログラム内容を見直しています）

2025年度 語学研修先

- | ビクトリア大学/カナダ：英語
- | ブルゴーニュ大学CIEF/フランス：フランス語
- | バンガー大学/イギリス：英語
- | 国立台湾師範大学/台湾：中国語
- | アテネオ大学ダバオ校/フィリピン：英語
- | CCELクライストチャーチ/ニュージーランド：英語

海外留学プログラム

本学では多くの学生がグローバルな視野やスキルを培えるよう、多彩な留学プログラムを提供しています。

海外日本語教育インターンシップ

実施期間／2025年9月14日～9月25日（12日間）

場 所／浙大城市学院（中国）

海外の日本語教育の現場で授業見学・授業補助・教壇実習を体験するプログラム。2025年度は本学と交流協定を締結している浙大城市学院（中国）で実施しました。本プログラムは、様々な背景・学習動機を持った学習者がどのように日本語を学んでいるかを知り、その後の日本語教員養成課程での学びに繋げることを目的としています。本学からは国際文化学科2,3年生（日本語教員養成課程履修者）が参加し、授業見学・アシスタント・教育実習などを行いました。観光・文化体験も経験し、プログラムを通して現地の文化を学ぶとともに学生交流の機会を得ました。



イタリアンデザインサマースクール

実施期間／2025年8月22日～9月7日（17日間）

場 所／ボローニャ大学およびベルティノーロ研修センター（イタリア）

本学と交流協定を締結しているボローニャ大学（イタリア）のデザインサマースクール。世界最古と言われるイタリアのボローニャ大学にて、デザインを学びます。世界各国から参加者が集まり、授業やメンバー間のやりとりは英語で行われました。本学からはデザイン学科の学生が参加。授業は主に座学、見学、プロジェクトワークに分けて行われ、トスカーナ地方での伝統工芸見学や、ランボルギーニ、フェラーリなど車産業の見学を通じて、デザインの歴史や製品の進化を深く理解しました。3D CADでのボトルデザインや、カトラリーやキッチン用品などのデザインにも挑戦し、実践的な学びの場となりました。17日間という限られた時間でしたが、参加学生は、共に高め合える仲間との出会いや新たな文化と価値の発見など、海外に赴いてこそできる様々な経験をすることができました。



国際交流イベント

学内においても、多文化に触れる機会として国際交流イベントを開催しています。2025年度は、日本・ブラジルの外交関係樹立から130年の節目の年であることから、「SUAC Brazil Week」を開催しました。約1週間にわたり、ブラジルに関する講演、留学報告会や文化体験、キッチンカー販売等の各種イベントが実施されました。

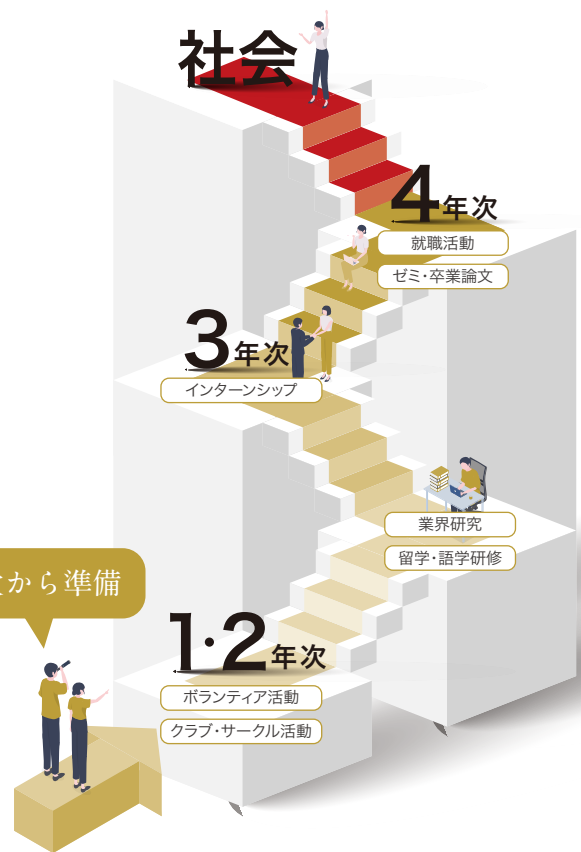


キャリアサポート

就職支援

学生生活を通して、将来の夢や希望が実現できるよう、就職ガイダンスやセミナー、資格取得のための講座など、様々な就職支援行事を行っています。

将来を見据えた視点で1年次から準備



	1年次・2年次	3年次	4年次
		授業・研究・制作 サークル アルバイト ボランティア	
就職活動		自己分析 業界研究 企業研究 エントリーシート作成準備 面接練習	企業説明会 志望動機・自己PRまとめ 採用試験 エントリーシート提出 筆記試験 面接・グループディスカッション 内定
		インターンシップ/オープンカンパニー	
就職支援	低学年向けキャリア支援セミナー ポートフォリオ制作ガイダンス (デザイン学部対象)	個人面談 インターンシップ説明会 就職ガイダンス(全学対象) デザイン系就職セミナー 内定者報告会 模擬面接・グループディスカッション講座 個別企業セミナー	就職相談 履歴書・エントリーシートアドバイス 面接練習
		学内企業説明会 資格取得等対策講座	

高い就職実績を支える、手厚いサポート

就職希望者決定率

98.0%

(2025年度 卒業生実績)

個人面談



キャリア支援室職員が3年生全員と個人面談を実施し、希望する業種、職種、勤務地などを確認します。ここで得た情報をもとに、学生が希望する進路実現についてきめ細かなサポートをしています。

就職ガイダンス



就職活動に必要な、進路選定や受験対策などテーマごとに座学と実践をバランスよく組み合わせたガイダンスを年間通して実施し、誰でも無理なく就職活動準備が進むようになっています。

デザイン系就職セミナー



ポートフォリオの作り方、業界・職種別の動向や実技試験など、デザイン職の就職活動特有の傾向と対策について解説し、デザイン学部生の就職活動をフォローします。

学内企業説明会



本学学生の関心の高い企業を中心に採用担当者を招き、会社概要から募集職種、採用試験などについて説明してもらいます。本学OB・OGが参加する機会も多く、生の情報を得ながら参加学生は企業研究を進めています。

資格取得等対策講座



公務員など専門的な対策が必要とされる就職試験に向けたものから、分野に限らず仕事をすることによって有用と思われる資格など幅広い分野にわたって各種の講座を開講しています。

簿記検定試験対策講座

簿記の知識は社会のあらゆる仕事や生活で役に立ちます。この講座では基本的な商業簿記および記帳、決算などに関する実務を学び、日商簿記検定試験の3級合格を目指します。

MOS試験対策講座

オフィス事務のスタンダードソフトであるExcelやWordなどの利用能力を証明する資格試験です。試験合格に向けて受験勉強をすることにより、各ソフトの機能を体系的に習得できます。

ファイナンシャル・プランニング技能検定対策講座

貯蓄計画、投資対策、税金対策など、総合的に資産計画を行う専門家である3級FP技能検定の合格を目指す講座で、金融機関や証券、保険会社を志望する学生に人気があります。

秘書検定試験団体受験

ビジネスシーンに必要な一般常識や接遇・マナーといった分野を学ぶ検定です。基本的なマナーを身につけておけば、就職活動の際にも人事担当者や面接官に好印象を与えることができます。

公務員試験対策

公務員試験対策講座

公務員特有の学科試験について、教養と専門の2講座を開講し、1~2年かけて勉強していきます。料金は市価の約半額と格安で受講できます。

公務員試験直前演習講座

公務員試験を直前に控えた5月から6月にかけて模擬問題を中心とした答案練習を行います。公務員志望学生はこの講座を受講し試験対策の総仕上げを行います。

合格者の声

経験を志に、誰もが安心して働ける社会へ。

—— 文化政策学部 国際化学科 4年 中部大学春日丘高等学校 (愛知県) 出身
中谷 有里

「働く人を守りたい」という使命感の原点は、自身のアルバイトでの経験でした。現場の労働環境改善に直接関わられる、日本で唯一の専門職である労働基準監督官に強い魅力を感じ、3年次の6月から公務員講座での本格的な対策を開始しました。

SUACでは前例の少ない職種への挑戦でしたが、キャリア支援室の存在が何よりの心の支えとなりました。孤独や不安を感じた際も、職員の方々はどうしても忙しい時でも必ず手を止め、親身に相談に乗ってくださいました。一人暮らしでアルバイトを掛け持ちし、複数の資格取得や民間への就職活動も並行するという多忙な日々を最後まで走り抜けたのは、この温かい伴走があったからです。今後は、働く人や事業主に誠実に向き合い、誰もが安心して働ける社会づくりに貢献したいです。辛い時も一人で抱え込まず、SUACの先生や仲間、職員の方々に頼ってください。支えてくれる人たちへの感謝を力に変えれば、合格への道は必ず開けるはずですよ。



合格
労働基準監督官 A

就職内定者からの声



内定先
矢崎総業株式会社

文化政策学部 文化政策学科 4年
静岡県立榛原高等学校 出身
藤田 桃佳

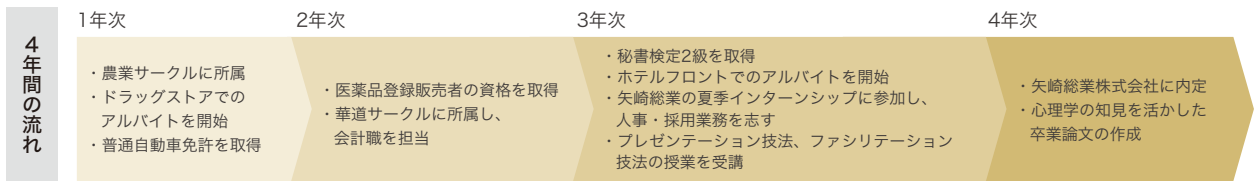
「やってみる」から見つけた、 誰かの挑戦を支える喜び

私は、好奇心の赴くままに幅広い分野を学べる環境に惹かれ、SUACに進学しました。経済学や心理学など多岐にわたる講義を受けるなかで、物事を多角的な視点で捉える力が養われたと感じています。

就職活動の原点は、小学生の頃に経験した矢崎総業の会社見学でした。社員の方々の温かな雰囲気や憧れを抱き続け、3年次の夏季インターンシップに参加。そこで学生一人ひとりに誠実に向き合う人事の方々の姿に感銘を受け、「自分も誰かの挑戦や学びをバックアップする存在になりたい」と、採用業務を志すようになりました。

選考対策では、キャリア支援室を心の拠り所として最大限に活用しました。こだわりを持って作成したエントリーシートを何度も丁寧に添削していただき、面接練習では自分の強みと課題を明確にすることができました。職員の方々が自分のことのように内定を喜んでくれたことが、何よりの励みになりました。

大学生活は、授業だけでなくサークルや人との出会いすべてが成長の糧になります。まずは「やってみる」という挑戦心を大切に、実りある時間を過ごしてほしいです。



内定先
株式会社丹青社

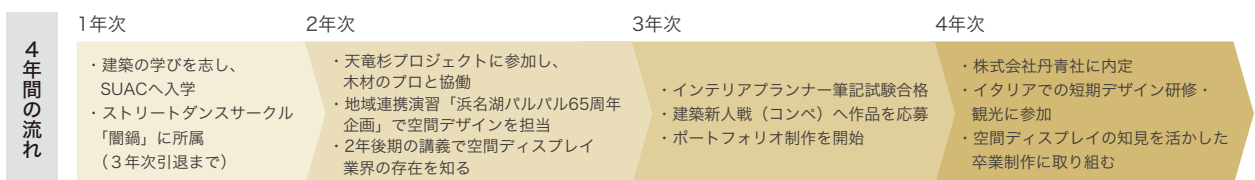
デザイン学部 デザイン学科 4年
静岡県立沼津東高等学校 出身
山下 桃佳

「空間」を通して人と対話する。 自分らしさを追求して掴んだ道。

私は建築の学びを志して入学しましたが、2年次後期の講義で空間ディスプレイという業界を知り、進路が大きく変わりました。構造などのハード面を重視する建築よりも、その場で人がどう過ごし、何を感じるかという「人との距離が近いデザイン」に強い魅力を感じたのです。

就職活動では、自分自身を表現するポートフォリオ制作に最も力を注ぎました。単なる作品集ではなく、見る人が楽しめるストーリー性を意識し、プロジェクトにアイコンックな名称を付けるなど、私という人間が滲み出る構成を追求しました。こうした独自の表現を磨けたのは、SUACの小規模な環境のおかげです。異なる領域の学生や教員との距離が近く、多角的な視点でデザインを捉え直すことができました。

キャリア支援室の方々には、三島からの通学で孤独を感じがちだった時期に、名前を覚えて温かく迎えていただくなど、メンタル面でも大きな支えとなっていただきました。就職活動を「社会に出るための準備期間」と捉え、自分を深く見つめ直したことで、自分が最も輝ける場所を見つけられたと感じています。



取得可能な資格等／文化政策学部

	国際文化学科	文化政策学科	芸術文化学科
1 中学校教諭一種	国語 / 英語	社会	—
1 高等学校教諭一種	国語 / 英語	公民	—
2 図書館司書	○	○	○
3 博物館学芸員	—	—	○
4 日本語教員養成課程	○	—	—
5 社会調査士	○ ※	○	○ ※

※他学科科目（文化政策学科科目）の履習が必要のため、計画的な履習が必要です。

1 教育職員免許状 [中学校教諭一種・高等学校教諭一種]

中学校教諭一種・高等学校教諭一種の免許状を取得できる教職課程を設けています。教職課程を履修し、必要な科目の単位を修得するとともに教育実習（2～4週間）、中学校一種はさらに特別支援学校・社会福祉施設などで介護等体験実習（7日間以上）を行うことが必要です。教員として就職するには教員採用試験に合格することが条件となります。

2 図書館司書

図書館で専門的職務に従事する職員に求められる資格です。司書課程を履修し、必要な科目の単位を修得することで資格が得られます。また、課程科目を履修する中で、大学での学修や仕事上で必要となる、情報・資料・文献の探索方法や組織化などに関する知識や技術を身につけることができます。

3 博物館学芸員

博物館で資料の収集・保管・展示・調査研究のほか、これらの関連事業について専門的事項に携わる職員となるための資格です。美術館、資料館、水族館、動物園、植物園などでも専門職として活躍できます。博物館学芸員養成課程を履修し、必要な科目の単位を修得するとともに博物館実習を行うことで資格が得られます。

4 日本語教員養成課程

日本語教員養成課程は、日本語を母語としない人に日本語を教えるための必要な知識・技能を学び、日本語教師として日本語学習者を指導する高い能力をもつ人材を養成する課程です。なお、本学の日本語教員養成課程は、文部科学省より課程（※）の確認を受けたものであり、同課程を修了する方は、国家資格「登録日本語教員」の登録に必要となる研修、及び試験の一部が免除されます。

※「必須の教育内容50項目に対応した日本語教員養成課程等」及び「平成12年度報告に対応した日本語教員養成課程等」

5 社会調査士

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会現象等を捉えることのできる能力を有する人材に対して、一般社団法人社会調査協会が与える資格です。社会調査士の資格によって、調査報告書を適切に評価したり、自ら調査を企画・実施・分析したりできる一定の能力を有する人材であることをアピールすることができます。

合格者の声

「面白そう」を原動力に。生徒の背中を押せる伴走者へ。

——— 文化政策学部 国際文化学科 4年 静岡県立下田高等学校 出身

佐々木 楓

物心ついた頃から教員に憧れていましたが、教育のことだけを学ぶのではなく、多様な視点を得た上で教育に携わりたいと考え、SUACへの進学を決めました。教職への意志が確信に変わったのは、学習支援教室でのアルバイトです。生徒から「先生が先生ならいいの」という言葉をもらい、一人ひとりの成長を一番近くで支えたいと強く思うようになりました。在学中はアイランドへ計3回渡航しました。特に、自ら現地の高校にアポイントを取って日本語教員アシスタントを務めた経験は、行動することの大切さを教えてくれました。教員採用試験の対策では、休学明けて周囲に同級生がいない不安もありましたが、図書館の一角で共に高め合う仲間や、先生方の手厚い個別指導が大きな支えとなりました。教育学部ではないからこそ、自ら動かなければ現場の空気は知ることができません。私はSUACの先生方のサポートを受け、中学校インターンシップや通信制高校のサポーターなど、多くの現場に飛び込みました。将来は、生徒の「面白そう」という芽を大切に育み、共に行動し続ける伴走者のような教師を目指します。



内定先

静岡県教育委員会
(高校教員)

取得可能な資格等／デザイン学部

	デザイン学科
1 建築士受験資格	○ 建築士受験資格は、所定の単位を修得した場合に得られます。
2 インテリアプランナー登録資格	○ インテリアプランナー登録資格は、所定の単位を修得した場合に得られます。
3 商業施設士補資格（認定校）	○ 商業施設士補資格講習会の受講資格として所定の単位修得が必要になります。
4 社会調査士	○ 他学部他学科科目（文化政策学科科目）の履修が必要なため、計画的な履修が必要です。

1 一級・二級建築士 木造建築士試験 受験資格

建築士は建築物の設計および工事監理を主業務とし、建設会社や建築設計事務所、官公庁などで活躍できます。定められた科目の単位を修得し卒業することで、建築士資格を得るための試験を受験する資格を取得できます。さらに本学卒業後、本学大学院デザイン研究科に進学し、所定の科目の単位を修得すれば、免許登録要件としての実務経験（1年または2年）が免除されます。

2 インテリアプランナー登録資格

インテリアプランナーは、インテリアプランニングにおける企画・設計・工事監理を行うインテリアに関する知識と技術に習熟した専門家のことです。設計製図試験に合格・登録し、所定の実務経験を経ることにより、インテリアプランナー資格を得られます。本学の所定の単位を修得することで、合格後の実務経験が免除されます。また、20歳以上の人に受験資格があり、在学中でも学科試験に合格・登録すると、アソシエイトインテリアプランナーとして登録することが可能です。

3 商業施設士補資格（認定校）

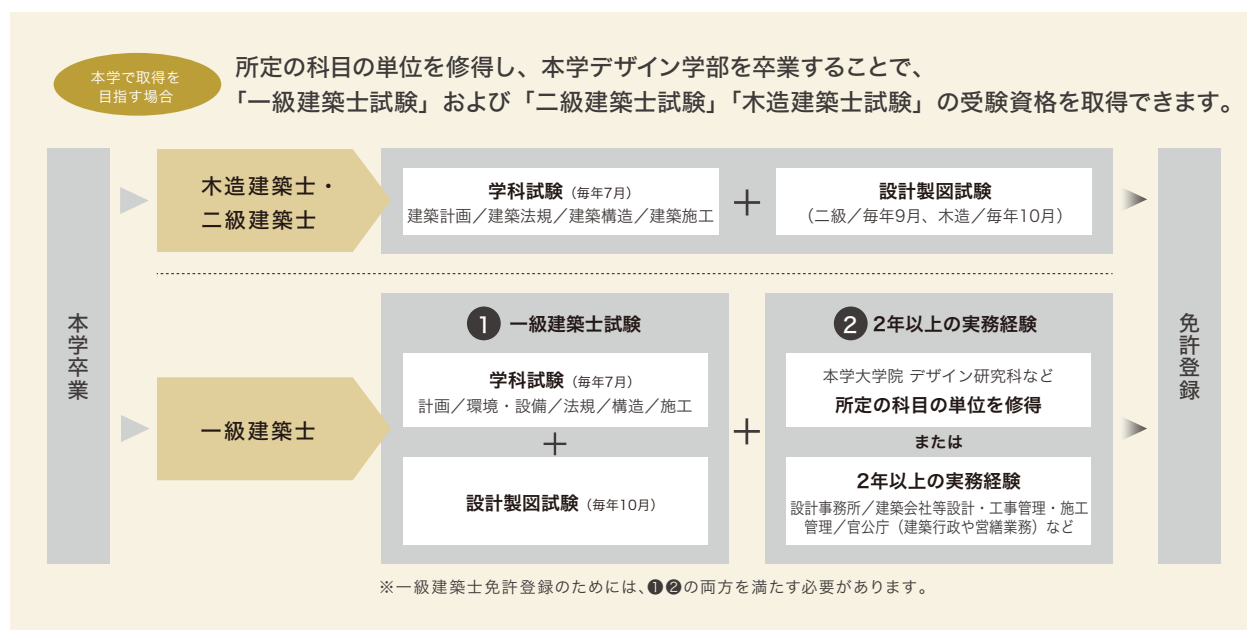
商業施設士補資格とは、商業施設の企画・設計・デザイン・監理などに関する知識を有していることを証した資格制度です。本学の所定の単位を修得し、商業施設士補資格講習会を受講修了することにより資格が取得できます。最短で2年生の段階で商業施設士補を取得することができ、商業施設士補資格取得後は在学中でも商業施設士資格試験にチャレンジすることもできます。

4 社会調査士

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象などを捉えることのできる能力を有する人材に対して、一般社団法人社会調査協会が与える資格です。社会調査士の資格によって、調査報告書を適切に評価したり、自ら調査を企画・実施・分析したりできる一定の能力を有する人材であることをアピールすることができます。

建築士資格取得の流れ

※受験資格や免許登録要件は2026年3月時点のものです。「建築士法」の改正等により変更されることがあります。

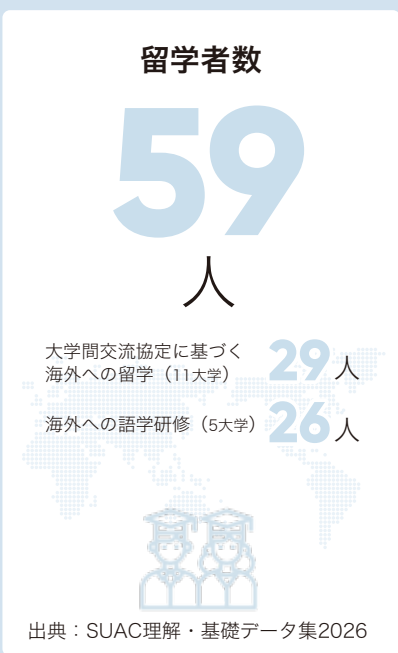
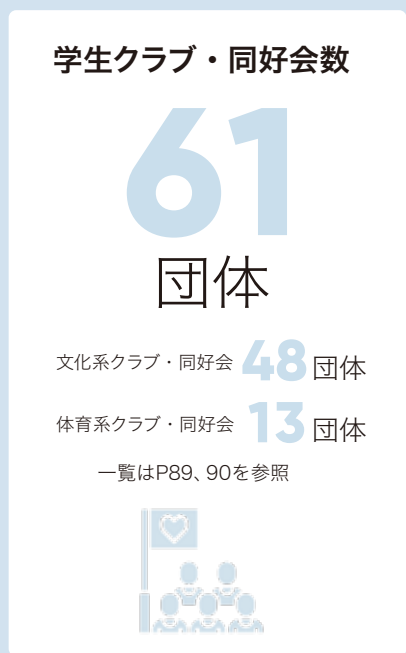
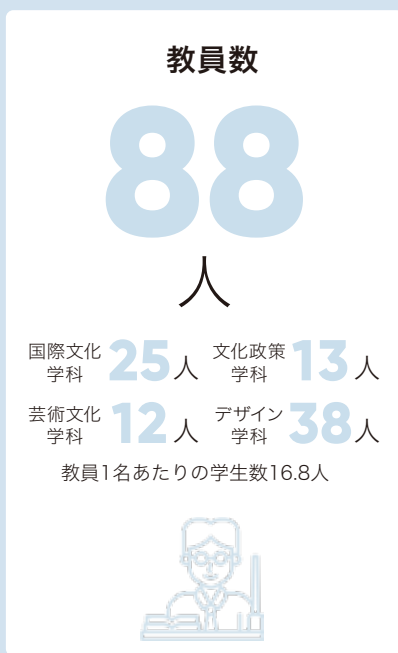


そよぐ風と、
揺れる緑と、
わたしとキャンパス



SUAC CAMPUS LIFE





SUAC生の1日



TAMAKI TSUJINO

辻野 珠妃
文化政策学部 芸術文化学科 1年
岐阜県立加納高等学校 出身

新しい価値観に触れ、 自分の世界が広がっていく。

子どもの頃から絵を描くことが好きでしたが、高校時代に芸術に囲まれて過ごすなかで、作品を作る側ではなく、運営やマネジメントで「芸術を支える側」になりたいと考えようになりました。現在は美術史や文化人類学、社会思想史などの授業に特に興味を持っています。単に作品を鑑賞するだけではなく、当時の社会情勢や人々の価値観と結びつけて考察することで、見え方が広がっていく点に面白さを感じています。

課外活動も充実しており、お茶サークル「suaccha (すあっちゃ)」(非公認)では、地元のカフェと協力してオリジナルメニューを企画するなど、静岡ならではの文化を形にする楽しさを味わっています。学びに積極的な仲間と囲まれ、自分の「好き」を素直に追求できるSUACの環境は、毎日が想像以上の楽しさと発見に満ちています。

一週間のスケジュール(2025年度後期) ※授業名、活動名など

	月	火	水	木	金
1	ディベート技法			美術史(西洋)Ⅱ	
2	社会思想史	英語中級ⅡA			博物館学概論
昼休み	食堂でランチ	食堂でランチ		食堂でランチ	サークル定例会
3	美術史(日本・東洋)Ⅱ	生涯学習と文化	韓国語初級ⅡA	韓国語初級ⅡB	キャリアデザイン概論
4			英語中級ⅡB		文化人類学
5		芸術文化入門			
遠隔授業(オンデマンド)					アートマネジメント概論
放課後	サークル活動		サークル活動		



登校

一人暮らしの自宅から自転車で登校。風を切る朝は爽やかな気分。



授業

美術史の講義。作品の背景を知り、新しい価値観に触れる時間。



昼休み

食堂やラウンジで友人と。推し活の話や課題の相談で弾む会話。



放課後

サークル活動。みんなでゆるりと静岡のお茶文化を楽しむ。

WHAT'S YOUR CHALLENGE?

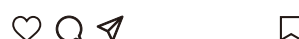
浜松市内で開催される多彩なイベントや地域のボランティア活動に、もっと積極的に飛び込んでみたいです。特にマラソンの給水ボランティアなど、誰かを支える経験を積みたいと考えています。また、春休みにはギリシャやチェコへ海外旅行に行き、神聖な空気感や歴史ある美術に直接触れることが現在の目標です。



#はままつフラワーパーク
#小旅行 #浜松を知る
#桜とチューリップ



#好きなこと #友達と散歩
#日常のひとコマ #楽しい時間
#今度はどこいく



#徳川美術館 #美術館巡り
#勉強のひとつ #経験を積む
#いろいろなところ行きたい



KYOKA HAGIWARA

萩原 杏香
文化政策学部 芸術文化学科 3年
静岡県立焼津中央高等学校 出身

互いの「好き」を尊重し、高め合う。 舞台裏から、誰かの想いを輝かせたい。

高校時代の合唱部でオペラ公演に携わり、演者と裏方の両方を経験したことが私の原点です。華やかな舞台を影で支えるプロの技術に圧倒され、「支える側」の奥深さに魅了されました。現在は永井聡子先生のゼミに所属し、演劇や劇場の管理・運営、プロデュースについて専門的に学んでいます。

サークル活動では音響照明技術研究会「P@tch-code」の照明部員として、数多くの学内イベントを担当しました。他団体の学生と協力して一つの舞台を作り上げるなかで、専門用語を噛み砕いて伝えるなど、相手の意図を汲み取るコミュニケーションの大切さを実感しています。SUACは、それぞれの「好き」を互いに肯定し合える温かい雰囲気があります。ラウンジで友人と語り合い、互いの志に刺激を受ける時間は、私にとって何物にも代えがたい大切なひとときです。

一週間のスケジュール(2025年度後期) ※授業名、活動名など

	月	火	水	木	金
1					
2					文化施設の管理と運営
昼休み					サークル定例会
3	美術史(日本・東洋)Ⅱ	音楽史Ⅱ			劇場プロデュース論
4			芸術文化演習Ⅱ(ゼミ)		会計学
5		アカペラ練習			
放課後	アルバイト	サークル活動	アルバイト		サークル活動



登校

藤枝から電車で1時間。車内は読書や課題整理の貴重な時間。



授業

文化施設の管理と運営を多角的な視点から学ぶ。



昼休み

お昼ご飯を食べながらサークル活動の定例会。



放課後

サークル活動。照明卓を自在に操り、演者を美しく照らし出す。



#美術館で過ごす時間
#大学入学後に広がった趣味
#風景画に惹かれて #クロード・モネが好き
#知識とともに広がる視点



#碧風祭メインステージ #ゴスペルソロに挑戦
#出演もスタッフ業務も楽しむ碧風祭
#みんなの好きが輝く場所
#ゴスペル&アカペラサークルごす



#夏休みに叶えた3泊4日の旅行
#アルバイトで広がった行動力
#憧れのハワイへ #透き通る海に感動
#大学生生活の思い出のひとつ

WHAT'S YOUR CHALLENGE?

4年生からは、SUACの充実した図書館を活用し、専門分野の知見をさらに深めたいです。将来は、広告業界でクリエイターとクライアントの架け橋となる仕事か、演劇・劇場の運営スタッフか、どちらの道に進んでも「人と人の想いを取り持つ役割」を果たせるよう、培ったコミュニケーション力を発揮したいです。

SUAC生の1日



HIROTO IMAI

今井 弘人
デザイン学部 デザイン学科 1年
岐阜県立斐太高等学校 出身

恐れず挑戦し、 自分を表現し続ける。

幼い頃から家づくりなどの「ものづくり」に興味があり、当初は建築分野を志していましたが、友人の影響でデザインの奥深さに惹かれ、1年生からデザインの基礎を幅広く学べるSUACへの進学を決めました。現在は基礎演習を通してデザインの土台を固めつつ、製品CADなどの授業で、自分のアイデアが形になっていく過程に大きな喜びを感じています。

課外活動ではストリートダンスサークル「闇鍋」に所属し、他大学との合同イベントや学外のショーケースにも積極的に参加しています。ダンスを通じて培った社交性や表現力は、デザインにおける「ユーザーの潜在ニーズを探る力」にも通じると実感しています。SUACは、能動的に動く仲間に刺激を受け、失敗を恐れずに新しいことに挑戦できる場所。「何とかなる」という前向きな心で、3Dデータ制作や文具制作など、自分の「やりたい」を次々と形にしています。

一週間のスケジュール(2025年度後期) ※授業名、活動名など

	月	火	水	木	金
1	デザイン思考	中国語初級II A	匠造形概論		写真撮影技法
2	アルバイト			空間デザイン	写真撮影技法
昼休み	アルバイト				
3	アルバイト	静岡学			キャリアデザイン概論
4	アルバイト	視覚表現演習	製品 CAD	中国語初級II B	アルバイト
5	アルバイト	視覚表現演習	製品 CAD	プロダクトデザイン概論	アルバイト
遠隔授業 (オンデマンド)				グラフィックデザイン概論	
放課後	アルバイト		サークル活動		サークル活動



登校

一人暮らしの自宅からキャンパスへ向かう。



授業

デザイン演習。理論が形になる瞬間のワクワク感がたまらない。



ひと休み

空きコマは友人と。学外での活動報告が大きな刺激になる。

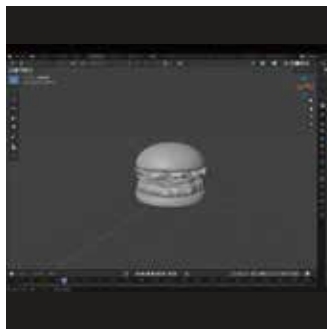


放課後

サークル練習。他大学の仲間と切磋琢磨し、技術を磨く。

WHAT'S YOUR CHALLENGE?

高校時代から温めてきた「オリジナルの文具制作」を、大学の設備を活用して実現することに挑戦しています。現在は3Dデータの作成に注力しており、今後は実際にプリントアウトしてプロトタイプを完成させる予定です。イラストの勉強やソフトの習得にも励み、多角的なスキルを持つデザイナーを目指します。



#モデリング
#目標に向けて



#冬旅行
#楽しい



#ダンス
#卒イベ
#交流



NARIMI EZAKI

江崎 令珠
デザイン学部 デザイン学科 3年
静岡県立浜松工業高等学校 出身

ロジカルに、愛着を形にする。 パッケージデザインで届ける「モノ」の魅力。

高校時代から地元の浜松でデザインを学びたいと考え、落ち着いた校風と卒業制作展のクオリティの高さに惹かれてSUACへ進学しました。現在はグラフィックデザインのゼミに所属し、特に「紙もの」への愛着を活かせるパッケージデザインに没頭しています。単なる装飾ではなく、コンセプトに基づき形状や質感をロジカルに組み立てていく過程に、デザインの神髄を感じています。

課外活動ではグラフィックデザインサークル「けものみち」の部長を務め、学外からのデザイン依頼やコンペの取りまとめ、碧風祭での企画運営などを担ってきました。元々は人見知りでしたが、外部の方との打ち合わせや進行管理を経験するなかで、円滑なコミュニケーション力を養うことができました。自分の「好き」を突き詰め、それを後押ししてくれる環境がSUACには整っています。

一週間のスケジュール(2025年度後期) ※授業名、活動名など

	月	火	水	木	金
1				グラフィックデザイン 演習 A	
2		商品戦略論	総合演習 I (ゼミ)	グラフィックデザイン 演習 A	
昼休み					
3		インダストリアル グラフィックス	総合演習 I (ゼミ)		
4			総合演習 I (ゼミ)		
5			総合演習 I (ゼミ)		
遠隔授業 (オンデマンド)		生体機能論		グラフィックデザイン 概論	
放課後	アルバイト				アルバイト



登校

浜松市内の自宅から通学。一日のタスクを整理しながらキャンパスへ。



授業

グラフィックデザイン演習。教授のズバツとした助言が刺激になる。



ひと休み

友人と課題の進捗確認。客観的な意見をもらうことで、視野を広げる。



放課後

サークル活動や制作。部長としてメンバー対応や企画案を練る時間。



#イベントに参加
#オリジナルグッズの販売 #イラスト制作
#イラストの展示会も開催
#仲の良い友達と企画



#旅行好き #ドライブ好き
#写真撮りがち #きれいな景色好き
#友達や家族とおでかけ



#美味しいもの好き #カフェ巡り
#コーヒー好き #好き嫌いなし
#カフェで課題やりがち

WHAT'S YOUR CHALLENGE?

ゼミでの研究テーマである「五節句を伝える石鹸パッケージ」の制作を完遂させたいです。また、サークル活動で培ったノウハウを活かし、学内で有志によるデザイン展示会を企画することに挑戦しています。卒業後は、大好きな「紙」と向き合える印刷会社やデザイン会社で、実務を通じた社会貢献を目指します。

TURNING POINT

あなたにとってのターニングポイントになったヒト・コトとは？



選んだ道を、正解にする。
一步踏み出す勇気が、
世界を鮮やかに変えた。

近藤 菜
文化政策学部 国際文化学科 4年
東京都立調布北高等学校 出身

私の転機は、受験期に重なった祖父の他界でした。合格を直接伝えられなかった悔しさから、「この大学を選んで良かったと思える時間を自分の手でつくる」と心に決めたことが、私のターニングポイントです。その思いを原動力に、バングラデシュでの少数民族調査や、タイでの10か月間にわたる日本語パートナーズ活動など、SUACならではの経験に挑戦してきました。言葉や文化の壁を越え、現地の人々と対等な立場で関わる中で、一方的に教えるのではなく「共に学び合う」姿勢こそが、多文化共生の本質だと実感しました。現在はタイ料理を通じた日タイの文化交流を研究しながら、卒業後はメキシコで日本語教師として働く準備を進めています。

SUACには、一人ひとりの「気になる」を後押ししてくれる環境があります。選んだ場所を自分にとっての正解にしていく努力が、後悔のない豊かな未来を切り拓いてくれるはずです。



迷ったら、挑戦を。
ボランティアでの出会いが
私の世界を変えた。

夏目 花鈴
文化政策学部 文化政策学科 3年
静岡県立浜松湖南高等学校 出身

私の転機は、2年生の夏に愛媛県西条市の限界集落で経験した、10日間の村おこしボランティアです。それまでの私は、何かに挑戦したい気持ちはあっても、失敗を恐れてなかなか一歩を踏み出せずにいました。しかし、一度きりの大学生活で胸を張れる経験をしたと考え、単身で四国の山奥へ向かう決断をしました。現地での共同生活や過酷な肉体労働を通して実感したのは、地域に暮らす人々の温かさ、まちづくりにおける「相互理解」の大切さです。自分の理想を押し付けるのではなく、地域が何を求めているのかに真摯に耳を傾ける。この姿勢を学んだ経験を原点に、現在は棚田保全に取り組む「引佐耕作隊」や、ゼミでの「関係人口」の研究など、多方面での地域活動へと学びを広げています。SUACは、自分の「わくわく」をどこまでも追求できる場所です。迷いながら踏み出したその一歩が、後悔のない豊かな未来を創ってくれるはずです。



「鑑賞者」から「繋ぎ手」へ。
鑑賞を支える芸術の、
新たな可能性を信じて。

長沼 かほり
文化政策学部 芸術文化学科 4年
名古屋市長名東高等学校 出身

学芸員を目指して入学しましたが、実際の業界の厳しさを知るなかで「自分に何ができるか」を問い直しました。転機は、2年次に履修した南田明美先生の授業です。博物館や美術館は単なる鑑賞の場ではなく、生涯学習の拠点やサードプレイスとして人々の心を支える「社会のセーフティーネット」になり得る。この本質的な役割を知ったことが、私のターニングポイントでした。

また、3年間活動した「ホスピタルアートプロジェクトしずおか」では、制約の多い病院組織で信頼を築き、アートを浸透させる難しさと喜びを学びました。一連の経験から、職種に縛られず、身近なところから人と社会と文化を繋ぐ存在を目指すようになりました。

卒業後は内装ディスプレイ業界で、営業職として文化施設の可能性を追求します。SUACは、自身の「好き」を多角的な視点で磨き、主体的な行動力へと変えてくれる場所です。





手仕事の熱量に惹かれ、
未経験の領域へ。

新村 源太
デザイン学部 デザイン学科 3年
鹿児島県立武岡台高等学校 出身

私の転機は、3年次に専攻を「ビジュアルサウンド領域」から「匠領域」へ変更したことです。当初は本の表紙やアニメ制作などデジタル表現に惹かれていましたが、SUACで多様な技法を体験するなか、心は次第に「手仕事」の魅力に傾いていきました。特に染色を経験した際、布が劇的に変化する手応えと、思い通りにいかない悔しさが追求心に火を付けました。「卒業制作でどちらが生き生きと取り組めるか」を自問自答し、未経験の分野へ飛び込む決断をしたことが私のターニングポイントです。現在は藤井ゼミで、手作業ならではの「ずれ」をデザインに昇華させる表現を研究しています。将来の不安以上に今の熱意を大切に。SUACの柔軟な学びの環境が、私に挑戦する勇気を与えてくれました。
(※2025年度より、専門分野をより自由度が高く横断的に学べるカリキュラムとなっています。)



デザインが持つ、
社会を明るくする力を信じて。

高瀬 詞音
デザイン学部 デザイン学科 3年
静岡県立浜松南高等学校 出身

私の転機は、1年次に参加した「佐久間アートプロジェクト」です。それまでの私は、デザインの価値を「可愛い」「かっこいい」と思ってもらうことだと考えていました。しかし、地域の子供たちと壁画を描き、地域の方々から「街が明るくなったね」と温かい声をいただいたことで、デザインには人の心を動かし社会に貢献する力があると強く実感し、これが大きなターニングポイントとなりました。この経験は新たな挑戦に繋がり、現在は企業のカレンダーデザインを3年間継続して担当しています。お客様のニーズを汲み取りながら、毎月めくるのが楽しくなるような温かみのあるイラスト表現を追求しています。SUACは地域と深く繋がり、実践を通して自分を磨ける場所です。誰かの課題に寄り添い、デザインの力で明るい未来を創れるデザイナーを目指して、これからも妥協のない制作を続けていきます。



一步を踏み出す勇気が、
表現者としての自信に。

藪科 楓
デザイン学部 デザイン学科 4年
静岡県立掛川西高等学校 出身

私の転機は、2年生の時に学内のコスプレイベントに参加したことでした。元々は内向的で、面白いことをしている人を遠くから眺めていることが多かったのですが、活発な先輩の姿に憧れて一步踏み出した結果、人前に出ることや初対面の人との交流への苦手意識がなくなりました。この「自主的に動くことで道が拓ける」という実感を得たことが、私のターニングポイントです。3年次には、モーションキャプチャーを使った撮影プロジェクトにも参加。幼少期から憧れていたダンス映像の制作が自分にもできると確信し、現在はその技術を活かしたミュージックビデオを卒業制作として進めています。SUACは、自分の興味を形にするための環境や仲間が揃う場所です。試行錯誤を繰り返すなかで、失敗を恐れずに挑戦し続ける粘り強さが身につきました。卒業後も、多くの人に楽しんでもらえる作品を創り続けたいです。

クラブ&サークル



サークル (クラブ・同好会)

※2026年3月時点

体育系

スポーツ

- ⑮ バドミントン部
- アルティメットサークル
- ④ バレーボール部
- 硬式テニス部
- 女子フットサル部
- 卓球部
- バスケットボール部
- サッカー同好会「S-LAB」

武道

- 合気道部
- 弓道部

ダンス・舞踊

- ダンス部「URR」
- ストリートダンスサークル「閻魔」
- ⑥ よさこいサークル「浜松学生連 鯉伝羅」

文化系

伝統文化

- 書法倶楽部「彩筆會」
- 着物倶楽部
- 茶道部
- 華道サークル「花籠」
- 文芸かるたサークル

舞台芸術

- ⑫ 音響照明技術研究会「P@tch-code」
- 演劇活動サークル「ecru」

- 演劇鑑賞等活動サークル「鍼灸バラック」
- 舞台芸術創作サークルaiR18

その他の文化芸術

- 放送部「SUAC Broadcast Club」
- Enjoy Arts Project/イベント・ワークショップの企画運営
- 写真同好会「TaP!」
- イラスト・漫画研究サークル「Black or White」
- ゲーム部「WiTH」
- ゲーム制作部「Flap Flag」
- ② 文芸サークル「兎園会」
- 麻雀同好会 和了場
- ⑨ アイドルコピーダンスサークル「しゅわしゅわメロンソーダ」



SUAC CALENDAR

4
April

- 入学式
- ガイダンス

5
May

OUR SUAC HOUR
(学内向け春フェス)

6
June

7
July

納涼祭
(学内向け夏祭りイベント)

8
August

- 前期集中講義

9
September

- 語学研修

10
October

11
November

碧風祭
(大学祭)

12
December

- 後期集中講義 I

1
January

- 後期集中講義 II

2
February

- 後期試験
- 後期集中講義 III
- デザイン学部卒業展

3
March

- 卒業式

デザイン・ものづくり

- プロダクトデザインサークル「COCOON」
- 建築研究会kenken
- BALLOON ARTS
- 映画制作チーム「bf」
- アクセサリー同好会「ロザンヌ」
- けものみち / 2Dグラフィックス作品制作
- 創作サークル「夢現研究会」
- 空間装飾チームmemorable
- studio Hepta / 3Dアニメーション制作

音楽

- 吹奏楽部「SUAC Wind Ensemble」
- 軽音楽部
- ゴスペル&アカペラサークルごす no music, no life
- 弦楽合奏同好会
- ジャズ研究会「BREATH」
- エレクトーンサークル「Tutti」
- ポカロ同好会「connect」
- DJVJぶんげ〜だい
- SUAC 電子音楽研究部「eleMusica」
- 三線同好会「南風（フェーカジ）」

ボランティア(国際・地域)

- CSN浜松 / 子どもの学習支援、イベント運営
- LA-VoC (ラボック) / 中山間地域の活動
- Habitat for humanity Alicia / 国内外の住居問題ボランティア
- りとるあーす / フェアトレード推進
- 観光サークル「COOK+S」
- つながるカフェ / 地産地消・フェアトレード推進
- SUAC 電子音楽研究部「eleMusica」
- 鍵盤ハーモニカ寄付による国際交流推進

その他

- 謎解き研究会【DetEQtive】
- ホラー同好会 幽楽
- SUAC Johnny's Community
- OUR SUAC HOUR運営チーム

大学公認の
学生団体一覧



碧風祭 HEKIFU-SAI

2026年度開催予定日

11/7^土

11/8^日

碧風祭は、学生主体による大学祭です。皆さまのご来場をお待ちしております。



碧風祭2025(2025.11.2~3)開催の様子
主催:静岡文化芸術大学碧風祭実行委員会



カリキュラム一覧

文化政策学部
デザイン学部

- 093 文化政策学部カリキュラム一覧
- 095 デザイン学部カリキュラム一覧
- 097 卒業要件単位数一覧
- 098 全学科目一覧

公式 Web サイトでは
さらに詳しいカリキュラム内容をご案内しています。



大学案内よりさらに詳しいカリキュラムに関わ
るご案内は、公式Webサイト（右記2次元コード）
の「カリキュラム」内の「学部カリキュラム」
をご覧ください。



文化政策学部

2027年度 カリキュラム一覧

人間的素養・基礎力の養成

全学科目

キャリア形成

導入

- 文化芸術体験演習
- 学芸の基礎

情報・データサイエンス

- ICTスキル基礎
- デジタル表現基礎
- データサイエンス入門

教養

- 文学
- 哲学
- 心理学
- 宗教学
- 歴史学
- 文化人類学
- 日本文化論
- 静岡学
- 文明と観光
- ユーラシア文明論
- 法と社会
- 経済学基礎
- 現代の国際社会
- 社会学概論
- 社会調査論

必修外国語

英語

- 英語中級IA・IB
- 英語中級IIA・IIB
- 英語上級IA・IB
- 英語上級IIA・IIB
- マルチメディア英語I・II
- ビジネス英語I・II
- Online English Studies

中国語

- 中国語初級IA・IB
- 中国語初級IIA・IIB
- 中国語中級IA・IB
- 中国語中級IIA・IIB
- マルチメディア中国語

スポーツ活動

- スポーツ活動A・B

総合

- 特別共同授業A～H
- 産官学連携授業A～H

キャリアデザイン

- キャリアデザイン概論
- キャリアデザイン講座
- キャリアデザイン演習

実践演習

- 企画立案演習
- 地域連携演習A・B
- 自主課題演習

情報社会論

- 人権論
- 数学概論
- 科学技術論
- サステナブルデザイン
- 健康科学
- Japanese Cultural Studies
- 音楽と社会
- 芸術と社会
- 色彩・形態論
- 映像メディア論
- 空間デザイン
- デザイン史
- 青年心理学

フランス語

- フランス語初級IA・IB
- フランス語初級IIA・IIB

ポルトガル語

- ポルトガル語初級IA・IB
- ポルトガル語初級IIA・IIB

韓国語

- 韓国語初級IA・IB
- 韓国語初級IIA・IIB

インドネシア語

- インドネシア語初級IA・IB
- インドネシア語初級IIA・IIB

イタリア語

- イタリア語初級I・II
- イタリア語中級I・II

ドイツ語

- ドイツ語初級IA・IB
- ドイツ語初級IIA・IIB

専門領域へのアプローチ

学部科目

文化・芸術

- 音楽文化論
- 演劇文化論
- 視覚芸術論
- 社会思想史
- 市民社会論
- 社会心理学
- 異文化と教育
- 劇場芸術論
- デザイン概論
- 現代デザイン論
- 生体機能論
- 世界建築史

政策・マネジメント

- 文化政策概論
- 経営学
- 非営利セクターの経営
- 地方行政論
- 会計学
- 都市経営論
- アートマネジメント概論
- NPO・NGO論
- 憲法
- 文化政策と法
- 生涯学習と文化
- ジェンダー論
- 多文化共生論
- ユニバーサル/インクルーシブデザイン概論

情報・リテラシー

- 統計学
- 社会科学の方法
- フィールドワークの手法
- プレゼンテーション技法
- ディベート技法
- ファシリテーション技法
- 情報リテラシー論
- 図書館概論
- メディア産業論
- グラフィックデザイン概論

観光

- 観光学概論
- 観光と社会
- グローバル観光論
- 観光と地理
- 観光ビジネス論
- テキスタイル概論
- 日本伝統建築

専門領域へのアプローチ

学科基礎

- 国際文化概論
- 文章表現技法
- 国際文化基礎論
- グローバル・キャリア・デザイン概論
- 英語表現法
- 応用英語 観光英語
- 応用英語 プレゼンテーション英語
- 中国語上級I・II
- フランス語中級IA・IB
- フランス語中級IIA・IIB
- フランス語上級
- ポルトガル語中級IA・IB
- ポルトガル語中級IIA・IIB
- ポルトガル語上級
- 韓国語中級IA・IB
- 韓国語中級IIA・IIB
- ナショナリズム論
- 国際関係論
- 比較文化論
- 応用英語 通訳
- 応用英語 翻訳
- イタリア語上級

国際文化学科

学科基礎

専門外国語

文化政策学科

学科必修

- リサーチ&プランニング基礎
- リサーチ&プランニング応用
- リサーチ&プランニング実習
- 社会学
- 経済学

芸術文化学科

学科基礎

- 芸術文化入門
- 芸術表現A
- 芸術表現B
- 芸術文化基礎A～D
- 芸術文化特講



科目の内容は「シラバス検索」で確認できます

▶▶▶ 「文明観光学コース」はP039、「オプション・スタディーズ」はP040をご覧ください。

専門能力の確立

専門科目

日本・東アジア	<ul style="list-style-type: none"> ●日本文化史 ●日本文学史 ●現代日本語表現 ●日本文学A・B ●漢文学 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本史学A・B ●日本語彙研究 ●日本文学作品研究 ●古文書の調査と読解 ●美術史(日本・東洋)I 	<ul style="list-style-type: none"> ●東南アジアの文化と社会A・B ●中国の文化と社会 ●韓国社会論 ●中国古典学 ●アジアビジネス論 	<ul style="list-style-type: none"> ●東南アジアの歴史 ●韓国文化史 ●現代の東南アジア
地中海・西欧・北米	<ul style="list-style-type: none"> ●近現代の中東A・B ●イタリア文化史 ●フランス文化論 ●ルネサンス文化史 ●古代ギリシア・ローマ文化と社会 	<ul style="list-style-type: none"> ●中東現代史 ●英米文学史 ●西欧・北米文化論 ●英語文学概論A・B 	<ul style="list-style-type: none"> ●イギリス文化論 ●西洋史学A・B ●英語学概論I・II ●音楽史I ●ドイツの思想と社会 	<ul style="list-style-type: none"> ●美術史(西洋)I・II ●英語文化入門 ●地中海地域文化論
多文化共生	<ul style="list-style-type: none"> ●多文化とエスニシティ ●イスラーム概論 ●日英語比較研究 ●文化交流論 ●国際労働力移動論 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本語音声学 ●日本語文法I・II ●日本語教授法I・II ●国際協力論 ●国際機構論 	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な社会 ●フェアトレード論 ●日本語教育特論 ●日本語教育の実践と応用 ●Global Studies: Culture and Society A・B 	<ul style="list-style-type: none"> ●Global Studies: Global Issues ●国際開発論
政策	<ul style="list-style-type: none"> ●政治学 ●法律学 ●行政学 ●行政法 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域計画論 ●地域情報サービス論 ●地域社会論 ●地方財政論 	<ul style="list-style-type: none"> ●創造都市論 ●経済政策論 ●環境政策論 ●地域福祉論 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域観光論 ●都市デザイン論
経営	<ul style="list-style-type: none"> ●経営戦略論 ●マーケティング論 ●地域ビジネス論 ●社会起業論 	<ul style="list-style-type: none"> ●経営財務論 ●産業組織論 ●日本経済論 ●グローバルビジネス論 	<ul style="list-style-type: none"> ●金融経済論 ●地域産業論 ●産業遺産と産業史 ●デザインとマーケティング 	
情報	<ul style="list-style-type: none"> ●広報・広告論 ●マスメッセージング論 ●臨床社会心理学 ●メディア文化論 	<ul style="list-style-type: none"> ●組織心理学 ●地域情報論 ●社会統計分析 ●質的調査法 	<ul style="list-style-type: none"> ●学術情報論 ●地理学 ●地誌学 ●社会理論 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報法学 ●公共デザイン戦略 ●外国語文献研究
政策とマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化政策の理論 ●アートマネジメントA～C ●芸術文化政策の国際比較 	<ul style="list-style-type: none"> ●文化施設の管理と運営 ●文化財保護政策 ●現代社会と芸術文化 		
文化と芸術	<ul style="list-style-type: none"> ●文化と芸術A～D ●現代芸術論A～C ●芸術特論A～D 	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽史I・II ●演劇史I・II ●美術史(西洋)I・II 	<ul style="list-style-type: none"> ●美術史(日本・東洋)I・II ●鑑賞と批評I・II 	
芸術運営の実践	<ul style="list-style-type: none"> ●展示プロデュース論 ●保存と修復 ●舞台運営論 	<ul style="list-style-type: none"> ●舞台技術論 ●劇場プロデュース論 ●デザイン思考 	<ul style="list-style-type: none"> ●空間演出総合計画 	

卒業研究

演習(ゼミ)・卒業論文

演習(ゼミ)・卒業論文・プロジェクト

演習(ゼミ)・卒業論文

文明観光学コース 演習(ゼミ)・卒業論文

デザイン学部 2027年度 カリキュラム一覧

人間的素養・基礎力の養成

全学科目

キャリア形成

導入

- 文化芸術体験演習
- 学芸の基礎

情報・データサイエンス

- ICTスキル基礎
- デジタル表現基礎
- データサイエンス入門

キャリアデザイン

- キャリアデザイン概論
- キャリアデザイン講座
- キャリアデザイン演習

実践演習

- 企画立案演習
- 地域連携演習A・B
- 自主課題演習

教養

- 文学
- 哲学
- 心理学
- 宗教学
- 歴史学
- 文化人類学
- 日本文化論
- 静岡学
- 文明と観光
- ユーラシア文明論
- 法と社会
- 経済学基礎
- 現代の国際社会
- 社会学概論
- 社会調査論
- 情報社会論
- 人権論
- 数学概論
- 科学技術論
- サステナブルデザイン
- 健康科学
- Japanese Cultural Studies
- 音楽と社会
- 芸術と社会
- 色彩・形態論
- 映像メディア論
- 空間デザイン
- デザイン史
- 青年心理学

必修外国語

英語

- 英語中級IA・IB
- 英語中級IIA・IIB
- 英語上級IA・IB
- 英語上級IIA・IIB
- マルチメディア英語I・II
- ビジネス英語I・II
- Online English Studies

中国語

- 中国語初級IA・IB
- 中国語初級IIA・IIB
- 中国語中級IA・IB
- 中国語中級IIA・IIB
- マルチメディア中国語

フランス語

- フランス語初級IA・IB
- フランス語初級IIA・IIB

ポルトガル語

- ポルトガル語初級IA・IB
- ポルトガル語初級IIA・IIB

韓国語

- 韓国語初級IA・IB
- 韓国語初級IIA・IIB

インドネシア語

- インドネシア語初級IA・IB
- インドネシア語初級IIA・IIB

イタリア語

- イタリア語初級I・II
- イタリア語中級I・II

ドイツ語

- ドイツ語初級IA・IB
- ドイツ語初級IIA・IIB

スポーツ活動

- スポーツ活動A・B

総合

- 特別共同授業A～H
- 産官学連携授業A～H

専門領域へのアプローチ

学部科目

デザイン必修

- デザイン概論
- 基礎造形(平面)
- 基礎造形(立体)

デザイン選択

基礎理論

- プロダクトデザイン概論
- 匠造形概論
- グラフィックデザイン概論
- 映像構成論
- 建築デザイン論
- ユニバーサル/インクルーシブデザイン概論

基礎演習

- 視覚表現演習
- 写真撮影技法
- プログラミング基礎演習
- 素材基礎演習
- 専門横断演習

総合演習

卒業研究



科目の内容は
「シラバス検索」で確認できます

専門能力の確立

学部科目

専門理論

- 生体機能論
- デザイン思考
- 建築構造
- 現代デザイン論
- 人間工学
- UXデザイン論
- くらしと創造
- 色彩計画論
- サウンドデザイン
- ゲーム・遊びのデザイン
- 建築空間計画
- インテリアデザイン論
- 空間演出計画I
- 構造力学I
- 日本伝統建築
- メディア産業論
- フィッティングデザイン
- ユーザーインターフェース
- 地域産業デザイン
- インダストリアルグラフィックス
- 移動のデザイン
- デザインとマーケティング
- テキスタイル概論
- 木のデザイン
- 都市デザイン論
- 空間演出計画II
- 構造力学II
- 環境計画

- 世界建築史
- インタラクティブデザイン
- ファニチャーデザイン
- コミュニケーションデザイン論
- サウンドメディア論
- エンターテインメントデザイン
- 地域計画論
- ランドスケープ計画
- 空間演出総合計画
- 建築材料
- 設備設計
- デザインマネジメント
- プロダクトデザインプロセス
- 装飾文様論
- 絵本論
- グラフィックナラティブ
- 建築法規
- 構造計画
- 建築生産

専門演習

- 図学・製図
- 建築図学・製図
- 製品CAD
- ウェブデザイン
- 建築基礎演習
- 建築CAD
- ユニバーサルデザイン演習I
- プロダクトデザイン演習I
- CAD表現技法
- 匠造形基礎演習
- 素材加工演習
- グラフィックデザイン演習I
- アニメーション基礎
- 映像基礎演習
- 3DCG演習I
- 建築設計演習I
- 空間表現技法
- 空間演出演習I
- ユニバーサルデザイン演習II
- プロダクトデザイン演習II
- パッケージデザイン演習
- 匠造形演習
- グラフィックデザイン演習II
- 絵本・イラストレーション演習
- 映像技法演習
- サウンドデザイン演習
- 3DCG演習II
- デジタルコンテンツ演習

- 建築設計演習II
- 空間演出演習II
- 木造建築演習
- デザイン英語
- プロダクトデザイン演習III
- グラフィックデザイン演習III
- UI・UXデザイン演習
- デジタルプレゼンテーション
- 映像表現演習
- 建築設計演習III
- コンピューショナルデザイン
- インタラクティブプロダクト演習

学部間共通科目

- 視覚芸術論
- 広報・広告論
- マーケティング論
- 劇場芸術論
- 都市経営論
- 産業遺産と産業界
- 経営学
- ルネサンス文化史
- メディア文化論
- 美術史(西洋)I・II
- 美術史(日本・東洋)I・II
- 経営戦略論
- 地域ビジネス論
- 文化と芸術D

- 総合演習I・II
- 建築総合演習I・II

- 卒業研究・制作

卒業要件単位数一覧

2027年度 カリキュラム一覧

文化政策学部	学科名	区分	卒業に必要な単位数	合計
	国際文化学科	全学科目 ^{*1}	34単位以上 (1)【キャリア形成】8単位以上、ただし、次のすべてを満たすこと ・導入区分 必修3単位(「文化芸術体験演習」及び「学芸の基礎」) ・情報・データサイエンス区分 1単位以上 ・キャリアデザイン区分 1単位以上 ・実践演習区分 1単位以上 (2)【教養】12単位以上 (3)【必修外国語】8単位以上、ただし、次のいずれかを満たすこと ・英語 8単位以上 ・中国語 8単位以上 ・英語4単位以上、かつ、中国語、フランス語、ポルトガル語、韓国語、インドネシア語、イタリア語、ドイツ語の中から同一言語で4単位以上	128単位以上
	文化政策学科			
	芸術文化学科			
	学部科目	32単位以上 なお(1)～(3)の18単位を含む (1)【文化・芸術】6単位以上 (2)【政策・マネジメント】6単位以上 (3)【情報・リテラシー】6単位以上		
国際文化学科	学科科目 ^{*2}	62単位以上 なお、次の(1)～(2)の8単位を含む (1)【学科基礎】必修4単位 (2)【卒業研究】4単位以上	128単位以上	
文化政策学科		62単位以上 なお、次の(1)～(4)の56単位を含む (1)【学科必修】必修10単位 (2)【政策】及び【経営】で合わせて28単位以上 (3)【情報】14単位以上 (4)【卒業研究】4単位以上		
芸術文化学科		62単位以上 なお、次の(1)～(5)の34単位を含む (1)【学科基礎】10単位 (必修科目4単位、「芸術表現A」または「同B」で2単位、「芸術文化基礎A」「同B」「同C」「同D」から4単位) (2)【政策とマネジメント】8単位以上 (3)【文化と芸術】12単位以上 (4)【芸術運営の実践】2単位以上 (5)【卒業研究】2単位以上 ^{*3}		

デザイン学部	学科名	区分	卒業に必要な単位数	合計
	デザイン学科	全学科目 ^{*1}	30単位以上 (1)【キャリア形成】8単位以上、ただし、次のすべてを満たすこと ・導入区分 必修3単位(「文化芸術体験演習」及び「学芸の基礎」) ・情報・データサイエンス区分 必修1単位「デジタル表現基礎」を含む1単位以上 ・キャリアデザイン区分 1単位以上 ・実践演習区分 1単位以上 (2)【教養】12単位以上 (3)【必修外国語】同一言語で4単位以上	124単位以上
	学部科目	94単位以上 [デザイン必修] 必修6単位(「デザイン概論」「基礎造形(平面)」「基礎造形(立体)」) [デザイン選択](1)～(3)を満たし76単位以上 (1)【基礎理論】4単位以上 (2)【基礎演習】4単位以上 (3)【専門理論/専門演習】【学部間共通科目】54単位以上 [総合演習](1)、(2)を満たし8単位 (1)「総合演習Ⅰ」または「建築総合演習Ⅰ」のいずれか4単位 (2)「総合演習Ⅱ」または「建築総合演習Ⅱ」のいずれか4単位 [卒業研究] 必修4単位「卒業研究・制作」		

*1 他学部科目の履修により修得した単位ならびに静岡大学情報学部単位互換制度及び放送大学単位互換制度により科目を履修し修得した単位は、合計6単位まで全学科目として卒業要件単位数に算入できる。

*2 文化政策学部内の他学科科目の履修により修得した単位は、合計6単位まで自学科の学科科目として卒業要件単位数に算入できる。

*3 文明観光学コースを修了するためには4単位以上が必要。

全学科目

学習領域		科目名	卒業要件
キャリア形成	導入	●文化芸術体験演習 ●学芸の基礎	3単位
	情報・データサイエンス	●ICTスキル基礎 ●デジタル表現基礎 ●データサイエンス入門	1単位以上
	キャリアデザイン	●キャリアデザイン概論 ●キャリアデザイン講座 ●キャリアデザイン演習	1単位以上
	実践演習	●企画立案演習 ●地域連携演習A ●地域連携演習B ●自主課題演習	1単位以上
教養	●文学 ●哲学 ●心理学 ●宗教学 ●歴史学 ●文化人類学 ●日本文化論 ●静岡学 ●文明と観光 ●ユーラシア文明論 ●法と社会 ●経済学基礎 ●現代の国際社会 ●社会学概論 ●社会調査論 ●情報社会論 ●人権論 ●数学概論 ●科学技術論 ●サステナブルデザイン ●健康科学 ●Japanese Cultural Studies ●音楽と社会 ●芸術と社会 ●色彩・形態論 ●映像メディア論 ●空間デザイン ●デザイン史 ●青年心理学	12単位以上	
必修外国語	英語 ●英語中級IA・IB ●英語中級IIA・IIB ●英語上級IA・IB ●英語上級IIA・IIB ●マルチメディア英語I・II ●ビジネス英語I・II ●Onlife English Studies 中国語 ●中国語初級IA・IB ●中国語初級IIA・IIB ●中国語中級IA・IB ●中国語中級IIA・IIB ●マルチメディア中国語 フランス語 ●フランス語初級IA・IB ●フランス語初級IIA・IIB ポルトガル語 ●ポルトガル語初級IA・IB ●ポルトガル語初級IIA・IIB 韓国語 ●韓国語初級IA・IB ●韓国語初級IIA・IIB インドネシア語 ●インドネシア語初級IA・IB ●インドネシア語初級IIA・IIB イタリア語 ●イタリア語初級I・II ●イタリア語中級I・II ドイツ語 ●ドイツ語初級IA・IB ●ドイツ語初級IIA・IIB	文化政策学部 8単位以上※ デザイン学部 同一言語で4単位以上	
スポーツ活動	●スポーツ活動A ●スポーツ活動B		
総合	●特別共同授業A～H ●産官学連携授業A～H		

※履修方法の詳細はP097をご覧ください。

学費・学生支援制度

各種制度により学生の向上心を受けとめ、様々な相談に応じることができる体制が整っています。

入学生に適用する学納金 (2026年度)

区 分	県内の入学者	県外の入学者	摘 要
入学金	141,000円	366,600円	入学時
授業料 (年額)	535,800円		

※2027年度の学納金については変更になる場合があります。

学費等の支援制度

修学支援新制度

本学は修学支援新制度の対象機関であり、国が定める要件を満たす学生は、授業料の減免や奨学金の給付を受けることができます。

日本学生支援機構貸与型奨学金

無利子の第一種、有利子の第二種奨学金、さらに入学時特別増額貸与奨学金を取り扱っており、機構が定める要件を満たす学生は、本学の窓口を通じて利用することができます。

長期履修制度

障害等により、履修できる科目数が制限され、4年間での卒業が困難であると認められた学生について、最長で6年間まで4年間分の授業料にて在学できる制度があります。

授業料の分割納入制度

授業料を一括して納入することが困難な場合には、申請により分割して納入する制度があります。

民間団体・自治体の奨学金制度

在学中に応募できる奨学金制度を随時ご案内しています。奨学金制度の中には本学の学生が優先的に採用を受けることができる制度が複数用意されています。

留学支援制度

海外に留学する学生に対する独自の支援制度を用意し、留学の形態に応じた支援を行っています。

学生相談

夢や希望にあふれて大学に入学する一方、新たな生活に不安や戸惑いを感じることもあるかもしれません。

本学では、履修に関する相談に対する教務委員（専任教員）を学科・研究科ごとに置いているほか、保健室や学生相談室、教務・学生室にて、様々な相談に応じる体制を整えています。

オフィスアワー

(教員研究室での個別相談)

学生と教員との緊密なコミュニケーションを図るために、本学ではオフィスアワーを設けています。教室では十分に尋ねられなかった事項や専門分野の説明などを聞くことができます。

保健室

病気やけが等の応急処置や心身の健康に関する相談に応じます。保健室で対応できない場合は、学校医または専門の医療機関を紹介しますので、お気軽にご相談ください。

学生相談室

心の不安、つまずきなど様々な相談に、専門のカウンセラーが応じます。直接相談しにくい内容でも、メールにより相談を受けられるので安心です。

教務・学生室

コミュニケーションが苦手、グループワークがうまくできない、身体に障がいがあるなど大学で勉強する上で困っている学生を個別にサポートします。

入試情報

2027年度入学者選抜 概要 ●：実施

学 部	学 科	一般選抜		学校推薦型選抜		特別選抜
		前期日程	後期日程	公募制	英語重点型 公募制	社会人 帰国生徒 外国人留学生
文化政策学部	国際文化学科	●	●	●	●	●
	文化政策学科	●	●	●	—	●
	芸術文化学科	●	●	●	—	●
デザイン学部	デザイン学科	●	●	●	—	●

※入試日程、試験科目の詳細は、2027年度入学者選抜要項、学生募集要項等で確認してください。

「一般選抜（前期日程・後期日程）」は、独立行政法人大学入試センターが2027年1月に実施する「大学入学共通テスト」を受験する必要があります。

「外国人留学生入試」は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験する必要があります。

2027年度学生募集要項について 学生募集要項は、以下の通り配布・配信予定です。

名 称	公表時期（予定）	配布方法等
学生募集要項（一般選抜）	2026年10月下旬	本学WebページからPDFファイルをダウンロード（※）
学生募集要項（学校推薦型選抜）	2026年9月上旬	
特別選抜（社会人・帰国生徒・外国人留学生入試）	2026年9月上旬	
大学院募集要項	2026年4月下旬	

※このうち、一般選抜および学校推薦型選抜については、インターネットによる出願になります。

2026年度入学者選抜 実施結果〈一般選抜〉

学 部	学 科	区 分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
文化政策学部	国際文化学科	前 期	65	177	163	71
		後 期	10	313	74	22
	文化政策学科	前 期	40	67	64	44
		後 期	5	75	8	6
	芸術文化学科	前 期	36	100	96	43
		後 期	5	105	39	6
デザイン学部	デザイン学科	前 期	75 I 数学 40 II 実技 35 (5)	322 I 数学 194 II 実技 128 (25)	314 I 数学 190 II 実技 124 (25)	87 I 数学 44 II 実技 43 (5)
		後 期	10	172	102	15

※デザイン学部デザイン学科の前期試験の（ ）内の数字はポートフォリオ提出型選抜入試の人数です。

2026年度入学者選抜 実施結果〈学校推薦型選抜〉

学部	学科・区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
文化政策学部	国際文化学科	18	38	38	18
	国際文化学科（英語重点型）	7	16	16	7
	文化政策学科	10	39	39	11
	芸術文化学科	14	45	45	14
デザイン学部	デザイン学科	25	114	114	25



OPEN CAMPUS 2026

開催日 (予定)

8/8^土

8/9^日

実施方法・内容等の詳細は、
公式Webサイトをご覧ください。



◆ お問い合わせは下記まで

静岡文化芸術大学 入試室

〒430-8533 静岡県浜松市中央区中央2-1-1

Tel.053-457-6401 Fax.053-457-6123

Webサイトアドレス <https://www.suac.ac.jp/>

<入試案内>



SUACの最新情報

公式WEBサイト・SNS

各学部の学びや学生生活をはじめ、入学試験や最新イベント情報、オープンキャンパスなど受験生に役立つ情報を満載しています。本誌とあわせてぜひご覧ください。

<https://www.suac.ac.jp/>



大学公式 X
@suac_official



大学公式 Instagram
@suac2000



大学公式 Facebook
@suac2000



大学公式 YouTube
@suac2000

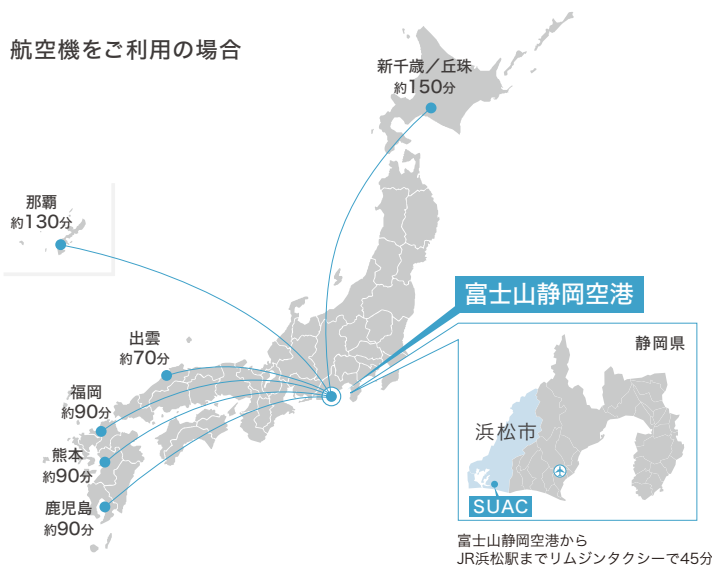


大学入試室公式 LINE
@ycp2163i

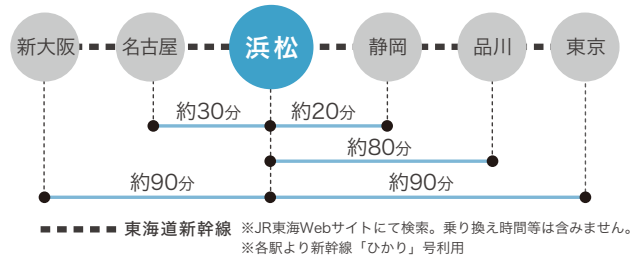


アクセス

航空機をご利用の場合



新幹線をご利用の場合



浜松駅からバスをご利用の場合

遠鉄バス (約10~15分間隔で運行しています)

浜松駅北口バスターミナル10番のりば→バス停「文化芸術大学」下車

※浜松駅北口バスターミナル10番のりばから出ているバスは、「文化芸術大学」バス停を通ります。ただし、系統番号2番を除きます。

※本学へお越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。



静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE

SUAC